

「滝沢市子ども・子育て支援事業計画」
策定のためのアンケート調査

調査結果報告書
【概要版】

令和6年3月

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の対象	1
3	調査の方法	1
4	調査の実施時期	1
5	配布・回収の結果	2
6	報告書の表記及び注意点について	2
II	就学前児童調査結果	3
(1)	居住地区	3
(2)	子どもの年齢	3
(3)	きょうだいの人数	4
(4)	子育てを主に行っている人	4
(5)	子育てにもっとも影響すると思われる環境	5
(6)	子どもをみてもらえる親族・知人の有無	5
(7)	子育てに関する相談相手の有無	6
(8)	子育てに関する相談先	6
(9)	母親の就労状況	7
(10)	就労している母親の就労日数・就労時間	8
(11)	パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望	9
(12)	現在就労していない母親の就労希望	10
(13)	父親の就労状況	11
(14)	就労している父親の就労日数・就労時間	12
(15)	パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望	13
(16)	現在就労していない父親の就労希望	13
(17)	「定期的な教育・保育の事業」を利用しているか	14
(18)	現在利用している「定期的な教育・保育の事業」	15
(19)	「定期的な教育・保育の事業」の1週あたりの日数の利用状況と利用希望	16
(20)	「定期的な教育・保育の事業」の利用時間の現状と希望	17
(21)	今後、平日において「定期的に」利用したい教育・保育事業	18
(22)	幼児教育・保育事業を選択する際に特に重視すること	19
(23)	土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望	20
(24)	日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	21
(25)	《幼稚園利用者のみ》長期の休暇期間中の幼児教育・保育事業の利用希望	22
(26)	地域子育て支援拠点事業を利用しているか	23
(27)	地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向	23
(28)	子育て支援事業を知っているか	24
(29)	子育て支援事業を利用したことがあるか	25
(30)	子育て支援事業を今後利用したいか	26
(31)	病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった経験	27
(32)	病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法	28
(33)	病児保育を利用したいと思ったか	29
(34)	病児保育で望ましいと思われる事業形態	30
(35)	病児保育を利用したいと思わない理由	31

(36) 私用等の目的での「不規則の」教育・保育事業の利用状況.....	32
(37) 私用等の目的での不規則の教育・保育事業の利用希望.....	33
(38) 不規則の教育・保育事業の利用目的と利用希望日数.....	33
(39) 短期入所生活援助事業の利用希望.....	34
(40) 短期入所生活援助事業の利用目的と利用希望日数.....	34
(41) 低学年時に子どもを放課後過ごさせたい場所.....	35
(42) 高学年時に子どもを放課後過ごさせたい場所.....	36
(43) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望.....	37
(44) 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望.....	38
(45) 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望.....	39
(46) 母親の育児休業の取得状況.....	40
(47) 母親が育児休業を取得していない理由.....	41
(48) 父親の育児休業の取得状況.....	42
(49) 父親が育児休業を取得していない理由.....	43
(50) 育児休業中の育児休業給付、保険料免除制度の認知度.....	44
(51) 子育てや教育に関する情報をどのように得ているか.....	45
(52) 滝沢市における子育ての環境や支援への満足度.....	45
(53) どのような環境が整えば、もっと子育てがしやすいまちになると思うか.....	46
Ⅲ 小学校児童調査結果.....	47
(1) 居住地区.....	47
(2) 子どもの学年.....	47
(3) きょうだいの人数.....	48
(4) 子育てを主に行っている人.....	49
(5) 子育てにもっとも影響すると思われる環境.....	49
(6) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無.....	50
(7) 子育てに関する相談相手の有無.....	50
(8) 子育てに関する相談先.....	51
(9) 母親の就労状況.....	52
(10) 就労している母親の就労日数・就労時間.....	53
(11) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望.....	54
(12) 現在就労していない母親の就労希望.....	55
(13) 父親の就労状況.....	56
(14) 就労している父親の就労日数・就労時間.....	57
(15) パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望.....	58
(16) 現在就労していない父親の就労希望.....	58
(17) 現在、放課後の時間を過ごしている場所.....	59
(18) これから小学校卒業まで放課後の時間を過ごさせたいと思う場所.....	59
(19) 放課後児童クラブを利用しているか.....	60
(20) 土曜日の放課後児童クラブの利用状況.....	60
(21) 放課後児童クラブへの要望.....	61
(22) 今後、放課後児童クラブを利用したいか.....	61
(23) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望.....	62
(24) 放課後児童クラブを何年生まで利用したいか.....	62
(25) 病気やケガで学校を休んだ経験.....	63
(26) 病気やケガで学校を休んだ場合の対処方法.....	63
(27) 病児保育を利用したいと思ったか.....	64
(28) 病児保育で望ましいと思われる事業形態.....	65

(29) 病児保育を利用したいと思わない理由.....	66
(30) 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用状況.....	67
(31) 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用希望.....	68
(32) 不定期の教育・保育事業の利用目的と利用希望日数.....	68
(33) 不定期の教育・保育事業の望ましいと思われる事業形態.....	69
(34) 短期入所生活援助事業の利用希望.....	69
(35) 短期入所生活援助事業の利用目的.....	70
(36) 母親の育児休業の取得状況.....	71
(37) 母親が育児休業を取得していない理由.....	72
(38) 父親の育児休業の取得状況.....	73
(39) 父親が育児休業を取得していない理由.....	74
(40) 子育てや教育に関する情報をどのように得ているか.....	75
(41) 滝沢市における子育ての環境や支援への満足度.....	75
(42) どのような環境が整えば、もっと子育てがしやすいまちになると思うか.....	76

I 調査の概要

1 調査の目的

このアンケート調査は、2025年度からの次期「滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、地域住民の子育て支援に関する実態や意見・要望、今後の保育サービス等のニーズの把握などを主たる目的として実施しました。

2 調査の対象

(1) 就学前児童調査

調査対象については、令和5年11月30日現在、本市在住の0歳から6歳までの児童の保護者、2,750人のうち2,048人を抽出しました。(同じ世帯に児童が複数いる場合は、年齢が若い児童を対象、同じ世帯に就学前児童と小学生児童がいる場合は、就学前児童を対象)

(2) 小学生調査

調査対象については、令和6年1月1日現在、本市在住の小学1年生から小学6年生までの児童の保護者、3,151人のうち1,595人を抽出しました。(同じ世帯に児童が複数いる場合は、年齢が若い児童を対象、同じ世帯に就学前児童と小学生児童がいる場合は、就学前児童を対象)

3 調査の方法

(1) 就学前児童調査

・郵送による配布・回収

(2) 小学校児童調査

・郵送による配布・回収

4 調査の実施時期

令和6年2月

5 配布・回収の結果

区 分	配布数	有効回答数	有効回答率
(1)就学前児童調査	2,048 件	925 件	45.2%
(2)小学校児童調査	1,595 件	785 件	49.2%

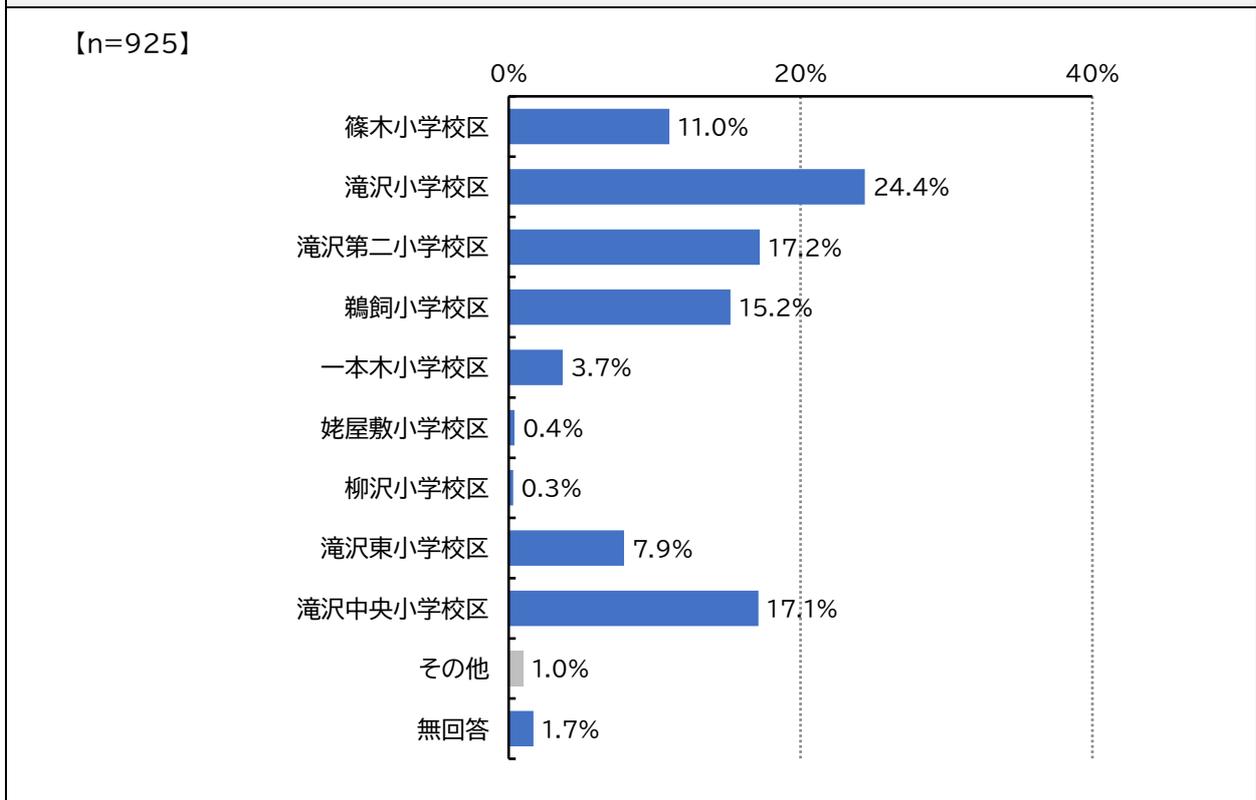
6 報告書の表記及び注意点について

1. 回答は、各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超えます。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表しています。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者、該当者数を「n」と表記し、その数を表しています。

II 就学前兒童調查結果

(1) 居住地区

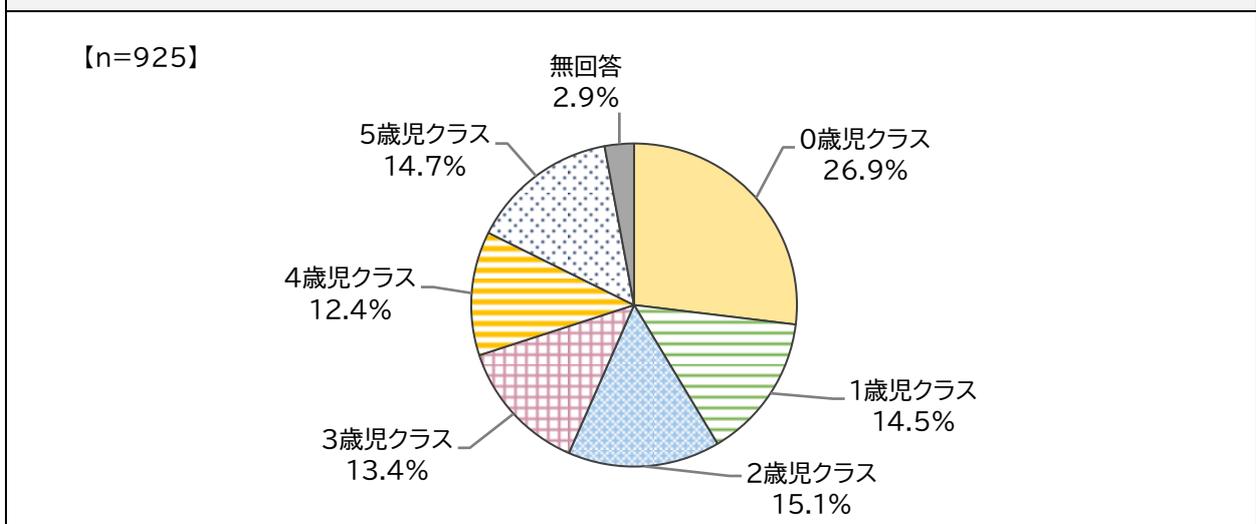
問3 宛名のお子さんのお住まいの地域はどちらですか。【○は1つ】



回答者の居住地区は、「篠木小学校区」が11.0%、「滝沢小学校区」が24.4%、「滝沢第二小学校区」が17.2%、「鶉飼小学校区」が15.2%、「一本木小学校区」が3.7%、「姥屋敷小学校区」が0.4%、「柳沢小学校区」が0.3%、「滝沢東小学校区」が7.9%、「滝沢中央小学校区」が17.1%となっています。

(2) 子どもの年齢

問4 宛名のお子さんの生年月を西暦でご記入ください。【数字を記入】



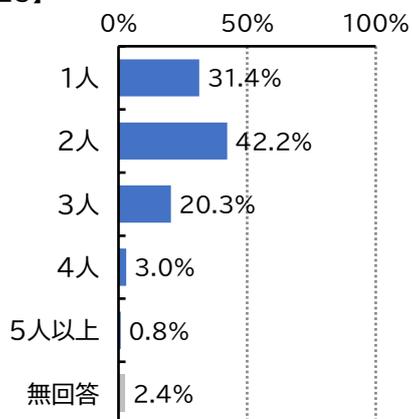
回答者の子どもの誕生日から算出した年齢(学年)は、「0歳児クラス」が26.9%、「1歳児クラス」が14.5%、「2歳児クラス」が15.1%、「3歳児クラス」が13.4%、「4歳児クラス」が12.4%、「5歳児クラス」が14.7%となっています。

(3) きょうだいの人数

問5 宛名のお子さんを含め、きょうだいは何人いますか。また、2人以上のお子さんがある場合は、一番下のお子さんの生年月を西暦でご記入ください。【数字を記入】

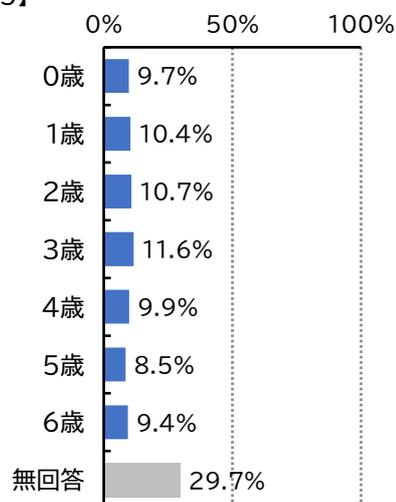
① きょうだい人数

【n=925】



② 一番下のお子さんの年齢

【n=925】



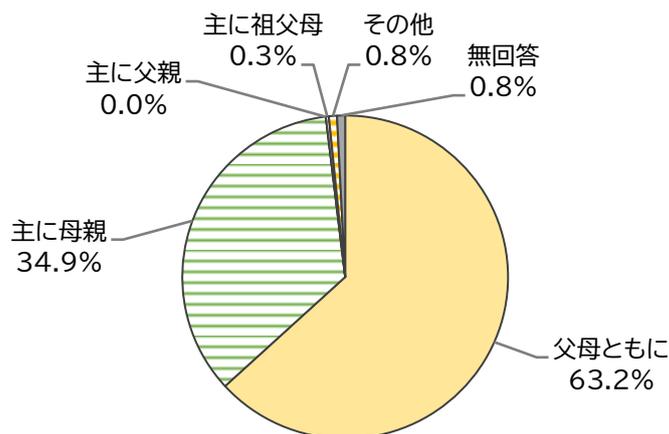
きょうだいの人数は、「2人」が42.2%と最も多く、次いで「1人」(31.4%)、「3人」(20.3%)、「4人」(3.0%)、「5人以上」(0.8%)となっています。

また、一番下のお子さんの年齢は、「3歳」が11.6%と最も多く、次いで「2歳」(10.7%)、「1歳」(10.4%)、「4歳」(9.9%)、「0歳」(9.7%)、「6歳」(9.4%)、「5歳」(8.5%)となっています。

(4) 子育てを主に行っている人

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。【○は1つ】

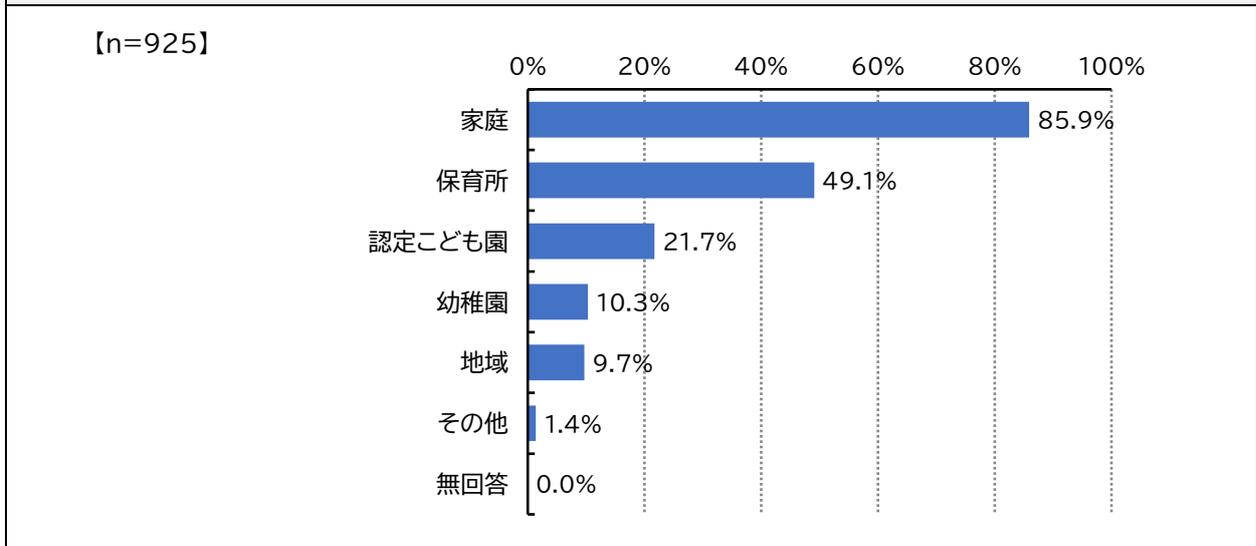
【n=925】



子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が63.2%と最も多く、次いで「主に母親」(34.9%)、「主に祖父母」(0.3%)となっています。

(5) 子育てにもっとも影響すると思われる環境

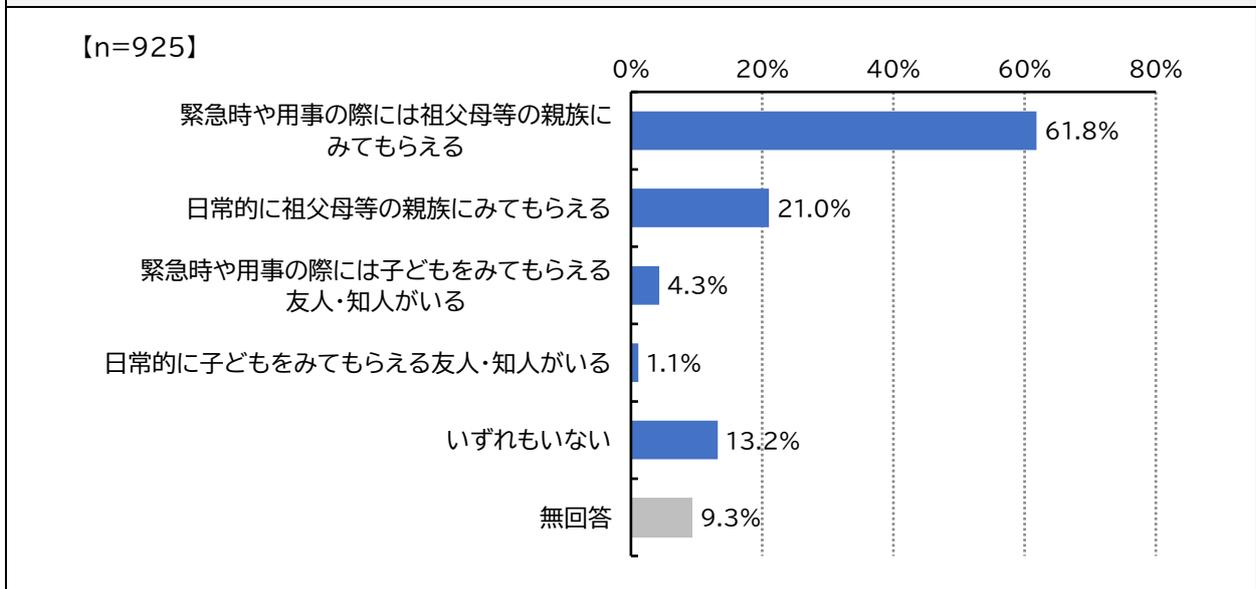
問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境をお答えください。【○は当てはまるものすべて】



子育てにもっとも影響すると思われる環境は、「家庭」が85.9%と最も多く、次いで「保育所」(49.1%)、「認定こども園」(21.7%)、「幼稚園」(10.3%)、「地域」(9.7%)となっています。

(6) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【○は当てはまるものすべて】



子どもを預かってもらえる親族がいるかは、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.8%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が21.0%となっています。

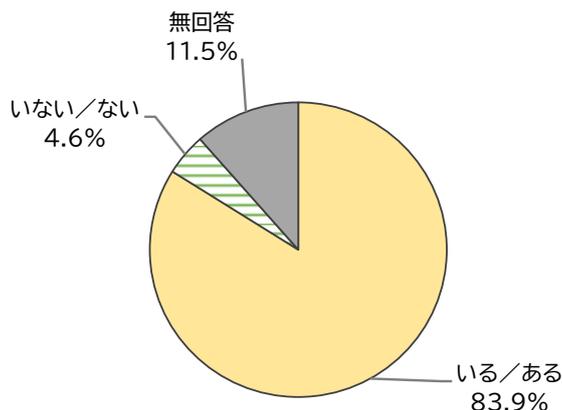
子どもを預かってもらえる友人・知人がいるかは、「緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が4.3%、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が1.1%となっています。

また、13.2%は「いずれもない」と回答しています。

(7) 子育てに関する相談相手の有無

問 11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。【○は1つ】

【n=925】



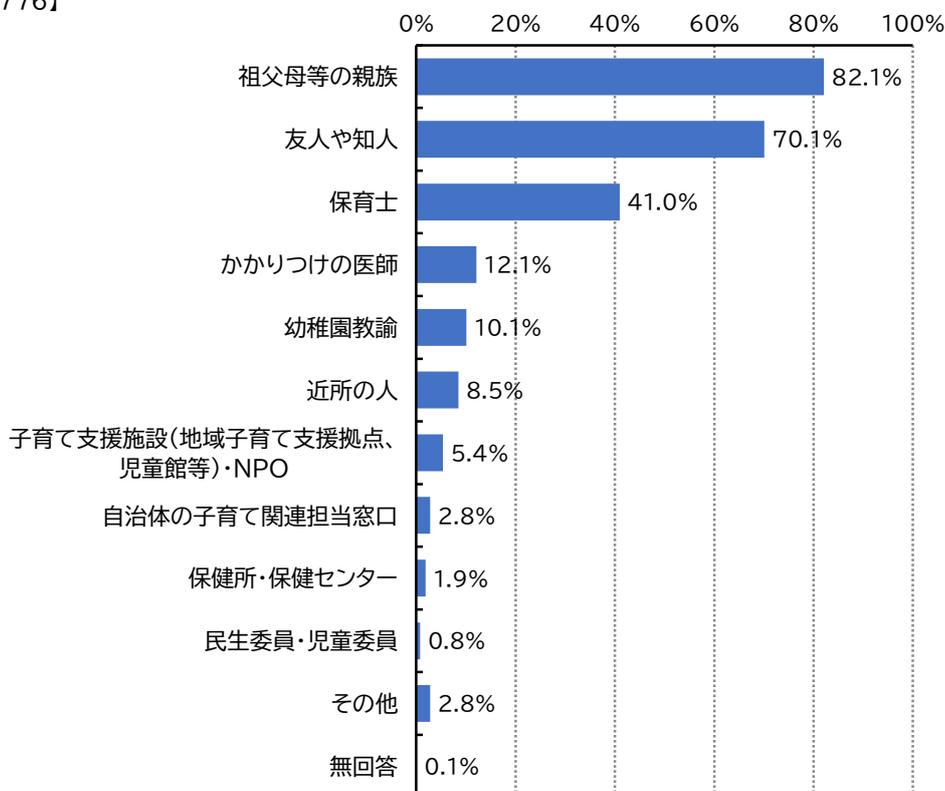
子育てをする上で、気軽に相談できる人がいるかは「いる・ある」が83.9%、「いない・ない」が4.6%となっています。

(8) 子育てに関する相談先

問 11-1 《問 11 で「1.いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。》

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。【○は当てはまるものすべて】

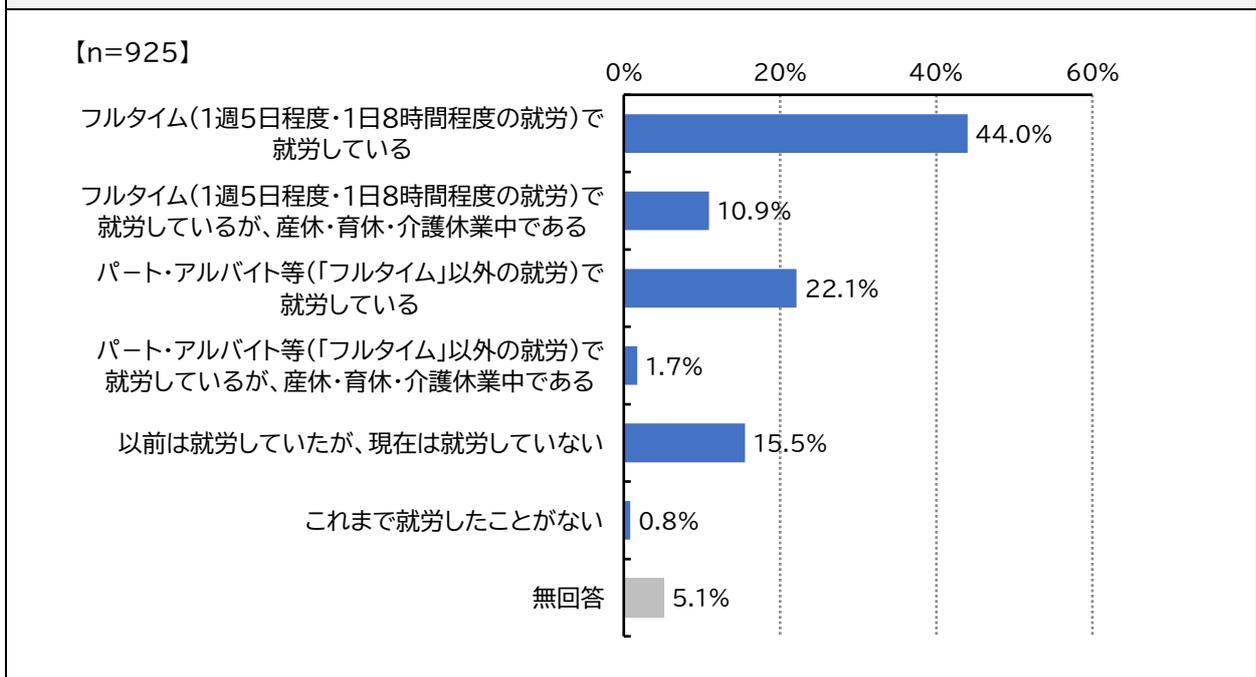
【n=776】



子育てをする上で、気軽に相談できる人がいると回答した 776 人に、相談先を尋ねると、「祖父母等の親族」が82.1%と最も多く、次いで「友人や知人」(70.1%)、「保育士」(41.0%)、「かかりつけの医師」(12.1%)、「幼稚園教諭」(10.1%)と続いています。

(9) 母親の就労状況

問 13 お母さんの就労状況をお答えください。【○は1つ】



母親の現在の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している」（44.0%）と「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（10.9%）を合わせた 54.9%が『フルタイムでの就労』となっています。

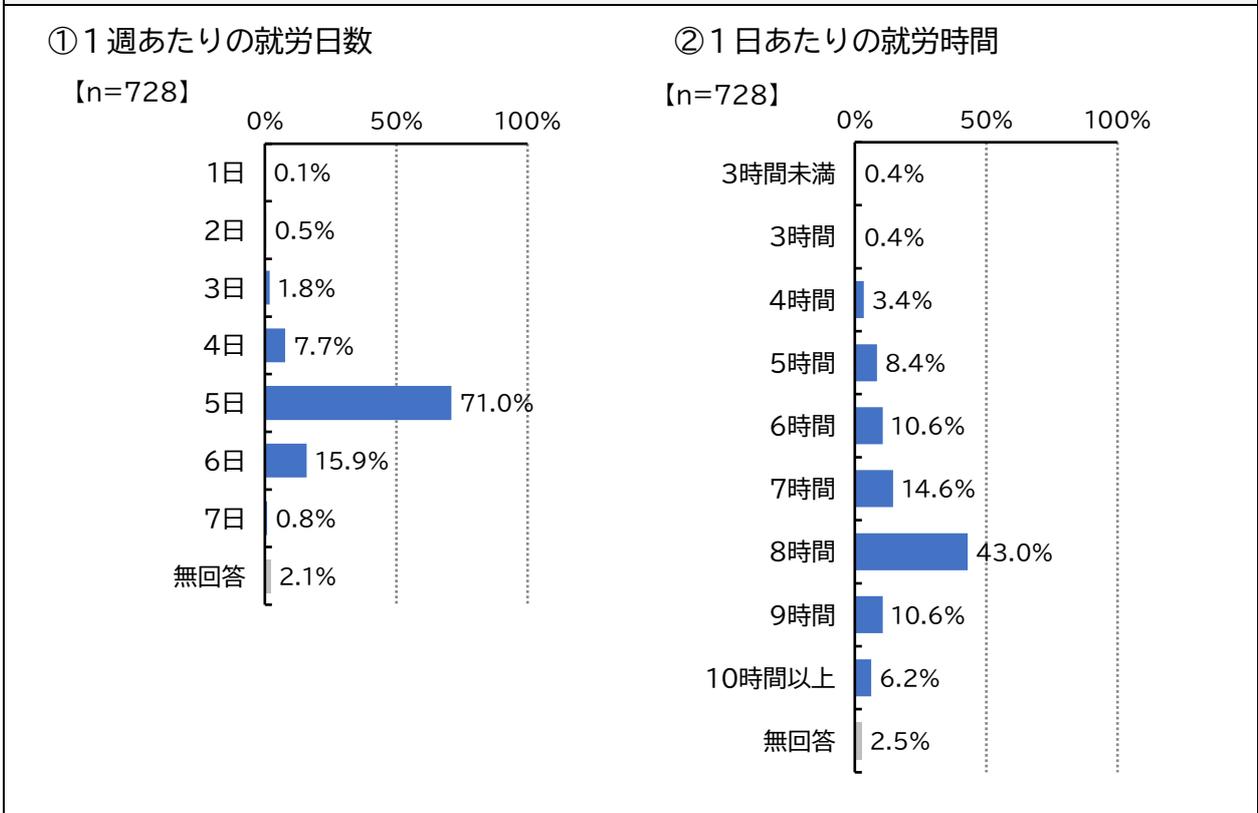
また、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している」（22.1%）と「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（1.7%）を合わせた 23.8%が『パート・アルバイト等での就労』となっています。

なお、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（15.5%）と「これまで就労したことがない」（0.8%）を合わせた 16.3%は『就労していない』と回答しています。

(10) 就労している母親の就労日数・就労時間

問 13-1 《問 13 で「1.」から「4.」(就労している) のいずれかに○をつけた方にかがいます。》

お母さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。【数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】



就労していると回答した母親 728 人の 1 週あたりの就労日数は、「5 日」が 71.0% と最も多く、次いで「6 日」(15.9%)、「4 日」(7.7%)、「3 日」(1.8%)、「7 日」(0.8%)、「2 日」(0.5%)、「1 日」(0.1%) となっています。

また、1 日あたりの就労時間は、「8 時間」が 43.0% と最も多く、次いで「7 時間」(14.6%)、「6 時間」、「9 時間」(ともに 10.6%)、「5 時間」(8.4%)、「10 時間以上」(6.2%)、「4 時間」(3.4%)、「3 時間未満」、「3 時間」(ともに 0.4%) となっています。

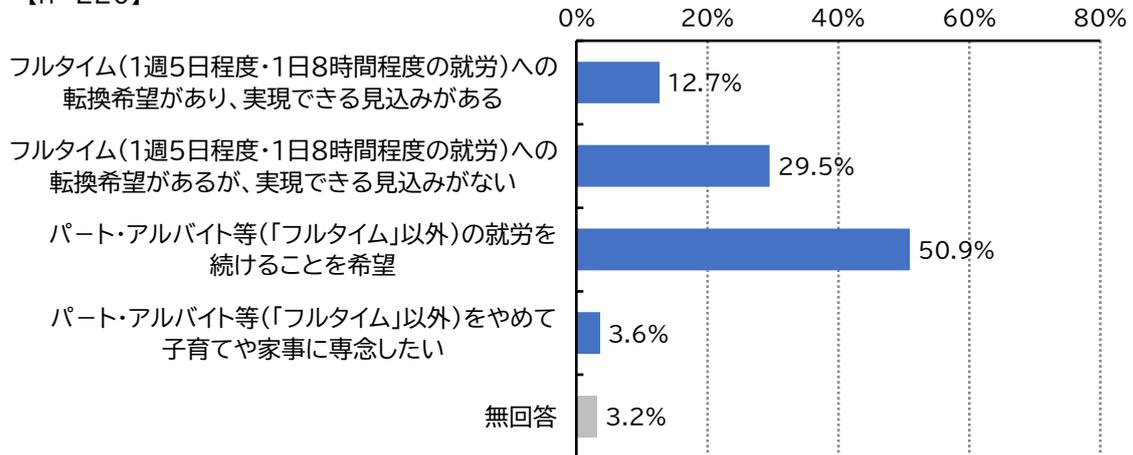
(11) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

問 13-3 《問 13 で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。》

お母さんは、フルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つ】

(1) 母親

【n=220】



パートタイム、アルバイト等で就労している母親 220 人に、フルタイムへの転換希望があるか尋ねると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 50.9%と最も多くなっています。

次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みがない」が 29.5%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が 12.7%となっており、合わせると 42.2%が『フルタイムへの転換希望がある』と回答しています。

なお、3.6%は「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい」と回答しています。

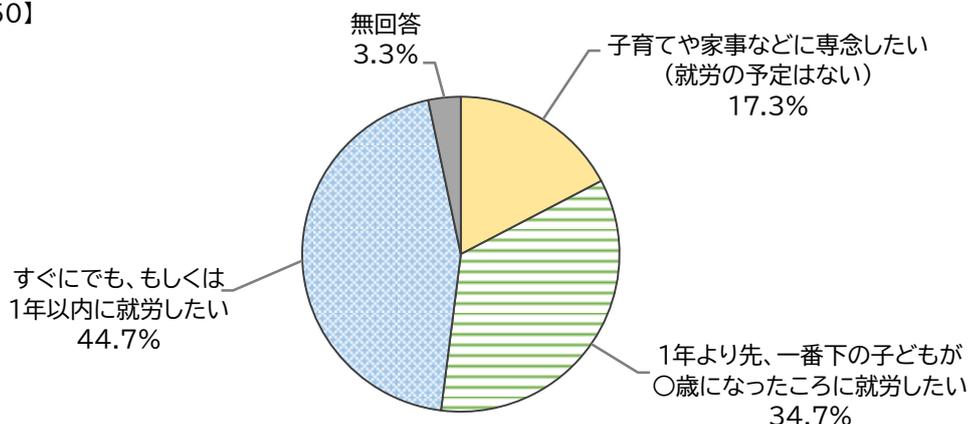
(12) 現在就労していない母親の就労希望

問 13-4 《問 13 で「5.」または「6.」（現在就労していない）に○をつけた方にかかっています。》

お母さんは、就労したいという希望はありますか。【○は1つ・「2.」「3.」の場合は数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

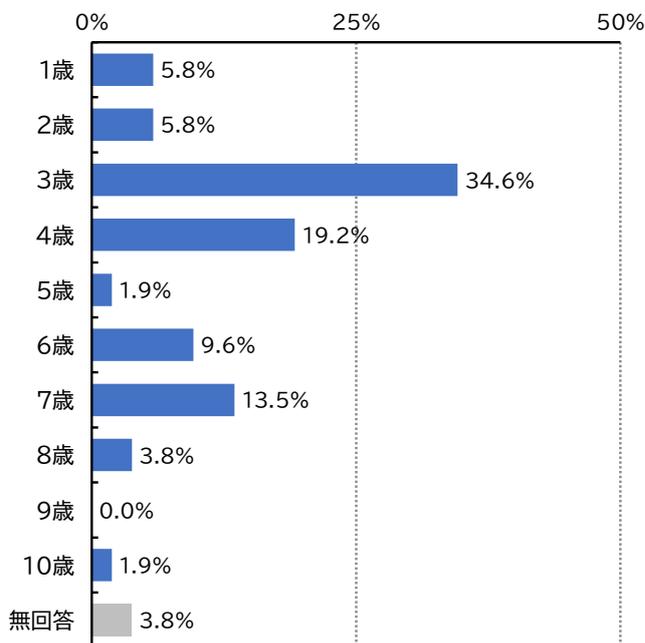
・ 現在就労していない母親の就労希望

【n=150】



・ 1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい
→就労したいと思う時期 (一番下の子の年齢)

【n=52】



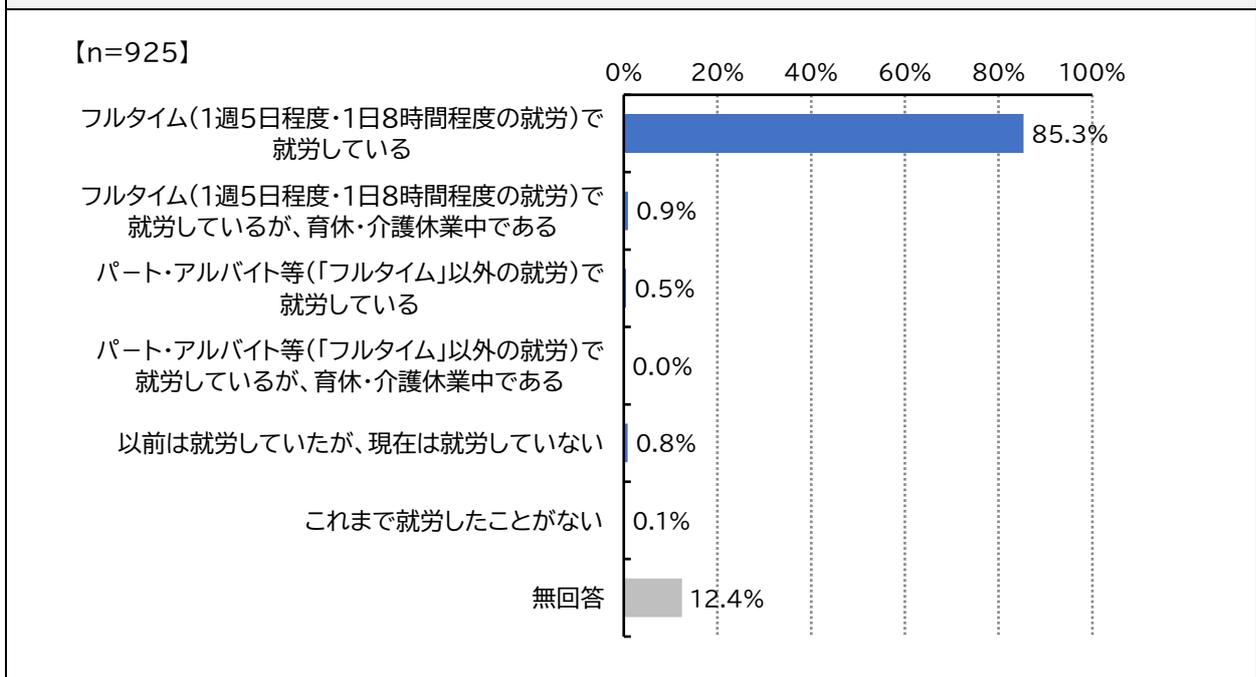
現在就労していない母親 150 人に、就労希望があるか尋ねると、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が44.7%と最も多く、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい」(34.7%)と合わせると、全体の79.4%が『就労したい』と回答しています。

なお、17.3%は「子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)」と回答しています。

また、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい」と回答した52人に、一番下の子どもが何歳になった時に就労を希望するかを尋ねると、「3歳」が34.6%と最も多く、次いで「4歳」(19.2%)、「7歳」(13.5%)、「6歳」(9.6%)、「1歳」、「2歳」(ともに5.8%)、「8歳」(3.8%)、「5歳」、「10歳」(ともに1.9%)となっています。

(13) 父親の就労状況

問 14 お父さんの就労状況をお答えください。【○は1つ】



父親の現在の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している」（85.3%）と「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」（0.9%）を合わせた86.2%が『フルタイムでの就労』となっています。

また、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している」が0.5%となっています。

なお、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（0.8%）と「これまで就労したことがない」（0.1%）を合わせた0.9%は『就労していない』と回答しています。

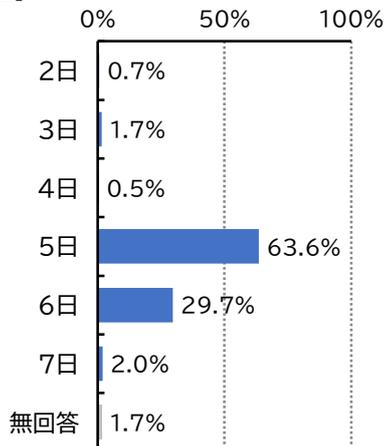
(14) 就労している父親の就労日数・就労時間

問 14-1 《問 14 で「1.」から「4.」(就労している) のいずれかに○をつけた方にかがいます。》

お父さんの1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。【数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

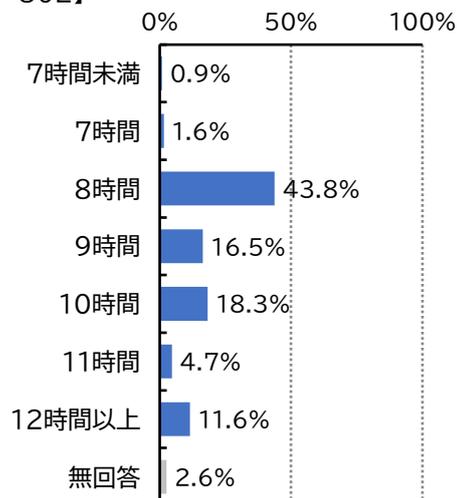
① 1週あたりの就労日数

【n=802】



② 1日あたりの就労時間

【n=802】



就労していると回答した父親 802 人の 1 週あたりの就労日数は、「5 日」が 63.6% と最も多く、次いで「6 日」(29.7%)、「7 日」(2.0%)、「3 日」(1.7%)、「2 日」(0.7%)、「4 日」(0.5%) となっています。

また、1 日あたりの就労時間は「8 時間」が 43.8% と最も多く、次いで「10 時間」(18.3%)、「9 時間」(16.5%)、「12 時間以上」(11.6%)、「11 時間」(4.7%)、「7 時間」(1.6%)、「7 時間未満」(0.9%) となっています。

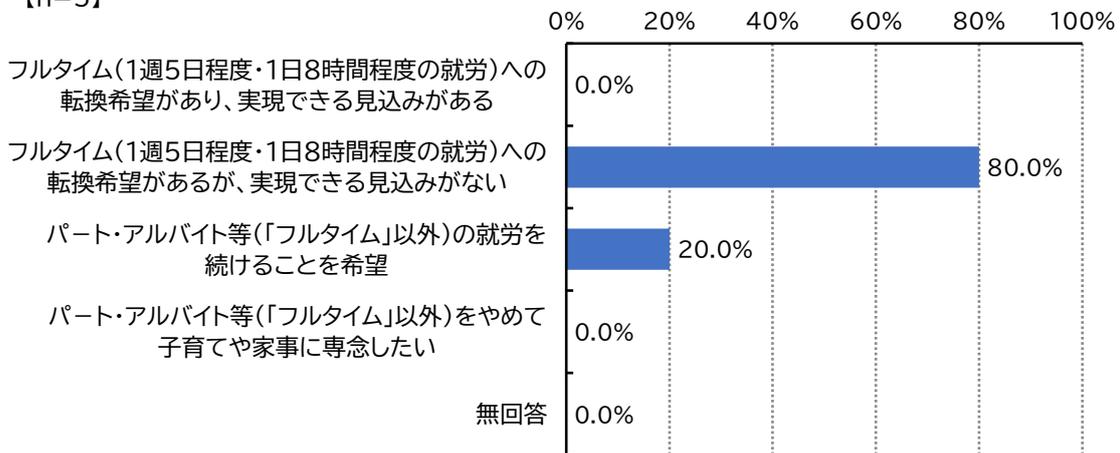
(15) パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望

問 14-3 《問 14 で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にかがいます。》

お父さんは、フルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つ】

(1) 父親

【n=5】



パートタイム、アルバイト等で就労している父親5人に、フルタイムへの転換希望があるか尋ねると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みがない」が80.0%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が20.0%となっています。

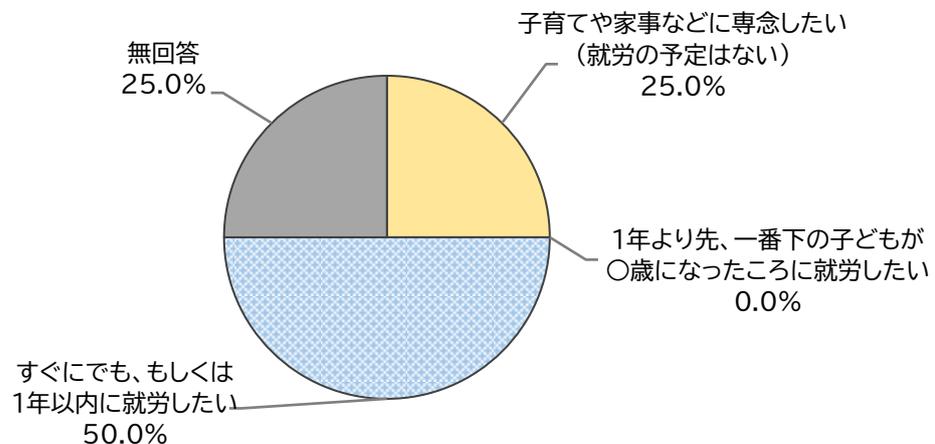
(16) 現在就労していない父親の就労希望

問 14-4 《問 14 で「5.」または「6.」（現在就労していない）に○をつけた方にかがいます。》

お父さんは、就労したいという希望はありますか。【○は1つ・「2.」「3.」の場合は数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

・現在就労していない父親の就労希望

【n=8】

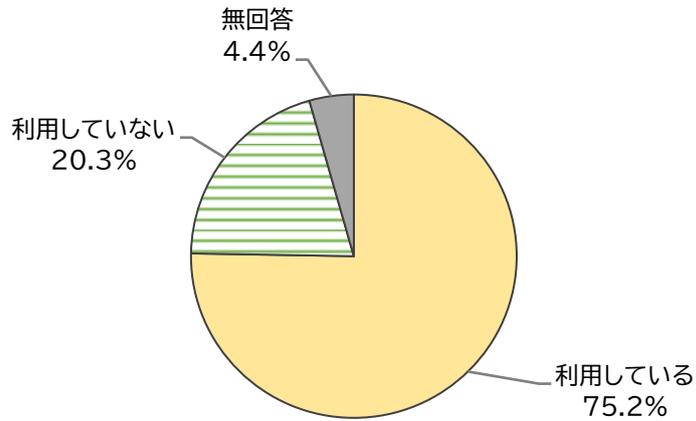


現在就労していない父親8人に、就労希望があるか尋ねると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が50.0%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が25.0%となっています。

(17) 「定期的な教育・保育の事業」を利用しているか

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「幼児教育・保育事業」を定期的に利用されていますか。【○は1つ】

【n=925】

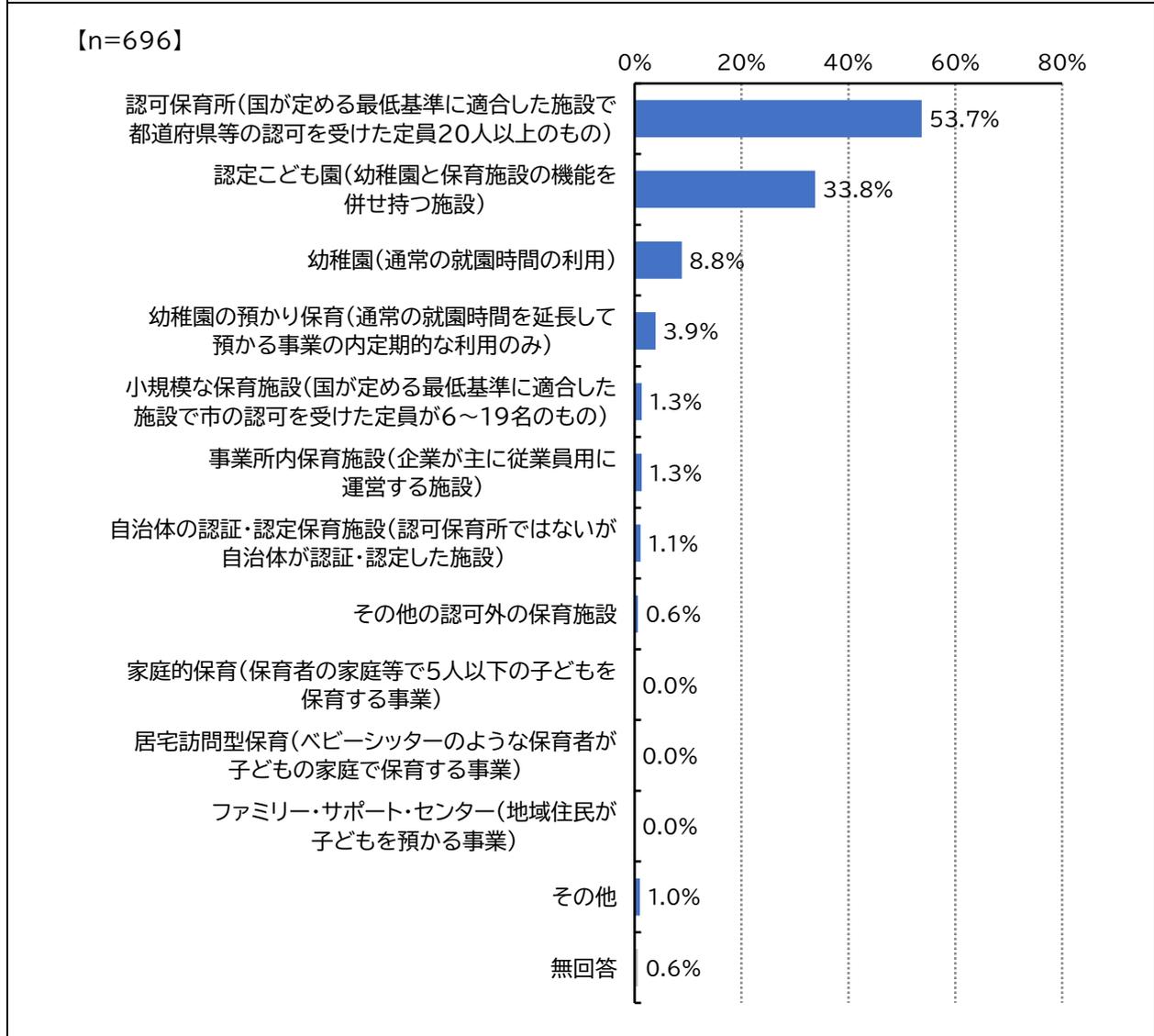


平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が75.2%、「利用していない」が20.3%となっています。

(18) 現在利用している「定期的な教育・保育の事業」

問 15-1 《問 15-1 から問 15-4 までは、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方
にうかがいます。》

宛名のお子さんは、平日どのような幼児教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて定期的
に利用している事業をお答えください。【○は当てはまるものすべて】



平日の定期的な教育・保育事業を利用していると回答した 696 人に、どのような事業を利用しているか尋ねると、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」が 53.7%と最も多く、次いで「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」（33.8%）、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」（8.8%）、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業の内定期的な利用のみ）」（3.9%）、「小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市の認可を受けた定員が 6～19 名のもの）」、「事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）」（ともに 1.3%）、「自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設）」（1.1%）、「その他の認可外の保育施設」（0.6%）となっています。

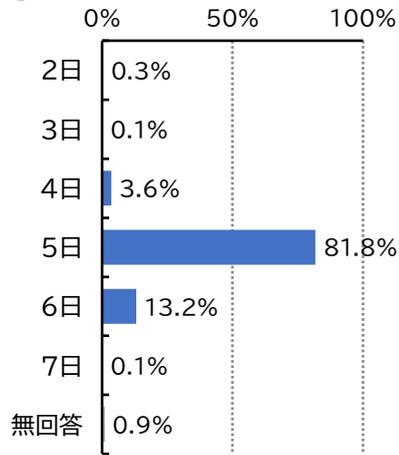
(19) 「定期的な教育・保育の事業」の1週あたりの日数の利用状況と利用希望

問 15-2

平日に定期的に利用している幼児教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

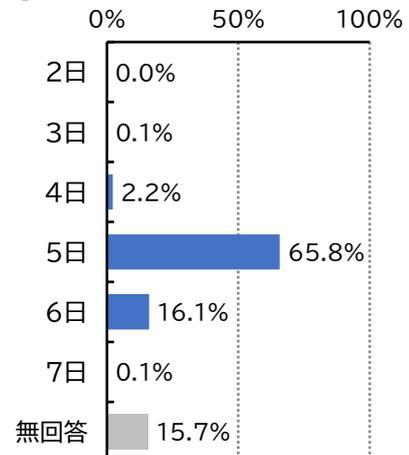
(1) 現在 1週あたりの日数

【n=696】



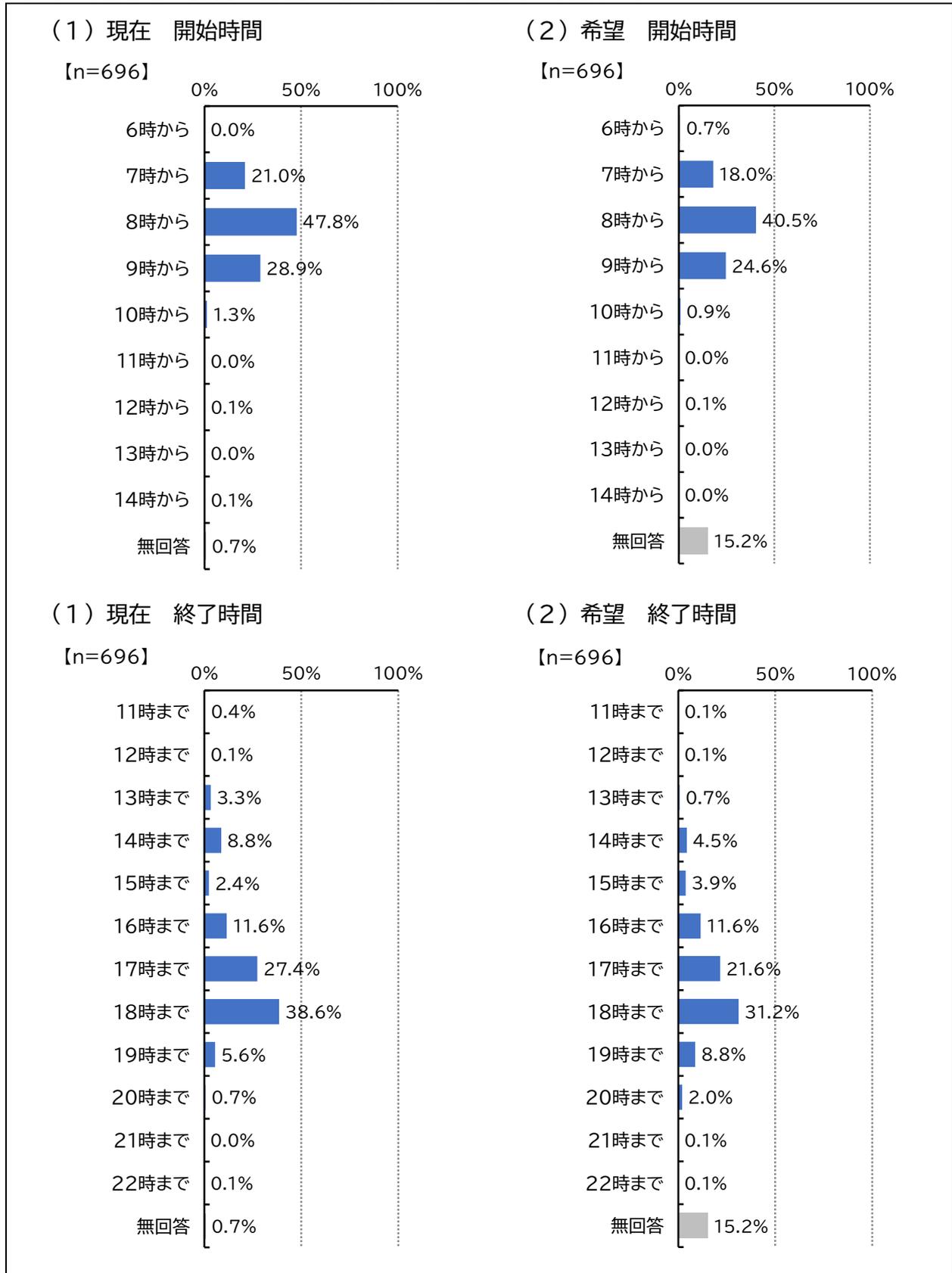
(2) 希望 1週あたりの日数

【n=696】



平日に定期的に教育・保育事業を利用していると回答した696人に、1週あたりの利用日数を尋ねると、現状では「5日」が81.8%で最も多く、希望としても「5日」が65.8%と最も多くなっています。

(20) 「定期的な教育・保育の事業」の利用時間の現状と希望



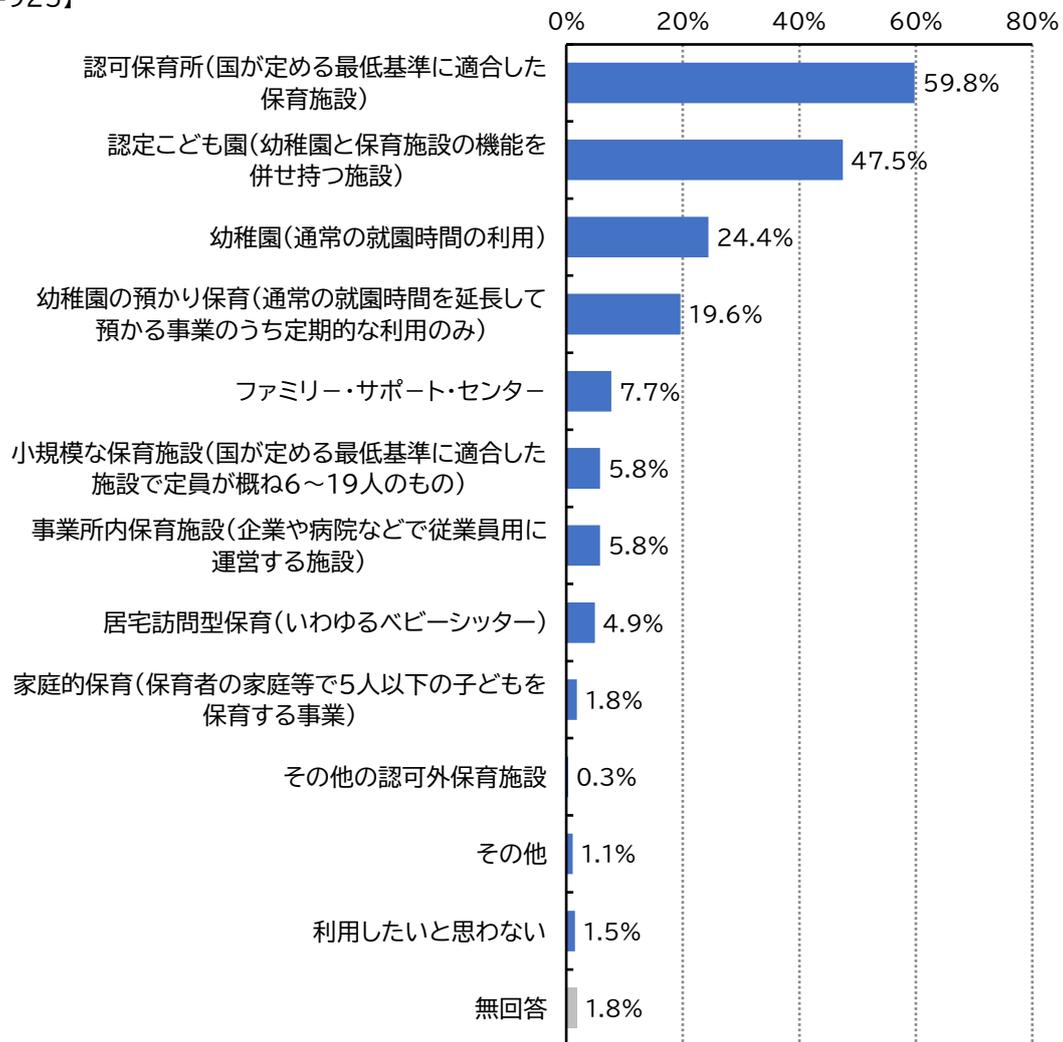
平日に定期的に教育・保育事業を利用していると回答した 696 人に、現在利用している事業の利用開始時刻を尋ねると、現状では「8時から」が 47.8%で最も多く、希望としても「8時から」が 40.5%と最も多くなっています。

また、現在利用している事業の利用終了時刻を尋ねると、現状では、「18時まで」が 38.6%で最も多く、希望としても「18時まで」が 31.2%と最も多くなっています。

(21) 今後、平日において「定期的に」利用したい教育・保育事業

問 16 現在、利用している、していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の幼児教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業をお答えください。【○は当てはまるものすべて】

【n=925】

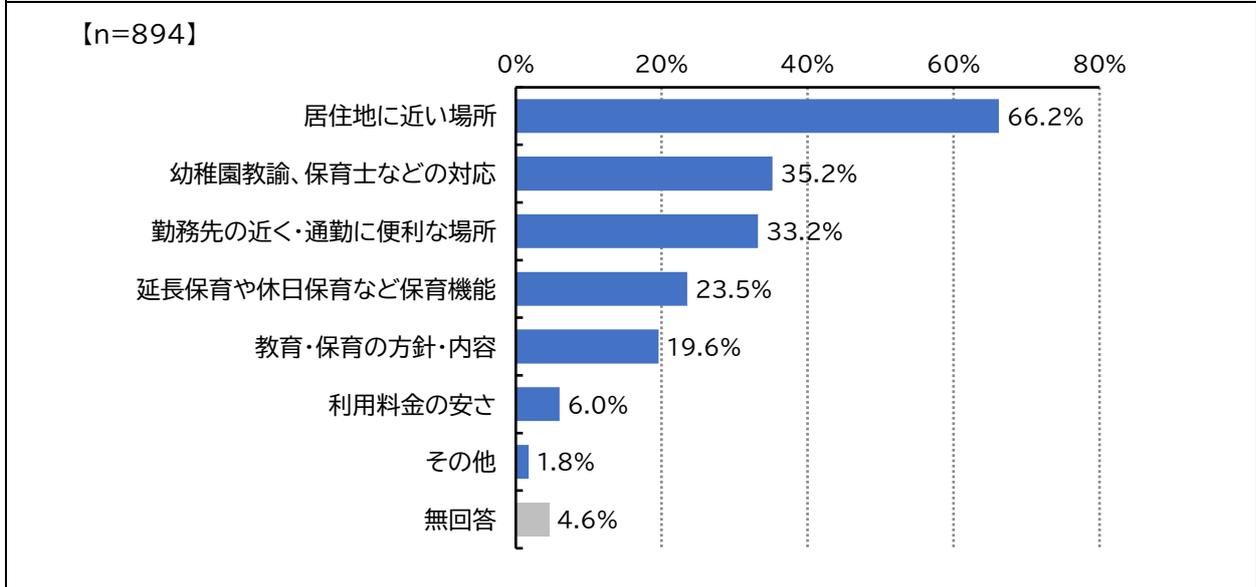


現在の利用状況にかかわらず、平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業を尋ねると、「認可保育所(国が定める最低基準に適合した保育施設)」が 59.8%と最も多く、次いで「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」(47.5%)、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」(24.4%)、「幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」(19.6%)、「ファミリー・サポート・センター」(7.7%)と続いています。

(22) 幼児教育・保育事業を選択する際に特に重視すること

問 16-3 定期的に幼児教育・保育事業を選択される際に特に重視することをお答えください。【○は2つまで】

定期的な幼児教育・保育事業を選択される際に特に重視することをお答えください。【○は2つまで】



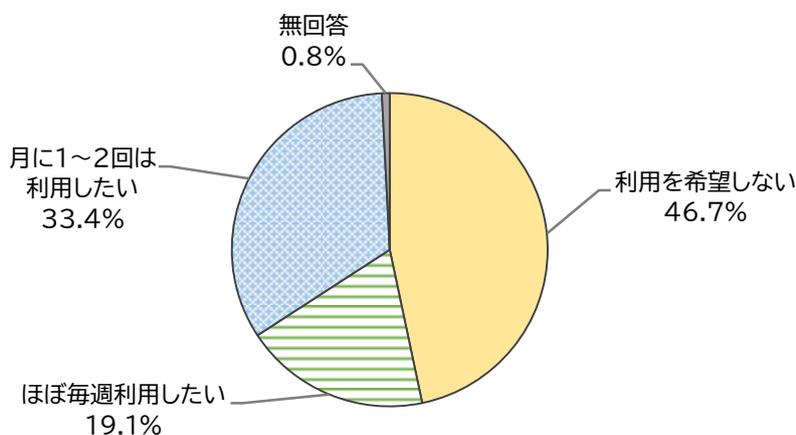
平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業を回答した 894 人に、幼児教育・保育事業を選択する際に特に重視することを尋ねると、「居住地に近い場所」が 66.2%と最も多く、次いで「幼稚園教諭、保育士などの対応」(35.2%)、「勤務先の近く・通勤に便利な場所」(33.2%)、「延長保育や休日保育など保育機能」(23.5%)、「教育・保育の方針・内容」(19.6%)、「利用料金の安さ」(6.0%)となっています。

(23) 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問 17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な幼児教育・保育事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます)。【○は1つ・「2」、「3」の場合は利用希望時間を記入 時間は[例]18時のように24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

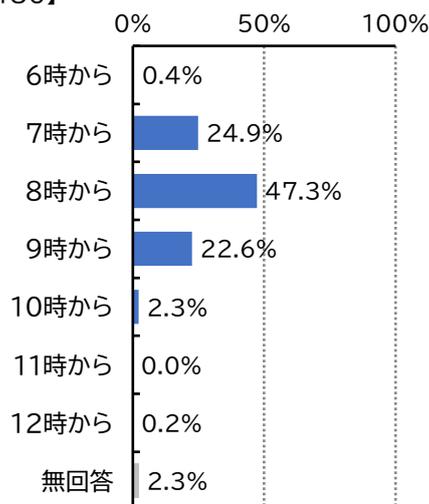
(1) 土曜日について

【n=925】



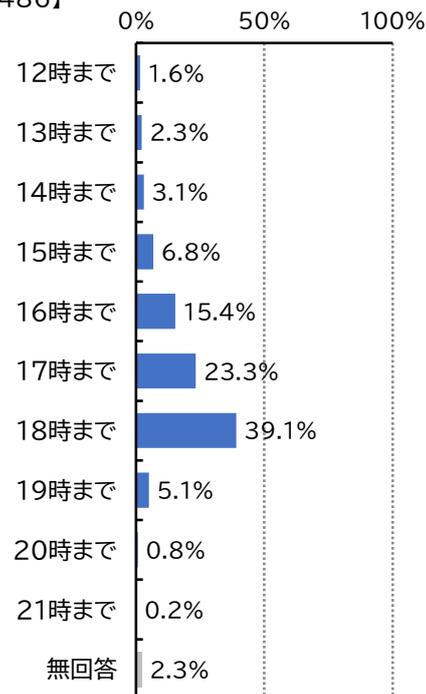
・利用したい開始時間

【n=486】



・利用したい終了時間

【n=486】



土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」(19.1%)と「月に1~2回は利用したい」(33.4%)を合わせた52.5%が『利用したい』と回答しています。

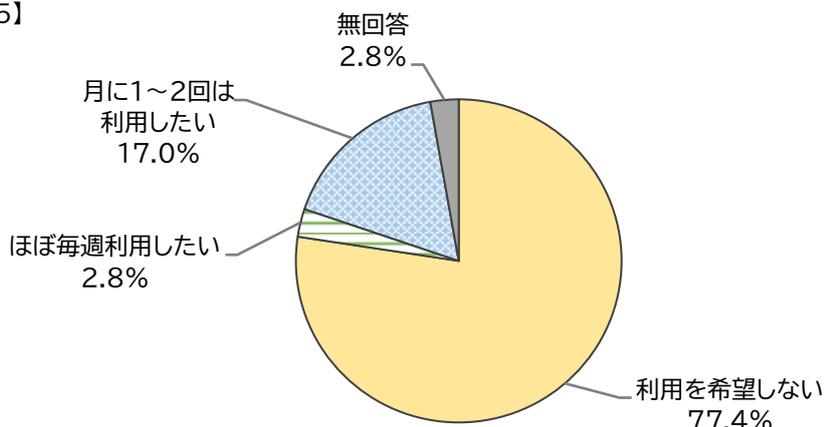
なお、46.7%は「利用を希望しない」と回答しています。

土曜日に『利用したい』と回答した486人に、希望の利用時間帯を尋ねると、希望利用希望時間は「8時から」が47.3%で最も多く、希望利用終了時間は「18時まで」が39.1%で最も多くなっています。

(24) 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

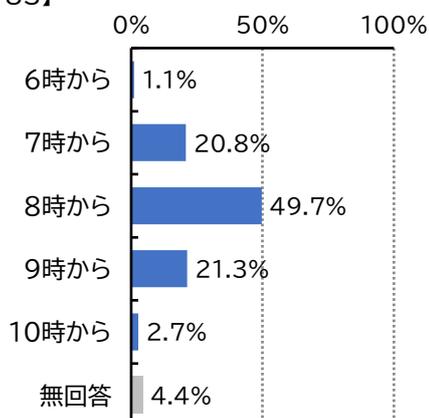
(2) 日曜日・祝日について

【n=925】



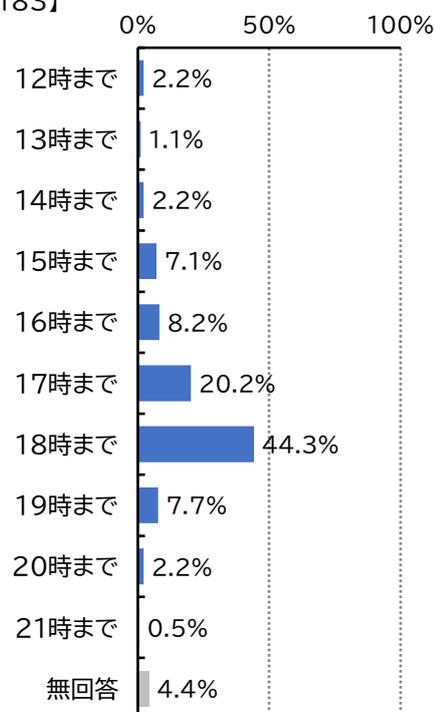
・利用したい開始時間

【n=183】



・利用したい終了時間

【n=183】



日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」(2.8%)、「月に1~2回は利用したい」(17.0%)を合わせた19.8%が『利用したい』と回答しています。なお、77.4%は「利用を希望しない」と回答しています。

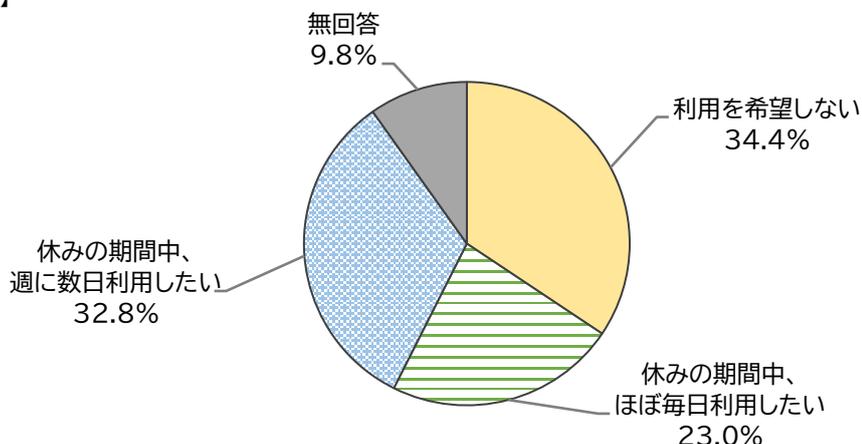
日曜日・祝日に利用したいと回答した183人に、希望の利用時間帯を尋ねると、希望利用開始時間は「8時から」が49.7%で最も多く、希望利用終了時間は「18時まで」が44.3%で最も多くなっています。

(25) 《幼稚園利用者のみ》長期の休暇期間中の幼児教育・保育事業の利用希望

問 18 《幼稚園を利用されている方にうかがいます。》

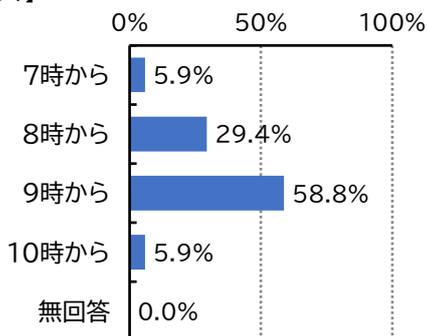
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の幼児教育・保育事業の利用を希望しますか。【○は1つ・「2」、「3」の場合は利用希望時間を記入 時間は[例]18 時のように 24 時間制、30 分未満は切り捨て、30 分以上は切り上げ】

【n=61】



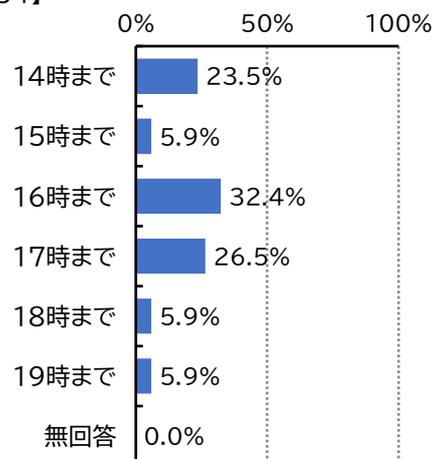
・利用したい開始時間

【n=34】



・利用したい終了時間

【n=34】



幼稚園を利用している 61 人に、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の幼児教育・保育事業の利用希望を尋ねると、「休みの期間中、週に数日利用したい」(32.8%)、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(23.0%)を合わせた 55.8%が『利用したい』と回答しています。

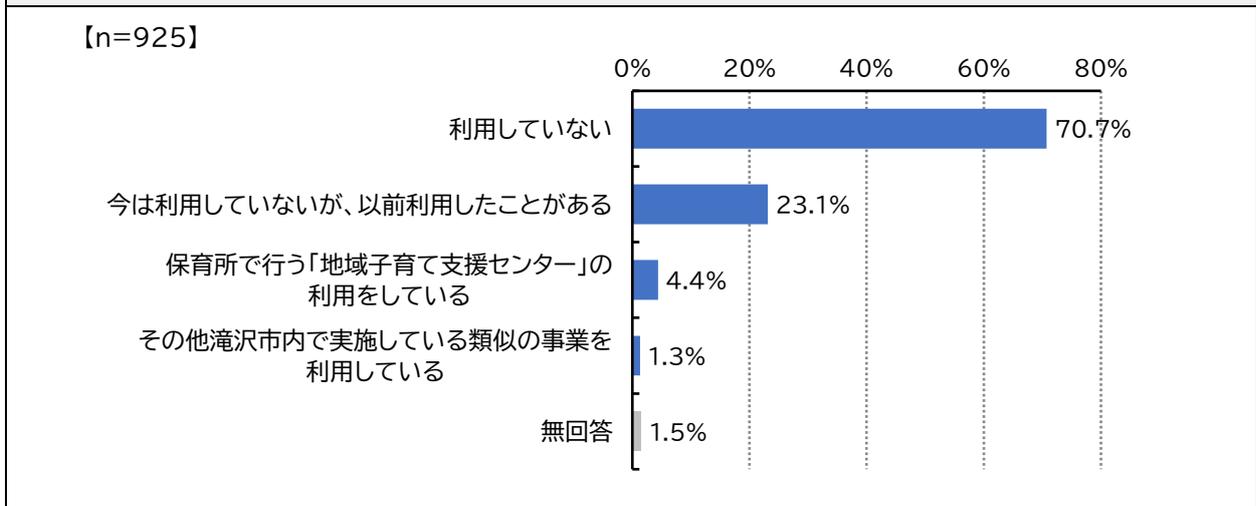
なお、34.4%は「利用を希望しない」と回答しています。

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の幼児教育・保育事業を『利用したい』と回答した 34 人に、希望の利用時間帯を尋ねると、希望利用開始時間は「9時から」が 58.8%と最も多く、次いで「8時から」(29.4%)、「7時から」、「10時から」(ともに 5.9%)となっています。

また、希望利用終了時間は「16時まで」が 32.4%と最も多く、次いで「17時まで」(26.5%)、「14時まで」(23.5%)、「15時まで」、「18時まで」、「19時まで」(それぞれ 5.9%)となっています。

(26) 地域子育て支援拠点事業を利用しているか

問 19 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。【○は当てはまるものすべて・利用している事業は利用回数を記入】

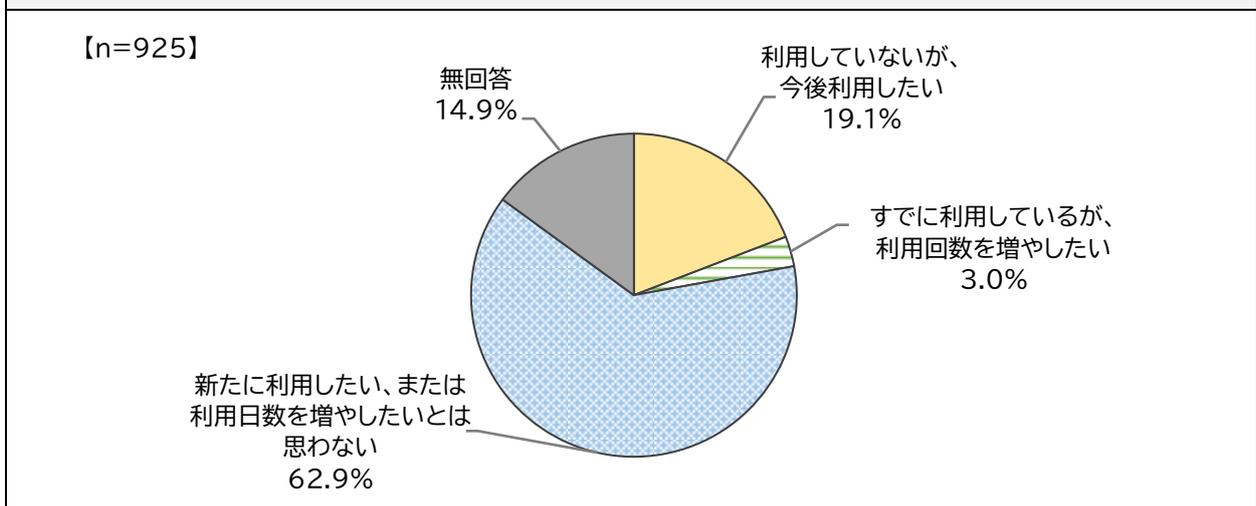


現在、利用している地域子育て支援拠点事業は、「保育所で行う「地域子育て支援センター」の利用をしている」が 4.4%、「その他滝沢市内で実施している類似の事業を利用している」が 1.3%となっています。

また、「利用していない」は 70.7%、「今は利用していないが、以前利用したことがある」は 23.1%となっています。

(27) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

問 20 問 19 のような地域子育て支援拠点事業を、今後利用したい、または利用回数を増やしたいと思いますか。【○は1つ・利用を希望する場合は希望利用回数を記入】



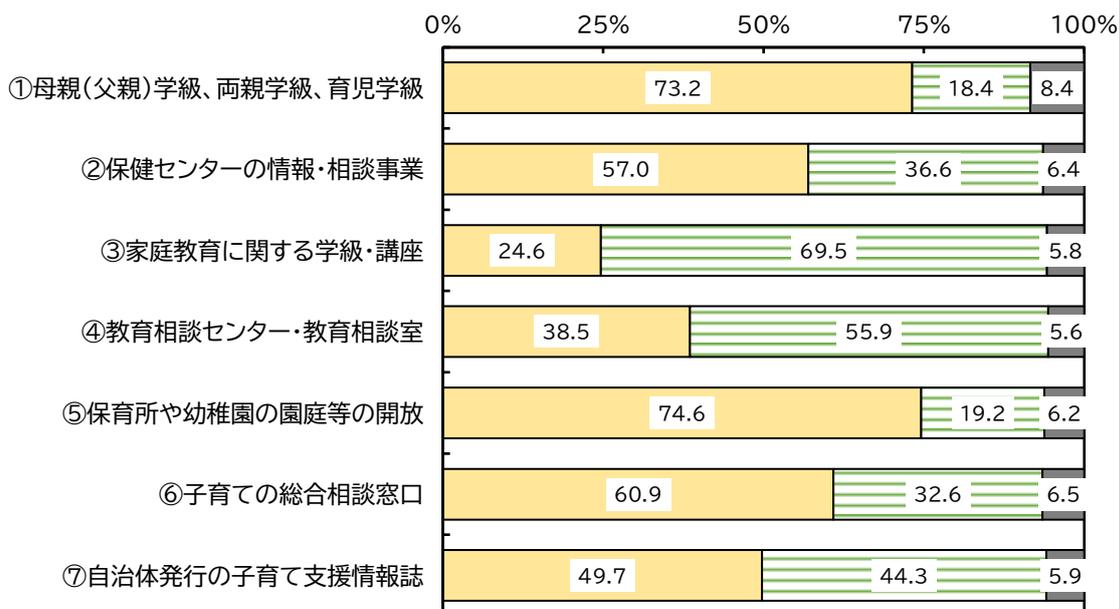
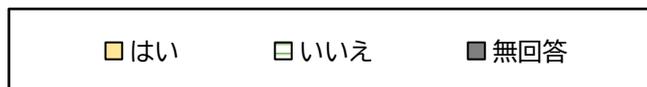
地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向は、「新たに利用したい、または利用日数を増やしたいとは思わない」が 62.9%と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(19.1%)、「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」(3.0%)となっています。

(28) 子育て支援事業を知っているか

問 21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。【「はい」「いいえ」のいずれかに○・利用している事業は利用回数を記入】

A 知っている

【n=925】



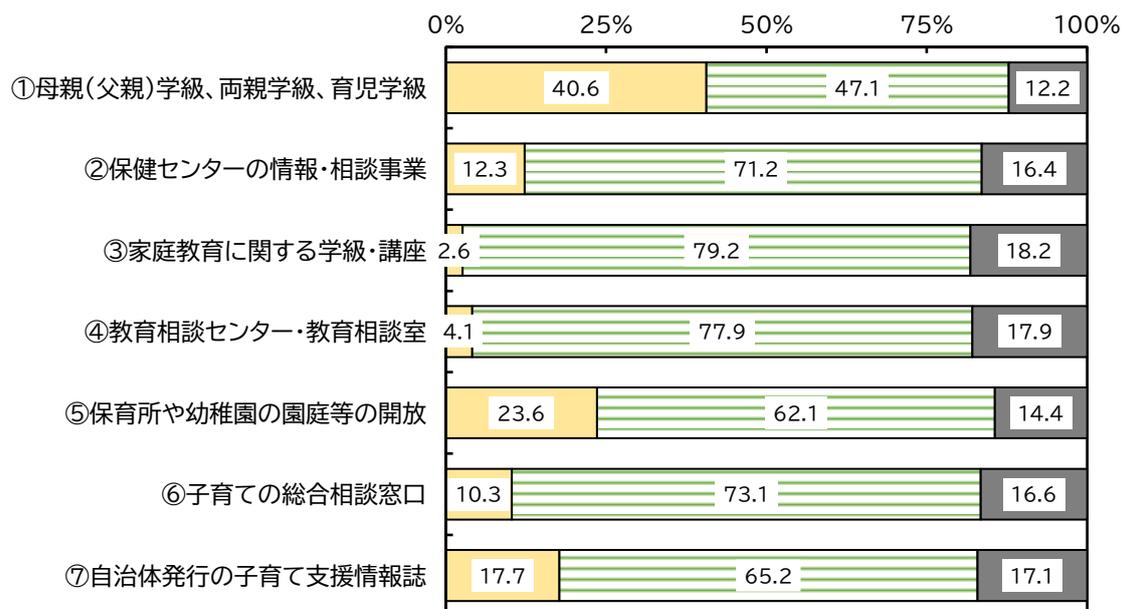
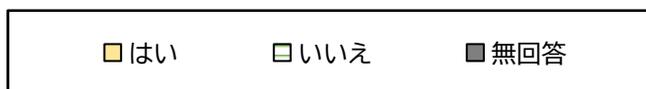
子育て支援事業を知っているかについて、「はい」の回答は「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」が74.6%と最も多くなっており、次いで「①母親(父親)学級、両親学級、育児学級」(73.2%)、「⑥子育ての総合相談窓口」(60.9%)、「②保健センターの情報・相談事業」(57.0%)、「⑦自治体発行の子育て支援情報誌」(49.7%)、「④教育相談センター・教育相談室」(38.5%)、「③家庭教育に関する学級・講座」(24.6%)となっています。

(29) 子育て支援事業を利用したことがあるか

問 21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。【「はい」「いいえ」のいずれかに○・利用している事業は利用回数を記入】

B これまでに利用したことがある

【n=925】



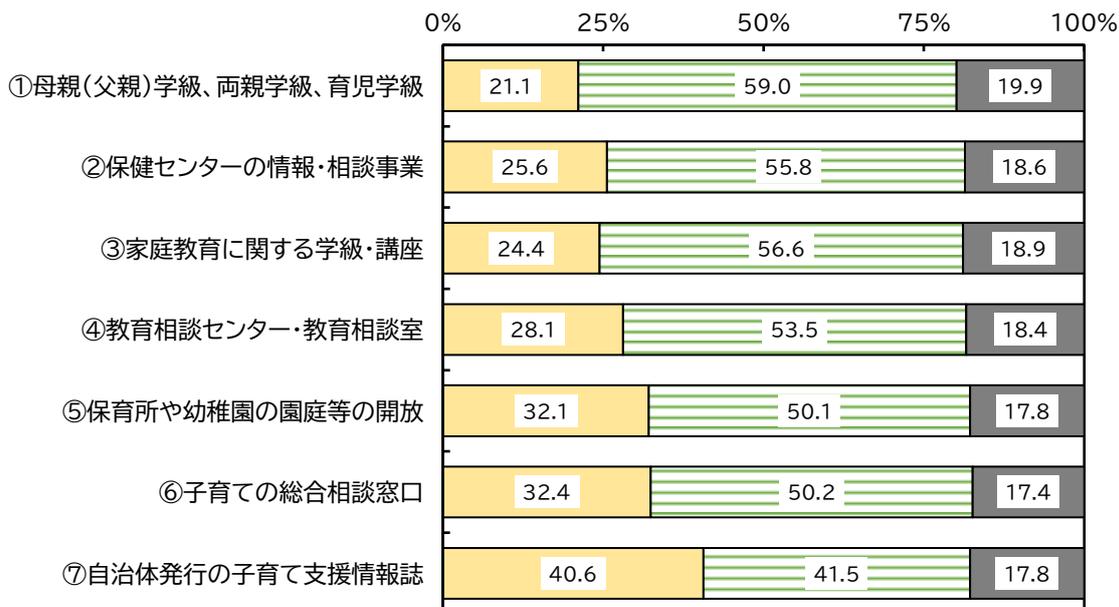
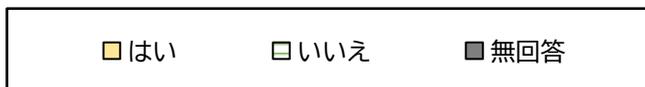
子育て支援事業を利用したことがあるかについて、「はい」の回答は「①母親(父親)学級、両親学級、育児学級」が40.6%と最も多く、次いで「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」(23.6%)、「⑦自治体発行の子育て支援情報誌」(17.7%)、「②保健センターの情報・相談事業」(12.3%)、「⑥子育ての総合相談窓口」(10.3%)、「④教育相談センター・教育相談室」(4.1%)、「③家庭教育に関する学級・講座」(2.6%)となっています。

(30) 子育て支援事業を今後利用したいか

問 21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。【「はい」「いいえ」のいずれかに○・利用している事業は利用回数を記入】

C 今後利用したい

【n=925】

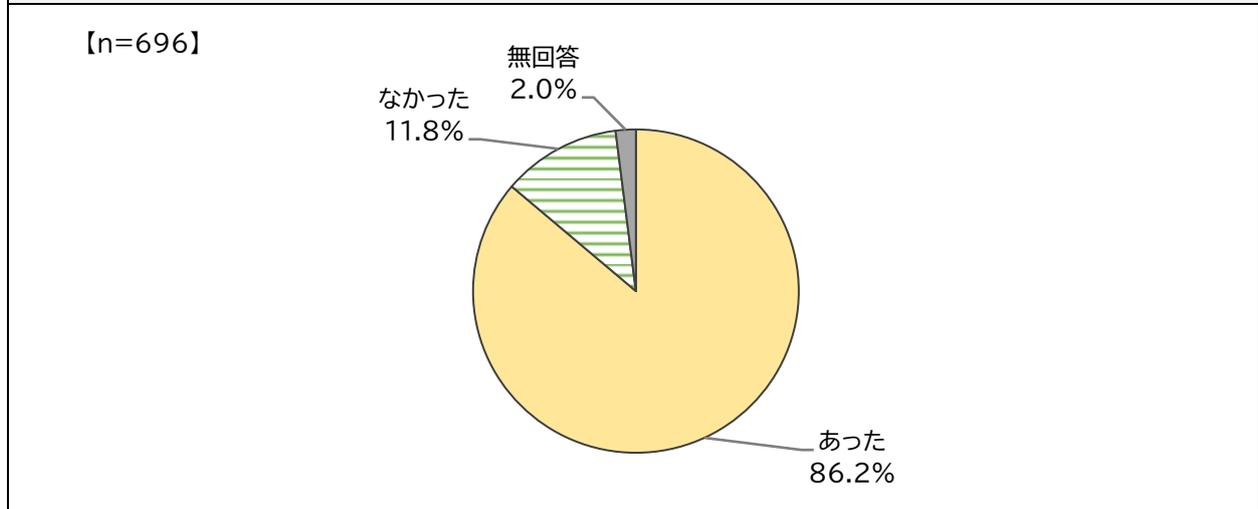


子育て支援事業を今後利用したいかについて、「はい」の回答は「⑦自治体発行の子育て支援情報誌」が40.6%と最も多く、次いで「⑥子育ての総合相談窓口」(32.4%)、「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」(32.1%)、「④教育相談センター・教育相談室」(28.1%)、「②保健センターの情報・相談事業」(25.6%)、「③家庭教育に関する学級・講座」(24.4%)、「①母親(父親)学級、両親学級、育児学級」(21.1%)となっています。

(31) 病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった経験

問 22 《平日の定期的な幼児教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で「1.」に○をつけた方）にうかがいます。》

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）が利用できなかったことはありますか。【○は1つ】

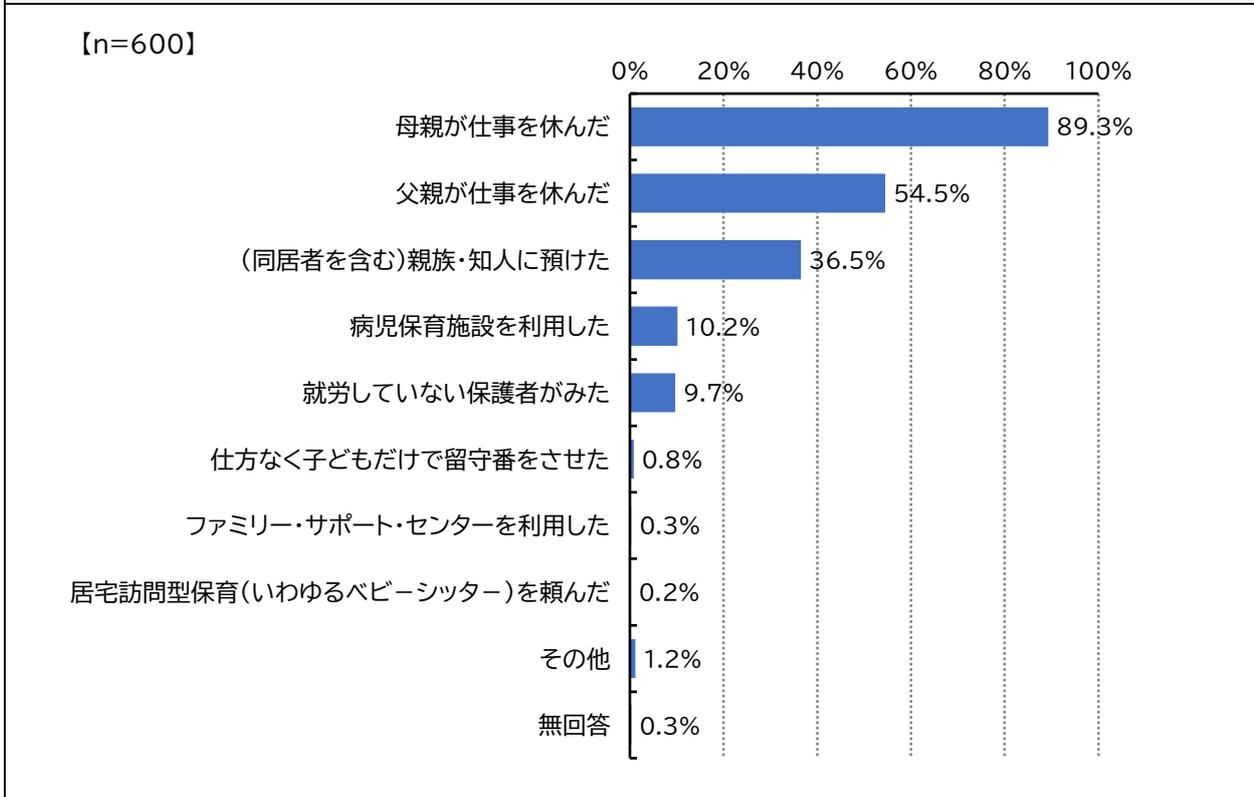


平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した696人に、子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことがあったか尋ねると、「あった」が86.2%、「なかった」が11.8%となっています。

(32) 病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法

問 22-1 《問 22 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。》

宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼児教育・保育事業が利用できなかった場合にどのように対応しましたか。この1年間に行った対処方法をお答えください。
【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの日数を記入（半日程度対応の場合も1日とカウント）】



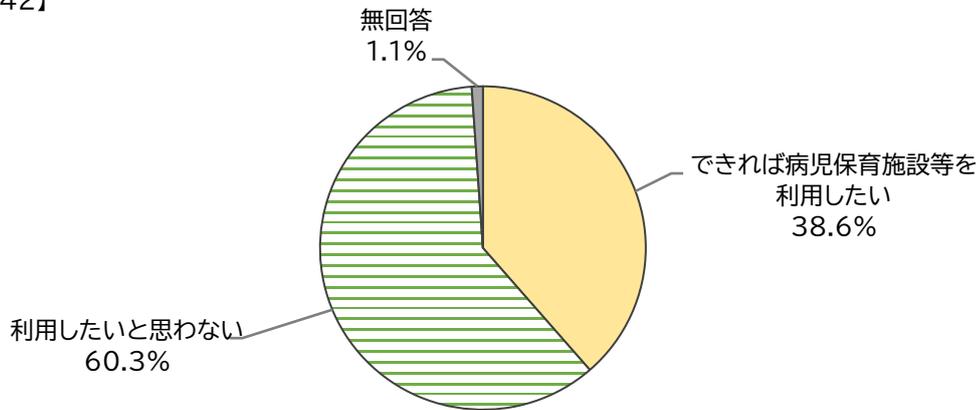
子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことがあったと回答した 600 人に、1年間における対処方法を尋ねると、「母親が仕事を休んだ」が 89.3%と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」(54.5%)、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」(36.5%)、「病児保育施設を利用した」(10.2%)、「就労していない保護者がみた」(9.7%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(0.8%)、「ファミリー・サポート・センターを利用した」(0.3%)、「居宅訪問型保育(いわゆるベビーシッター)を頼んだ」(0.2%)となっています。

(33) 病児保育を利用したいと思ったか

問 22-2 《問 22-1 で「1.」または「2.」(父親・母親が仕事を休んだ) に○をつけた方
 にかがいます。》

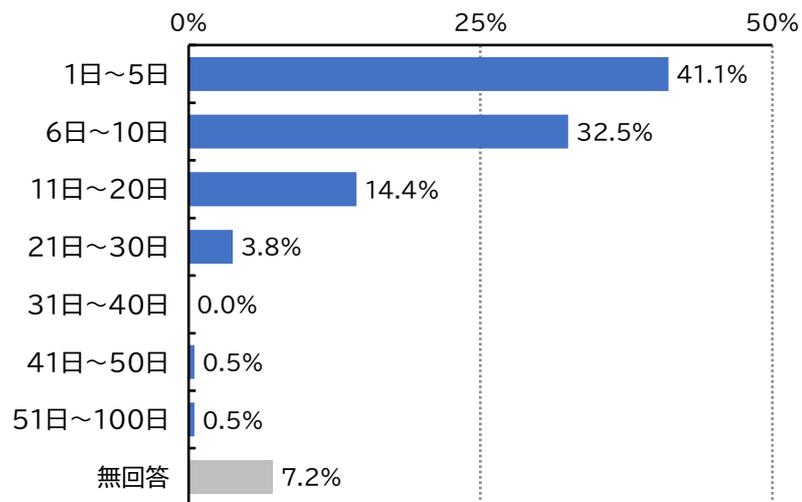
その際、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。【○は1つ・利用
 したい場合は日数を記入】

【n=542】



⇒希望利用日数(年間)

【n=209】



子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法として、母親もしくは父親が休んだと回答した 542 人に、その際に病児保育施設等を利用したいと思ったか尋ねると、「できれば病児保育施設等を利用したい」が 38.6%、「利用したいとは思わない」が 60.3% となっています。

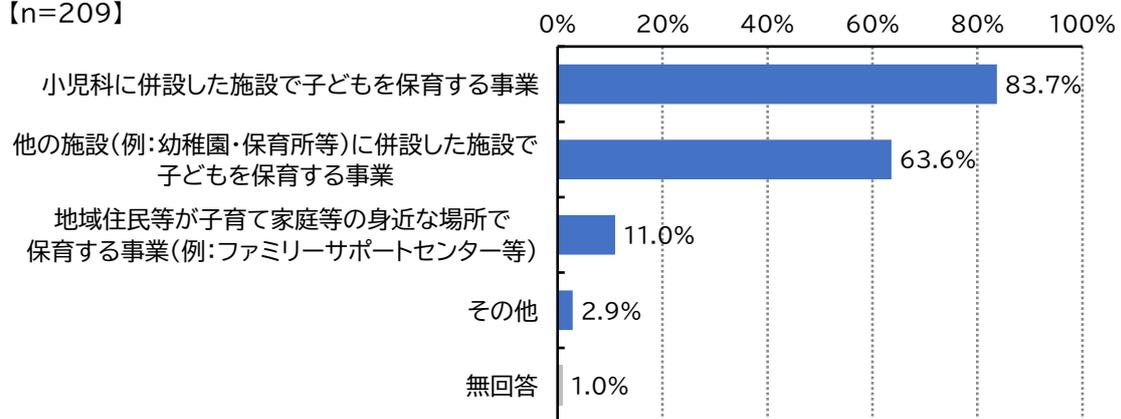
また、「できれば病児保育施設等を利用したい」と回答した 209 人に、年間の希望利用日数を尋ねると、年間「1日~5日」が 41.1%と最も多く、次いで「6日~10日」(32.5%)、「11日~20日」(14.4%)、「21日~30日」(3.8%)、「41日~50日」、「51日~100日」(ともに 0.5%) となっています。

(34) 病児保育で望ましいと思われる事業形態

問 22-3 《問 22-2 で「1. できれば病児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にかがいます。》

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。【○は当てはまるものすべて】

【n=209】

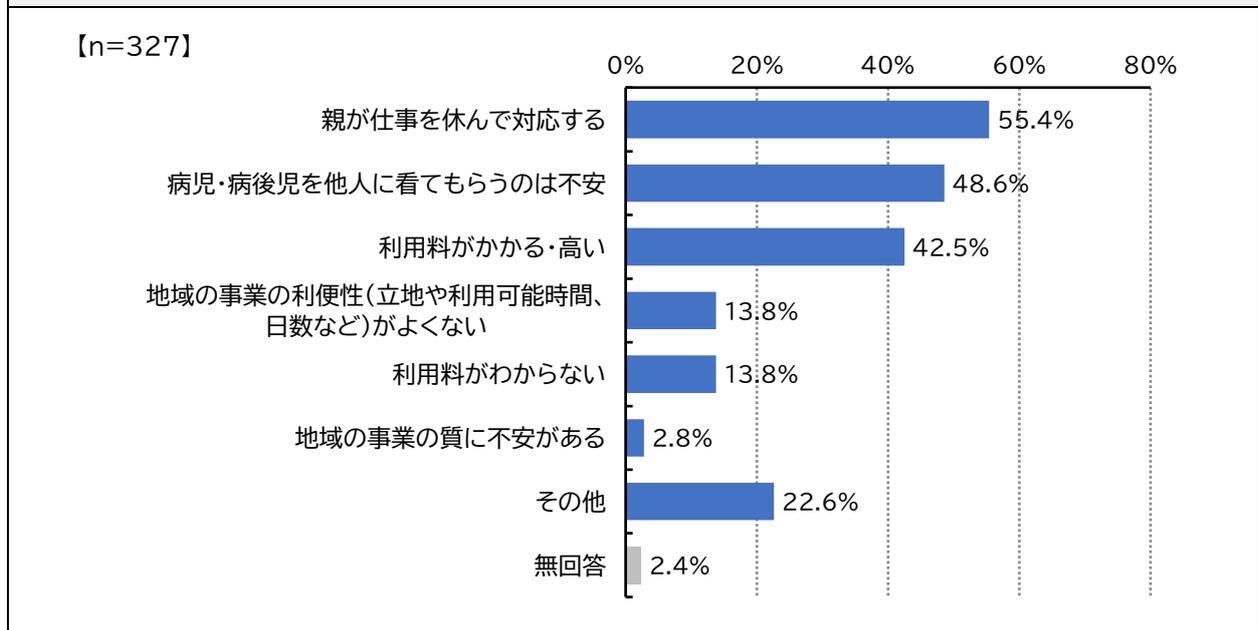


「できれば病児保育施設等を利用したい」と回答した 209 人に、病児保育施設の望ましい事業形態について尋ねると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 83.7%と最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」（63.6%）、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等）」（11.0%）となっています。

(35) 病児保育を利用したいと思わない理由

問 22-4 《問 22-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。》

そう思う理由についてお答えください。【○は当てはまるものすべて】

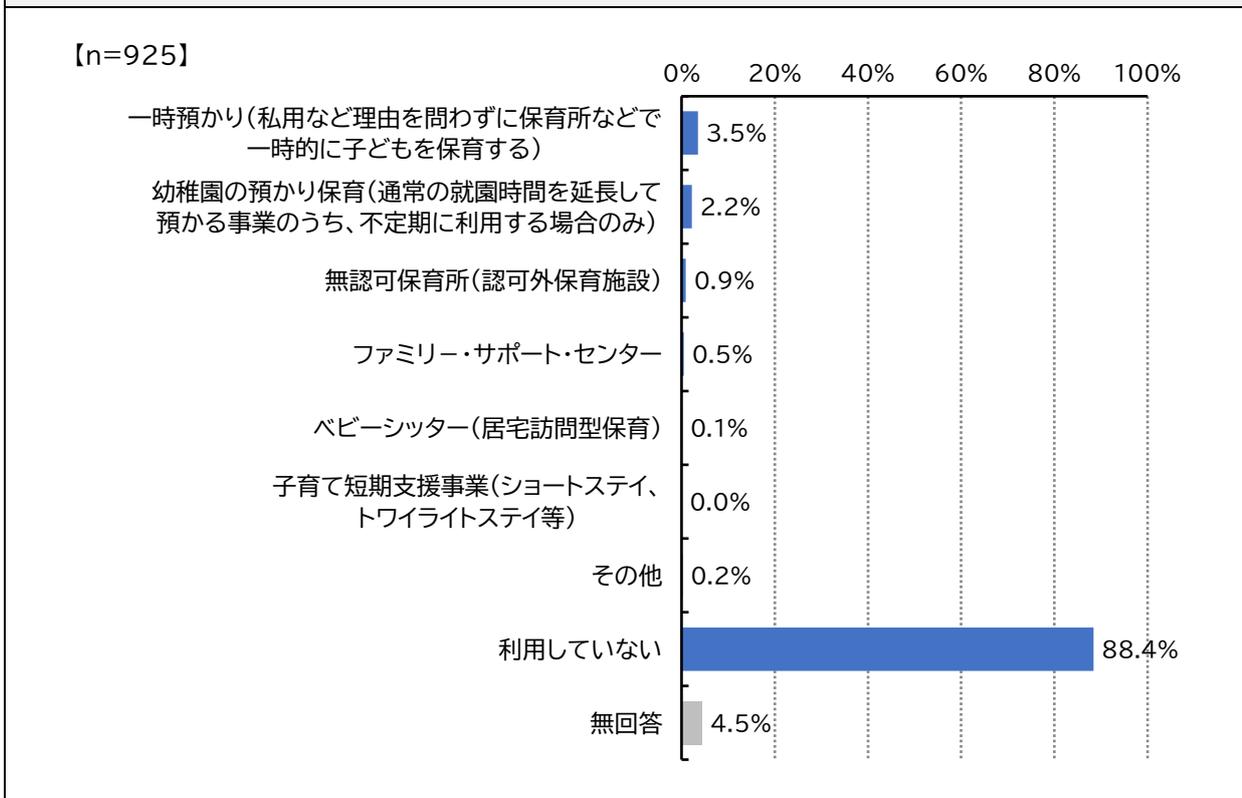


子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法として、母親もしくは父親が休んだものの、病児保育施設等を「利用したいとは思わない」と回答した 327 人に、その理由を尋ねると、「親が仕事を休んで対応する」が 55.4%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(48.6%)、「利用料がかかる・高い」(42.5%)、「その他」(22.6%)、「地域の事業の利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない」、「利用料がわからない」(ともに 13.8%)、「地域の事業の質に不安がある」(2.8%)となっています。

また、22.6%が「その他」と回答しており、その内容としては「体調が悪い子どもと一緒にいてあげたい」、「事前の手續等大変だった」、「情報があまりない」、「予約が取れない」、「子どもが拒否する」、「病気の悪化や他の感染症をもらう心配がある」などがみられました。

(36) 私用等の目的での「不規則の」教育・保育事業の利用状況

問 23 宛名のお子さんについて、この1年間に、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用・保護者の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用したサービスはありますか。
【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の利用日数を記入】

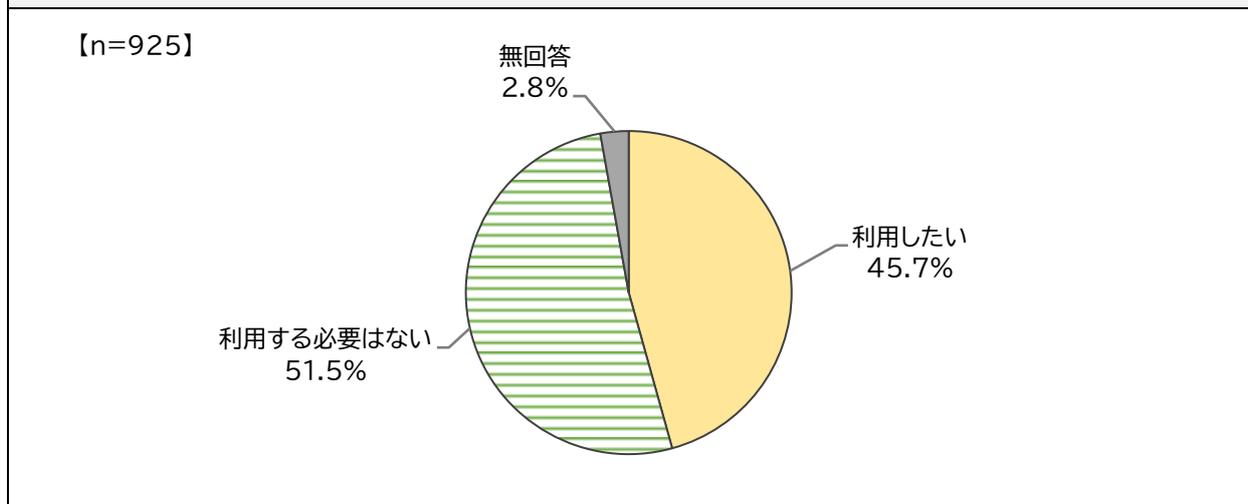


私用・保護者の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用したサービスは、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する）」が 3.5%と最も多く、次いで、「幼稚園の預かり保育（通常の見園時間を延長して預かる事業のうち、不規則に利用する場合のみ）」(2.2%)、「無認可保育所（認可外保育施設）」(0.9%)、「ファミリー・サポート・センター」(0.5%)、「ベビーシッター（居宅訪問型保育）」(0.1%) となっています。

なお、88.4%は「利用していない」と回答しています。

(37) 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用希望

問 24 宛名のお子さんについて、今後、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいと思いますか。【○は1つ】

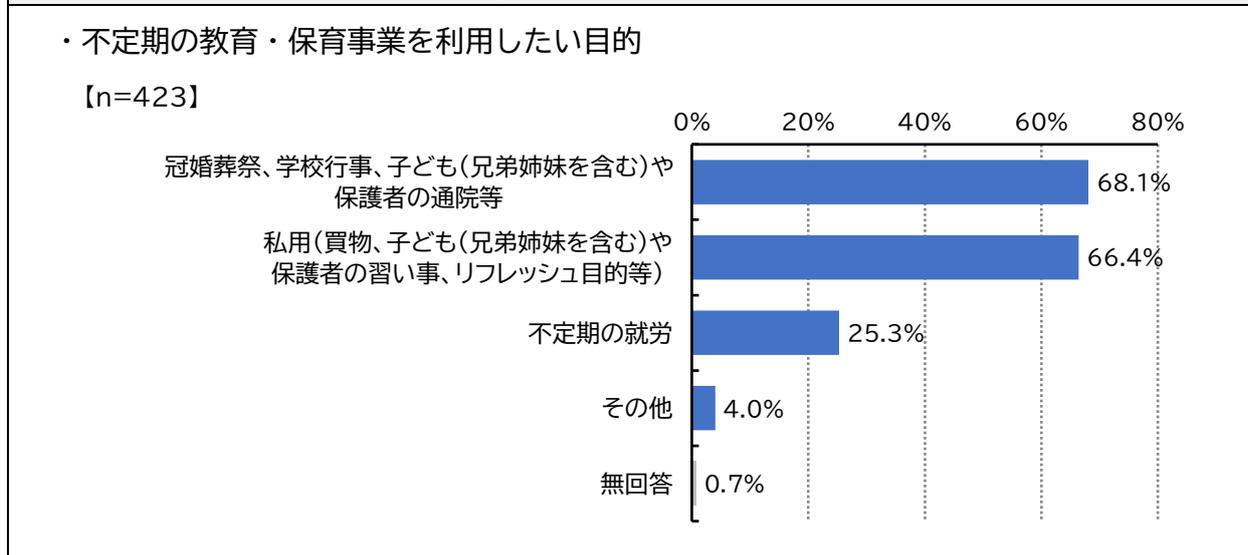


私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期の教育・保育事業を利用する必要があると思うかは、「利用したい」が45.7%、「利用する必要はない」が51.5%となっています。

(38) 不定期の教育・保育事業の利用目的と利用希望日数

問 24-1 《問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいます。》

どのような目的で、どのくらいの日数を利用したいですか。【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の日数を記入】

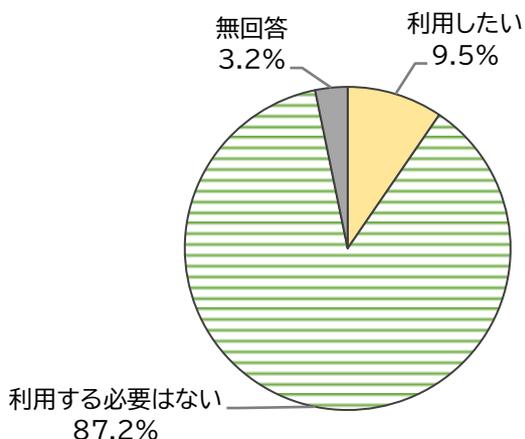


不定期の教育・保育事業を「利用したい」と回答した423人に、利用目的を尋ねると、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の通院等」が68.1%と最も多く、次いで「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の習い事、リフレッシュ目的等)」(66.4%)、「不定期の就労」(25.3%)となっています。

(39) 短期入所生活援助事業の利用希望

問 25 宛名のお子さんについて、今後、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）のため、子どもを泊りがけで家族以外に預ける短期入所生活援助事業を利用したいと思いますか。【○は1つ】

【n=925】



短期入所生活援助事業の利用希望は、「利用したい」が 9.5%、「利用する必要はない」が 87.2%となっています。

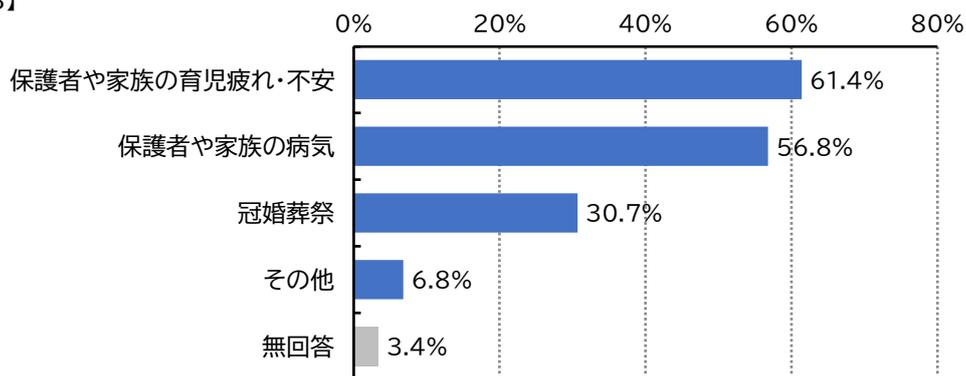
(40) 短期入所生活援助事業の利用目的と利用希望日数

問 25-1 《問 25 で「1. 利用したい」に○をつけた方いかがいます。》

どのような目的で、年間何泊くらい利用したいですか。【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の宿泊数を記入】

・短期入所生活援助事業を利用したい目的

【n=88】

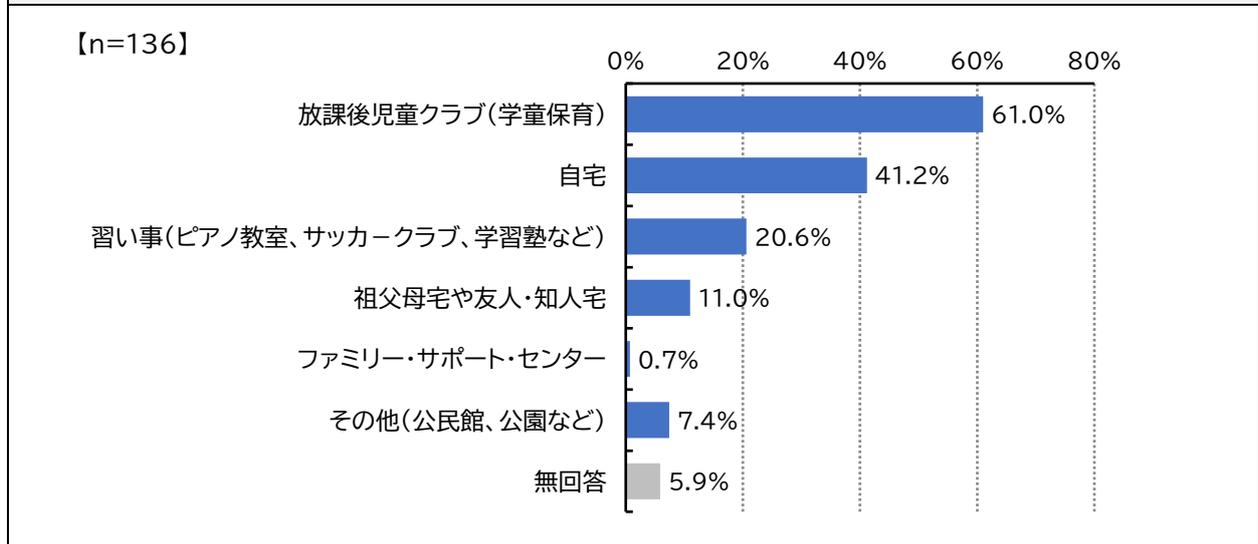


短期入所生活援助事業を「利用したい」と回答した 88 人に、利用目的を尋ねると、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 61.4%と最も多く、次いで「保護者や家族の病気」（56.8%）、「冠婚葬祭」（30.7%）となっています。

(41) 低学年時に子どもを放課後過ごさせたい場所

問 26 《宛名のお子さんが5歳以上である方》

宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの週当たりの日数を記入 「4. 放課後児童クラブ」の場合には利用希望時間を記入 時間は[例]18時のように24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】



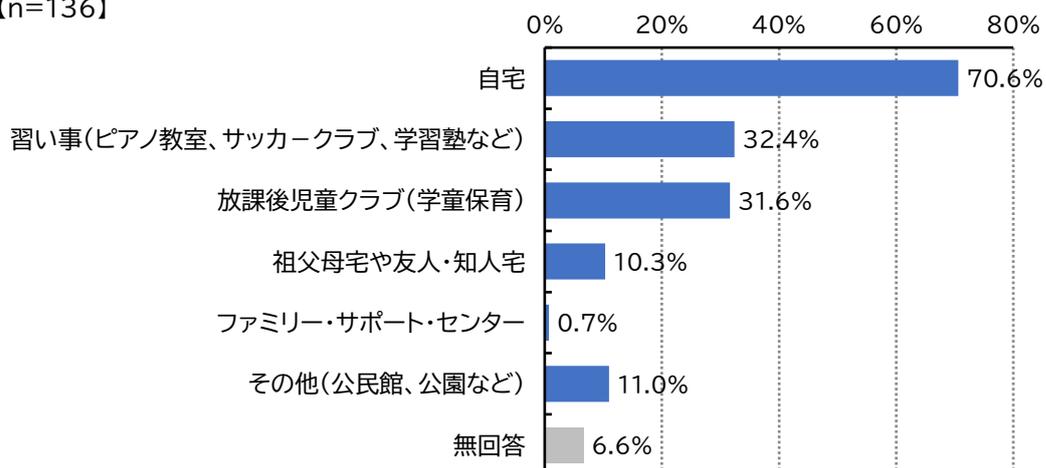
5歳以上の子どもの保護者136人に、小学校低学年（1～3年生）のうち放課後の時間をどこで過ごさせたいか尋ねると、「放課後児童クラブ（学童保育）」が61.0%と最も多く、次いで「自宅」（41.2%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（20.6%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（11.0%）、「ファミリー・サポート・センター」（0.7%）となっています。

(42) 高学年時に子どもを放課後過ごさせたい場所

問 27 《宛名のお子さんが5歳以上である方》

宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの週当たりの日数を記入 「4. 放課後児童クラブ」の場合には利用希望時間を記入 時間は[例]18時のように24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

【n=136】



5歳以上の子どもの保護者136人に、小学校高学年（4～6年生）になったら放課後の時間をどこで過ごさせたいか尋ねると、「自宅」が70.6%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（32.4%）、「放課後児童クラブ（学童保育）」（31.6%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（10.3%）、「ファミリー・サポート・センター」（0.7%）となっています。

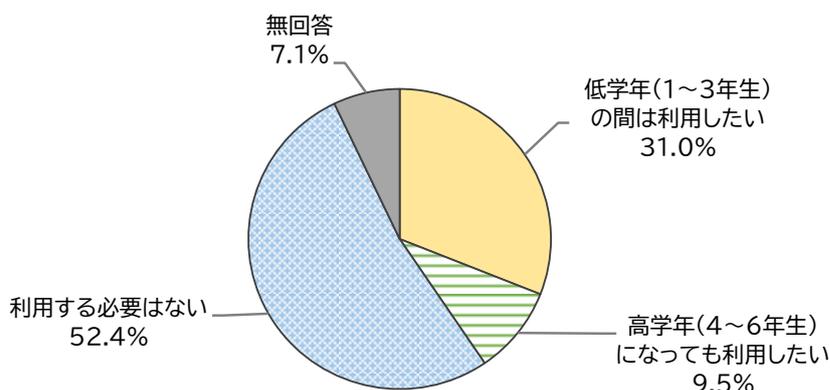
(43) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望

問 28 《問 26 または問 27 で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にかがいます。》

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。【○はそれぞれ1つ・利用したい場合は時間帯を[例]18時のように24時間制で記入】

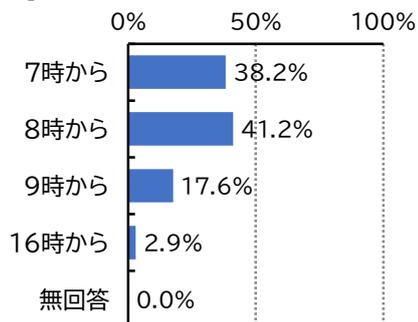
(1) 土曜日

【n=84】



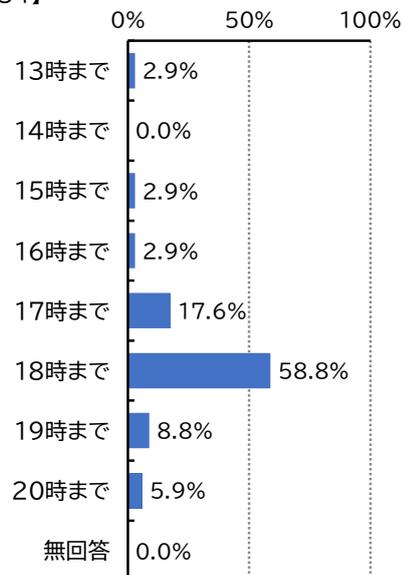
・利用したい開始時間

【n=34】



・利用したい終了時間

【n=34】



小学校の低学年または高学年に「放課後児童クラブ（学童保育）」を利用させたいと回答した84人に、土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望を尋ねると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（31.0%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（9.5%）を合わせた40.5%が『土曜日の利用希望がある』と回答しています。

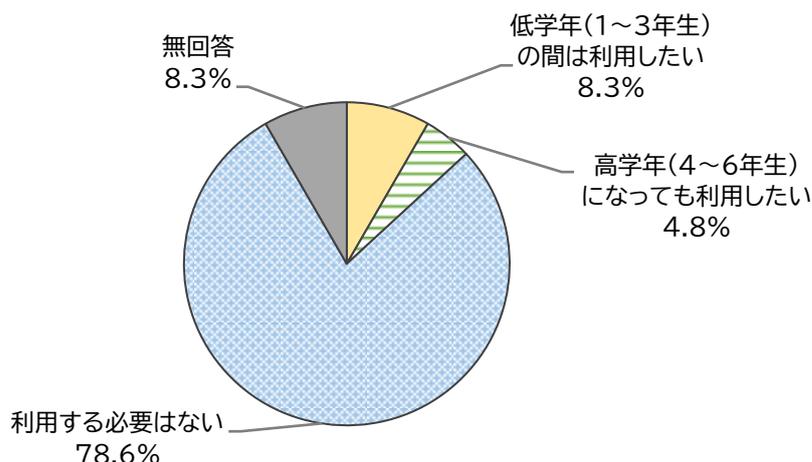
一方、52.4%は「利用する必要はない」と回答しています。

また、土曜日に放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいと回答した34人に、希望の利用時間帯を尋ねると、希望開始時間は「8時から」が41.2%と最も多く、次いで「7時から」（38.2%）、「9時から」（17.6%）、「16時から」（2.9%）となっており、希望終了時間は「18時まで」が58.8%と最も多く、次いで「17時まで」（17.6%）、「19時まで」（8.8%）、「20時まで」（5.9%）、「13時まで」、「15時まで」、「16時まで」（それぞれ2.9%）となっています。

(44) 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

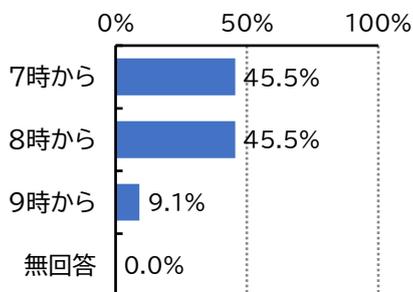
(2) 日曜日・祝日

【n=84】



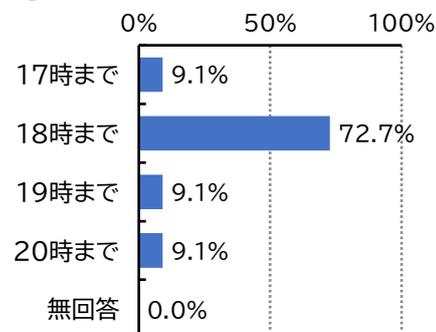
・利用したい開始時間

【n=11】



・利用したい終了時間

【n=11】



小学校の低学年または高学年に「放課後児童クラブ（学童保育）」を利用させたいと回答した84人に、日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望を尋ねると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（8.3%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（4.8%）を合わせた13.1%が『日曜日・祝日の利用希望がある』と回答しています。

一方、78.6%は「利用する必要がある」と回答しています。

また、日曜日・祝日に放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいと回答した11人に、希望の利用時間帯を尋ねると、希望開始時間は「7時から」と「8時から」がともに45.5%と最も多く、次いで「9時から」（9.1%）となっており、希望終了時間は「18時まで」が72.7%と最も多く、次いで「17時まで」、「19時まで」、「20時まで」（それぞれ9.1%）となっています。

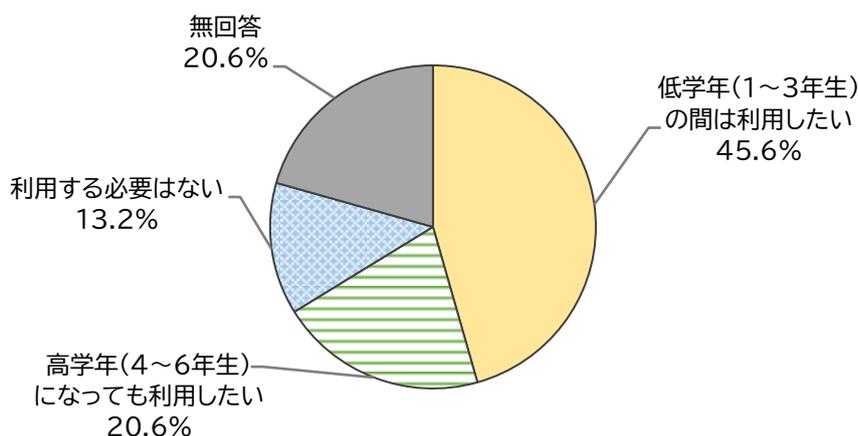
(45) 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

問 29 《宛名のお子さんが5歳以上である方》

宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。【○は1つ・利用したい場合は時間帯を[例]18時のように24時間制で記入】

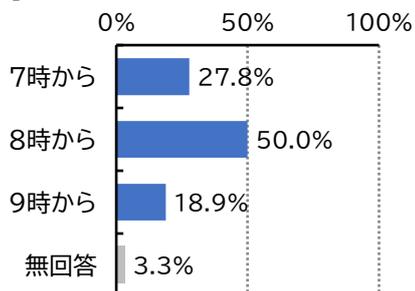
【長期の休暇期間中】

【n=136】



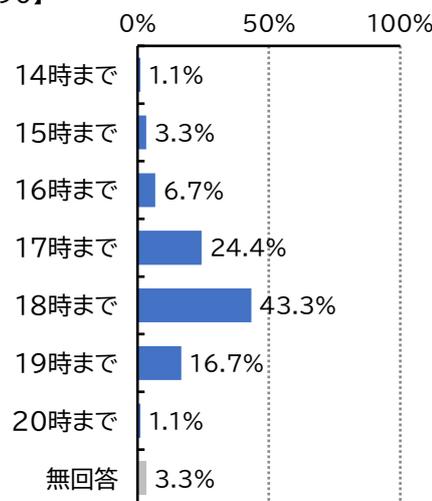
・利用したい開始時間

【n=90】



・利用したい終了時間

【n=90】



5歳以上の子どもの保護者136人に、長期の休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望を尋ねると、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(45.6%)、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(20.6%)を合わせた66.2%が『長期休暇期間中の利用希望がある』と回答しています。

なお、13.2%は「利用する必要はない」と回答しています。

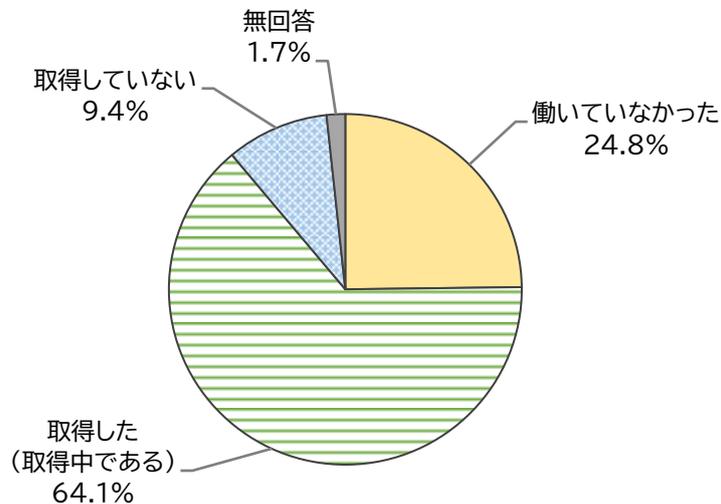
また、長期休暇中に放課後児童クラブ(学童保育)を利用したいと回答した90人に、希望の利用時間帯を尋ねると、希望開始時間は「8時から」が50.0%と最も多く、次いで「7時から」(27.8%)、「9時から」(18.9%)となっており、終了時間は「18時まで」が43.3%と最も多く、次いで「17時まで」(24.4%)、「19時まで」(16.7%)、「16時まで」(6.7%)、「15時まで」(3.3%)、「14時まで」、「20時まで」(ともに1.1%)となっています。

(46) 母親の育児休業の取得状況

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。取得していない方はその理由をお答えください。【○は1つ・「2」は月数、「3」は主な理由の番号を3つまで記入】

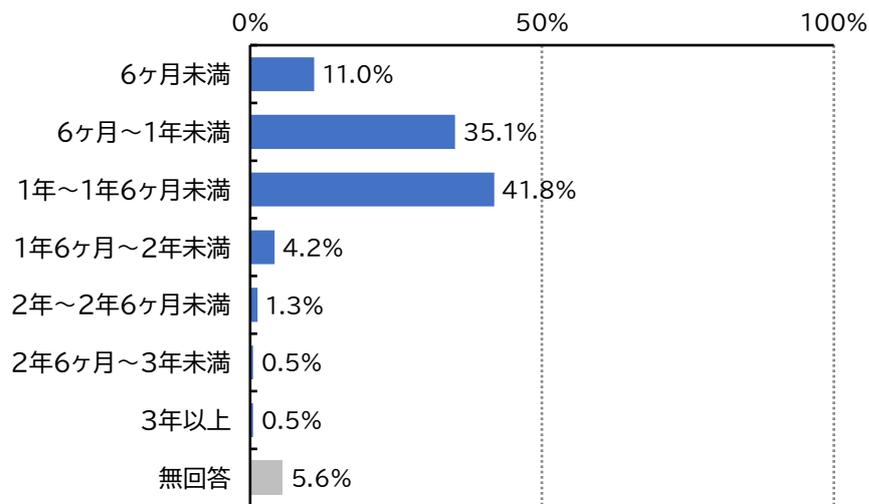
(1) 母親

【n=925】



・取得期間(月数)

【n=593】

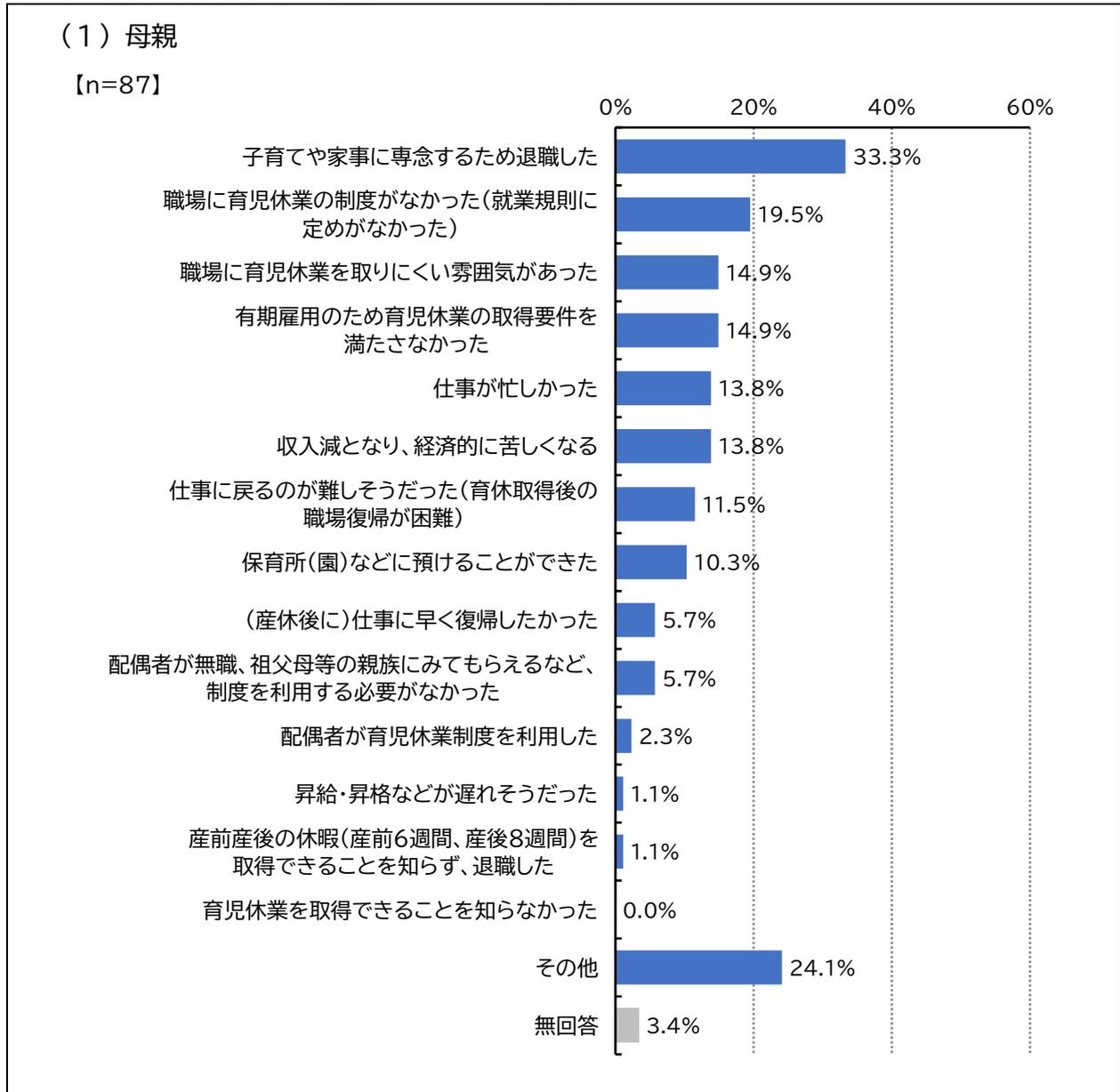


母親の育児休業の取得状況は、「取得した(取得中である)」が64.1%、「取得していない」が9.4%となっています。

なお、24.8%は「働いていなかった」と回答しています。

また、育児休業を「取得した(取得中である)」と回答した593人に、取得期間を尋ねると、「1年～1年6ヶ月未満」が41.8%と最も多く、次いで「6ヶ月～1年未満」(35.1%)、「6ヶ月未満」(11.0%)、「1年6ヶ月～2年未満」(4.2%)、「2年～2年6ヶ月未満」(1.3%)、「2年6ヶ月～3年未満」、「3年以上」(ともに0.5%)となっています。

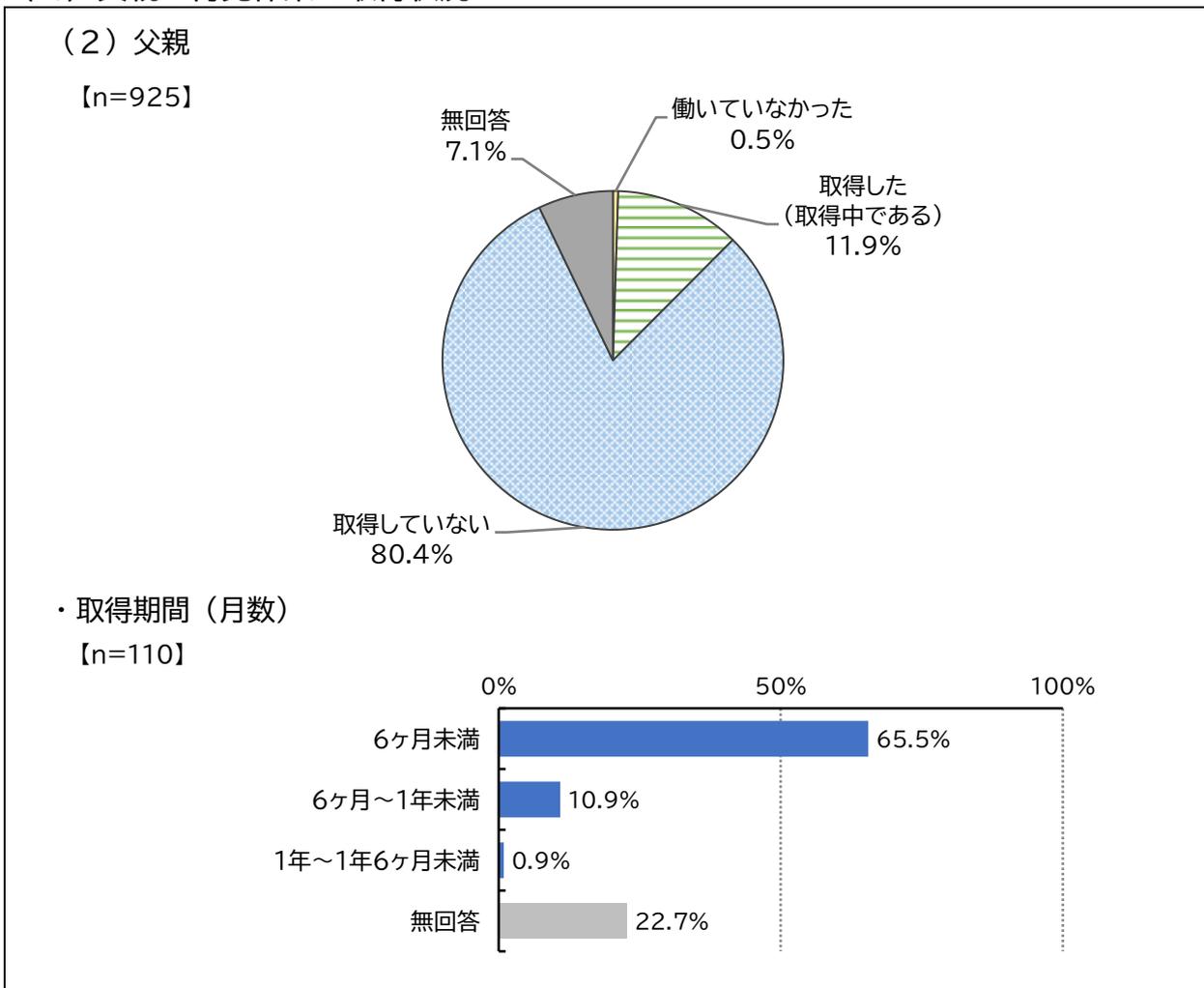
(47) 母親が育児休業を取得していない理由



育児休業を取得していない母親 87 人に、取得しなかった理由を尋ねると、「子育てや家事に専念するため退職した」が 33.3% と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(19.5%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」(ともに 14.9%)、「仕事が忙しかった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(ともに 13.8%) と続いています。

また、24.1% が「その他」と回答しており、その内容としては「自営業のため」、「つわりがひどく、休職をしたため育休等取得要件を満たせなかった」、「妊娠を理由に解雇された」などがみられました。

(48) 父親の育児休業の取得状況

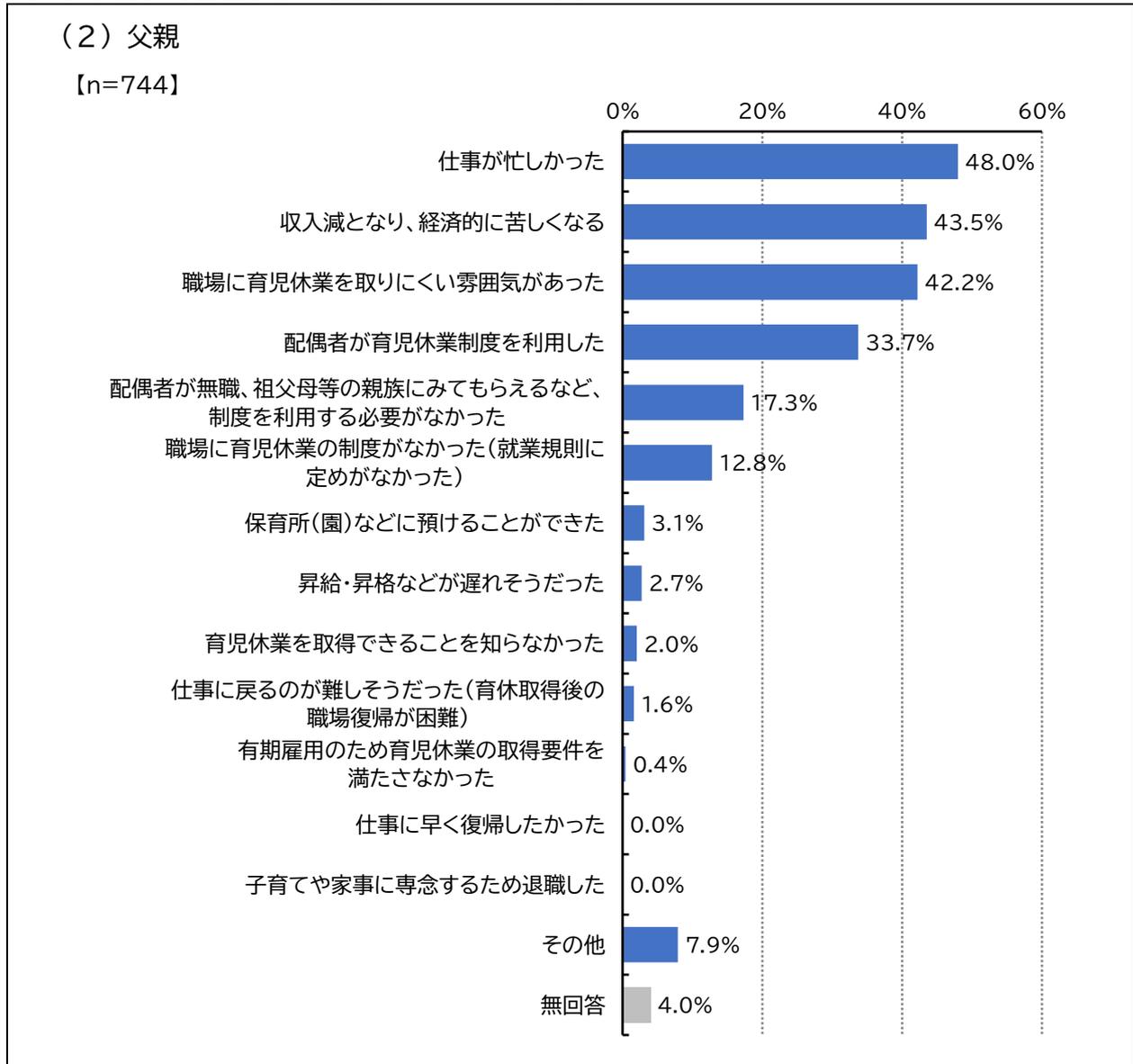


父親の育児休業の取得状況は、「取得した(取得中である)」が11.9%、「取得していない」が80.4%となっています。

なお、0.5%は「働いていなかった」と回答しています。

また、育児休業を「取得した(取得中である)」と回答した110人に、取得期間を尋ねると、「6ヶ月未満」が65.5%と最も多く、次いで「6ヶ月～1年未満」(10.9%)、「1年～1年6ヶ月未満」(0.9%)となっています。

(49) 父親が育児休業を取得していない理由



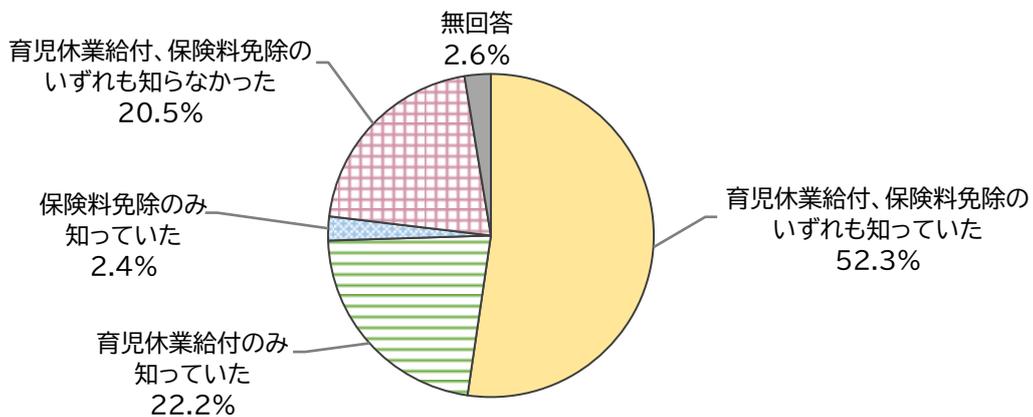
育児休業を取得していない父親 744 人に、取得しなかった理由を尋ねると、「仕事が忙しかった」が 48.0%と最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」(43.5%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(42.2%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(33.7%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(17.3%)、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(12.8%)と続いています。

(50) 育児休業中の育児休業給付、保険料免除制度の認知度

問 30-1

子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は最長で2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みについて知っていますか。【○は1つ】

【n=925】

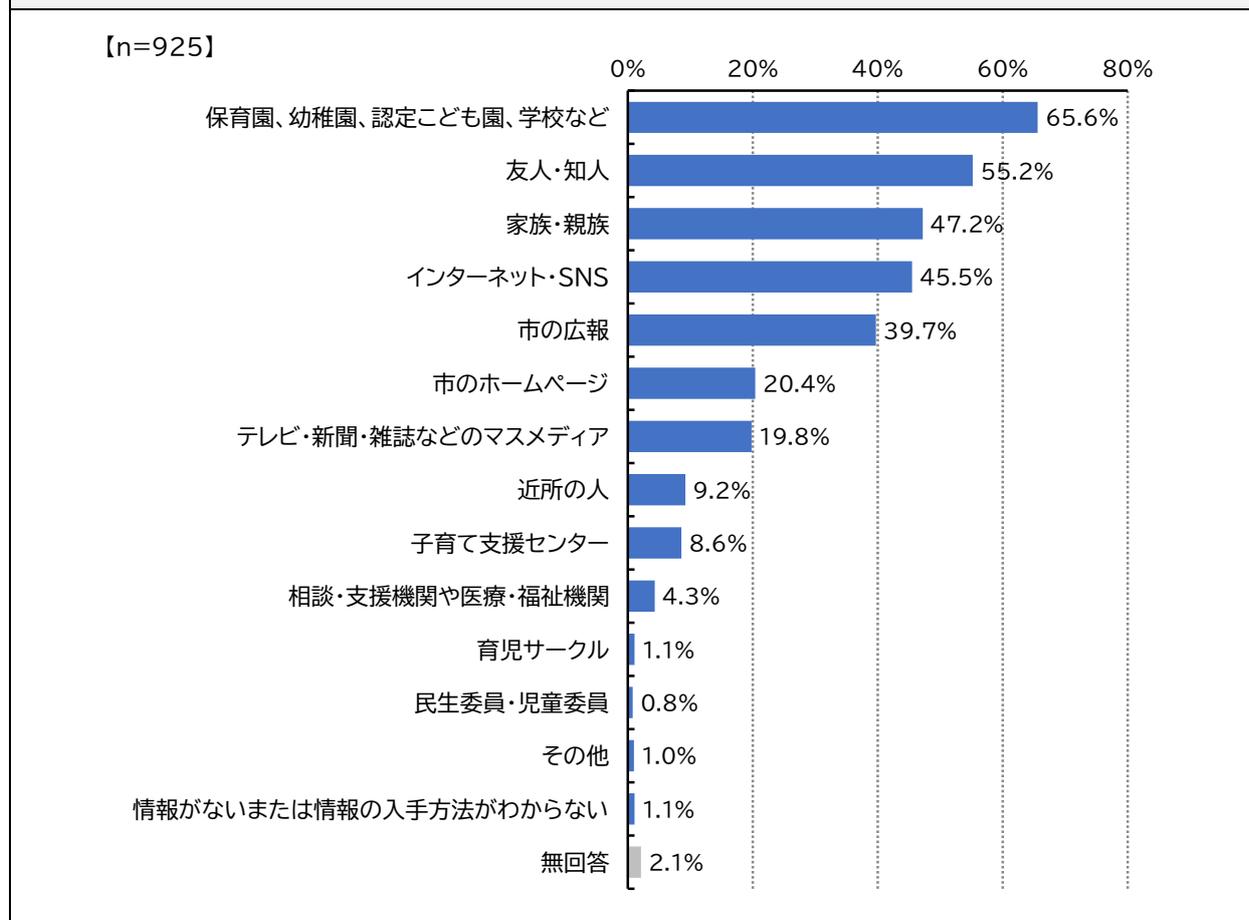


育児休業給付の支給や保険料免除の仕組みを知っているかは、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 52.3%と最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」（22.2%）、「保険料免除のみ知っていた」（2.4%）となっています。

また、20.5%は「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」と回答しています。

(51) 子育てや教育に関する情報をどのように得ているか

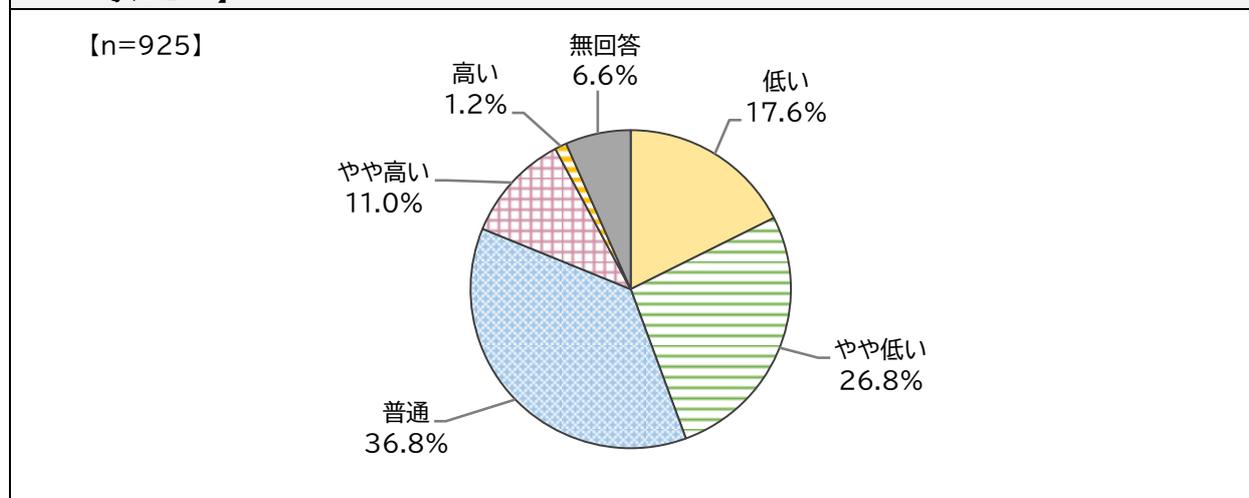
問 31 子育てや教育に関して、情報をどのように得ていますか。【○は当てはまるものすべて】



子育てや教育に関する情報をどのように得ているかは、「保育園、幼稚園、認定こども園、学校など」が65.6%と最も多く、次いで「友人・知人」(55.2%)、「家族・親族」(47.2%)、「インターネット・SNS」(45.5%)、「市の広報」(39.7%)と続いています。

(52) 滝沢市における子育ての環境や支援への満足度

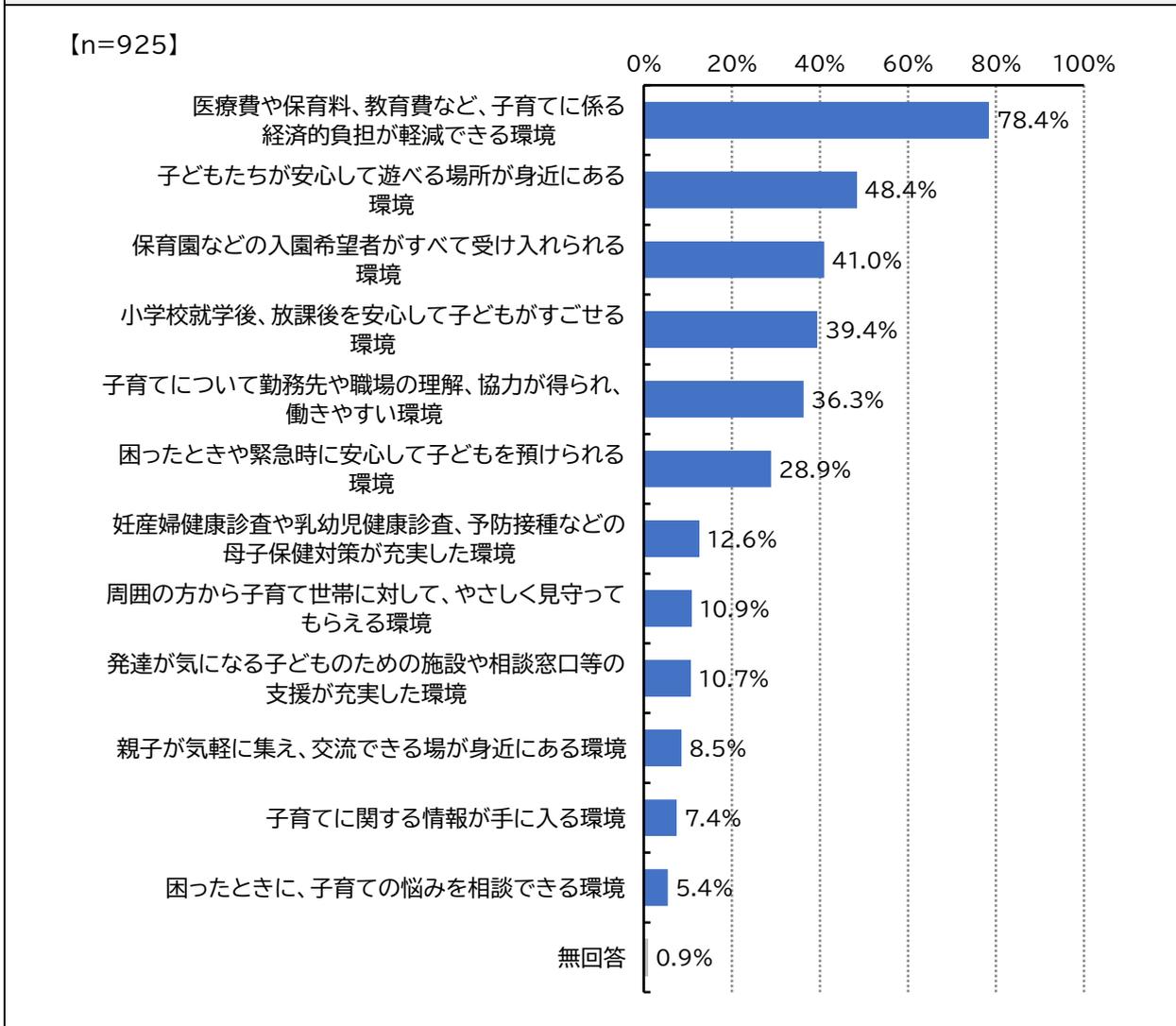
問 32 滝沢市における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。【○は当てはまる番号に1つ】



滝沢市における子育ての環境や支援への満足度を5段階評価で尋ねると、「普通」が36.8%と最も多く、「やや低い」(26.8%)、「低い」(17.6%)を合わせた44.4%が『低いほうだ』と回答しており、比較的、満足度が低いという回答が多くなっています。

(53) どのような環境が整えば、もっと子育てがしやすいまちになると思うか

問 33 どのような環境が整えば、もっと子育てがしやすいまちになると思いますか。【〇は3つまで】

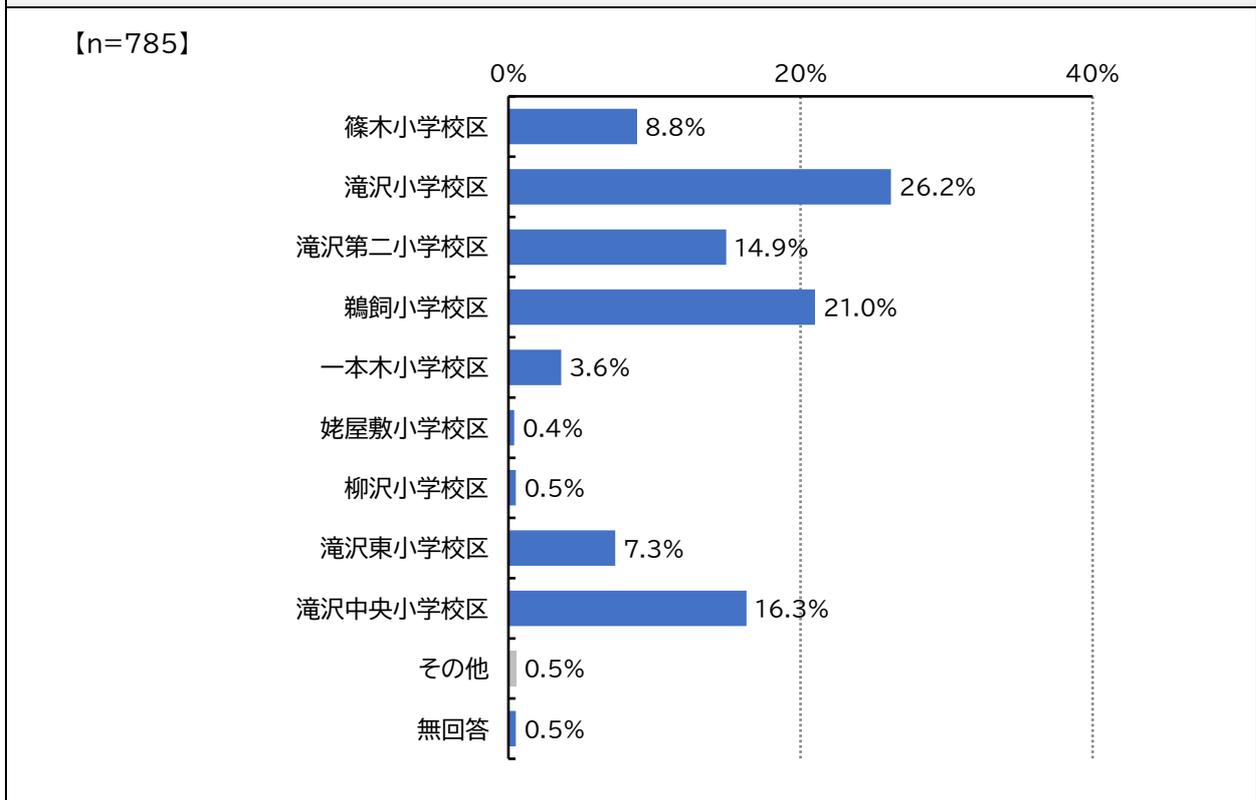


どのような環境が整えば、もっと子育てがしやすいまちになると思うかは、「医療費や保育料、教育費など、子育てに係る経済的負担が軽減できる環境」が78.4%と最も多く、次いで「子どもたちが安心して遊べる場所が身近にある環境」(48.4%)、「保育園などの入園希望者がすべて受け入れられる環境」(41.0%)、「小学校就学後、放課後を安心して子どもがすごせる環境」(39.4%)、「子育てについて勤務先や職場の理解、協力が得られ、働きやすい環境」(36.3%)、「困ったときや緊急時に安心して子どもを預けられる環境」(28.9%)と続いています。

Ⅲ 小学校児童調査結果

(1) 居住地区

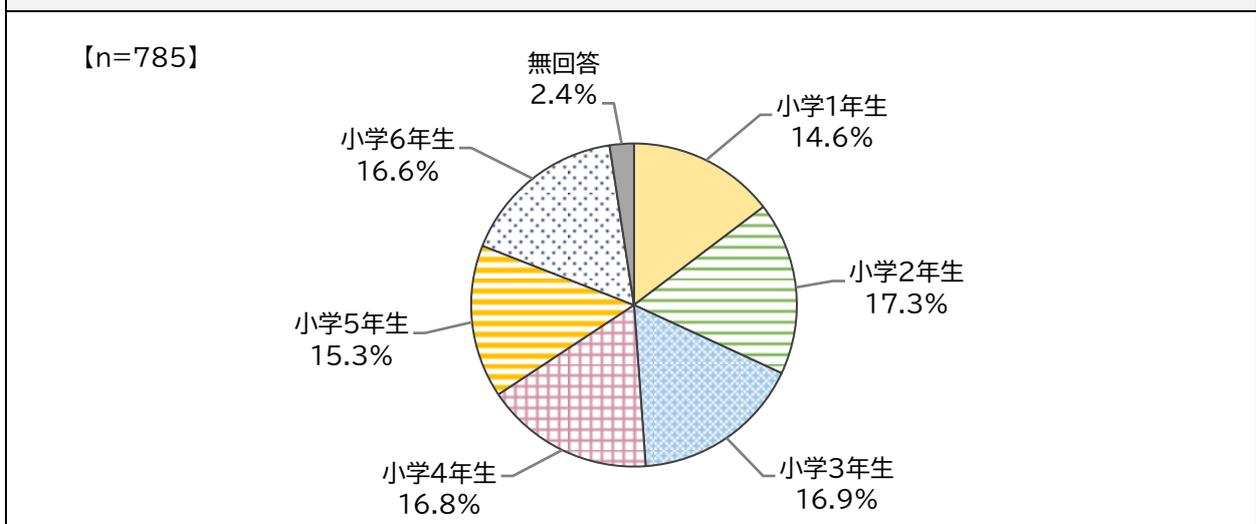
問3 宛名のお子さんのお住まいの地域はどちらですか。【○は1つ】



回答者の居住地区は、「篠木小学校区」が8.8%、「滝沢小学校区」が26.2%、「滝沢第二小学校区」が14.9%、「鶺鴒小学校区」が21.0%、「一本木小学校区」が3.6%、「姥屋敷小学校区」(0.4%)、「柳沢小学校区」(0.5%)、「滝沢東小学校区」(7.3%)、「滝沢中央小学校区」が16.3%となっています。

(2) 子どもの学年

問4 宛名のお子さんの生年月を西暦でご記入ください。【数字を記入】



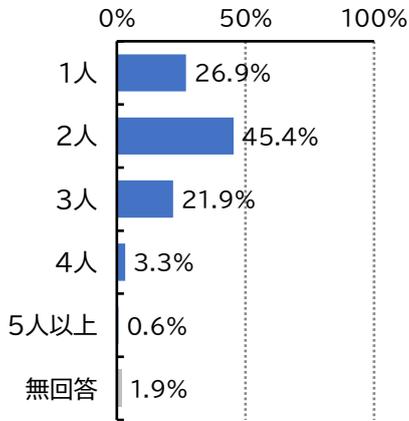
回答者の子どもの誕生日から算出した学年は、「小学1年生」が14.6%、「小学2年生」が17.3%、「小学3年生」が16.9%、「小学4年生」が16.8%、「小学5年生」が15.3%、「小学6年生」が16.6%となっています。

(3) きょうだいの人数

問5 宛名のお子さんを含め、きょうだいは何人いますか。また、2人以上のお子さんがある場合は、一番下のお子さんの生年月を西暦でご記入ください。【数字を記入】

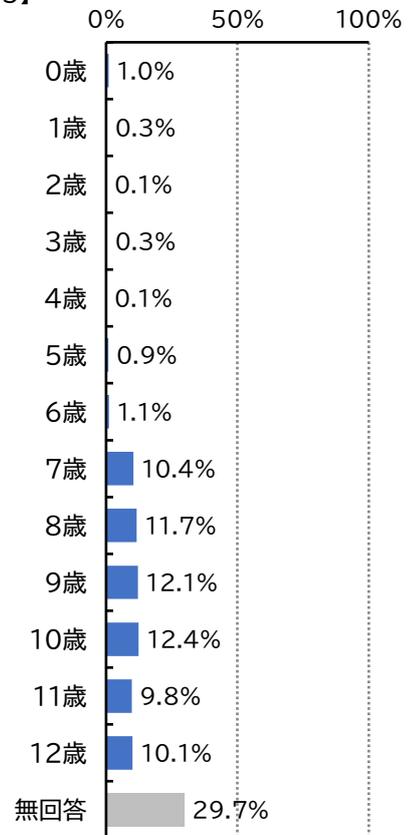
①きょうだい人数

【n=785】



②一番下のお子さんの年齢

【n=785】

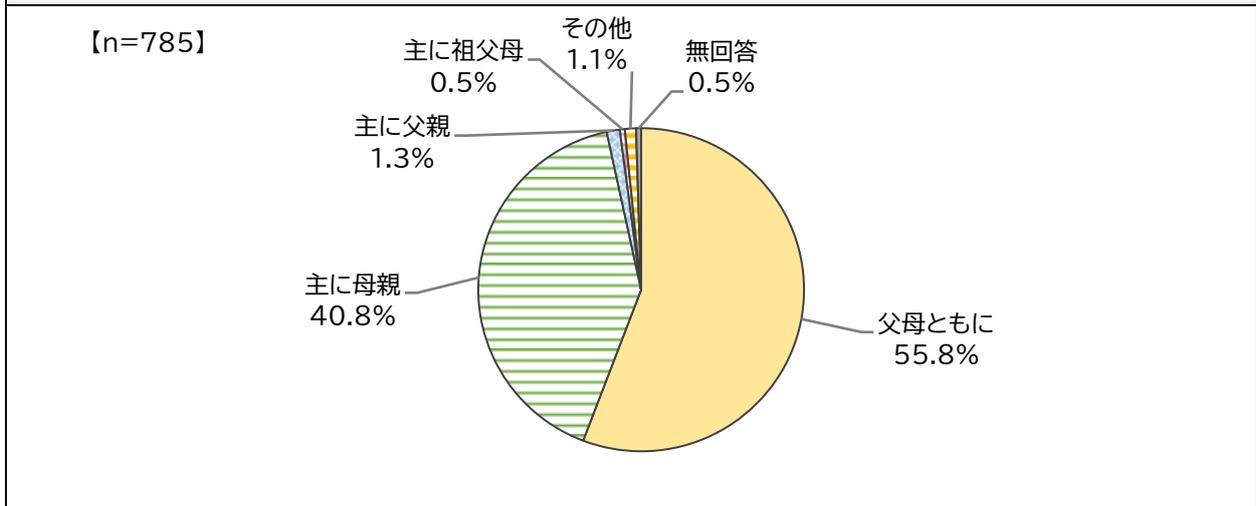


きょうだいの人数は、「2人」が45.4%と最も多く、次いで「1人」(26.9%)、「3人」(21.9%)、「4人」(3.3%)、「5人以上」(0.6%)となっています。

また、一番下のお子さんの年齢は、「10歳」が12.4%と最も多く、次いで「9歳」(12.1%)、「8歳」(11.7%)、「7歳」(10.4%)、「12歳」(10.1%)と続いています。

(4) 子育てを主に行っている人

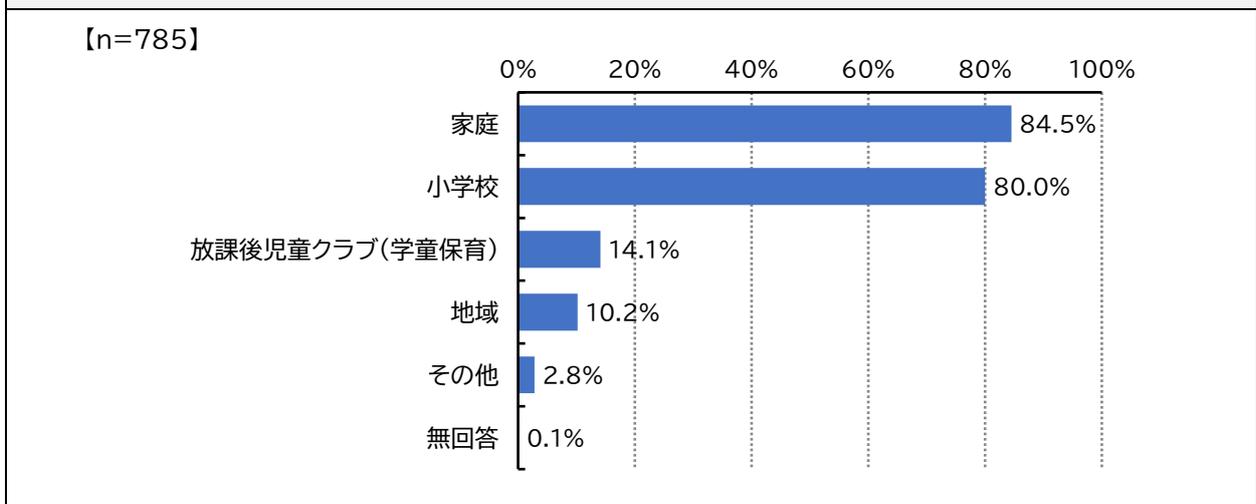
問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。【○は1つ】



子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が55.8%と最も多く、次いで「主に母親」(40.8%)、「主に父親」(1.3%)、「主に祖父母」(0.5%)となっています。

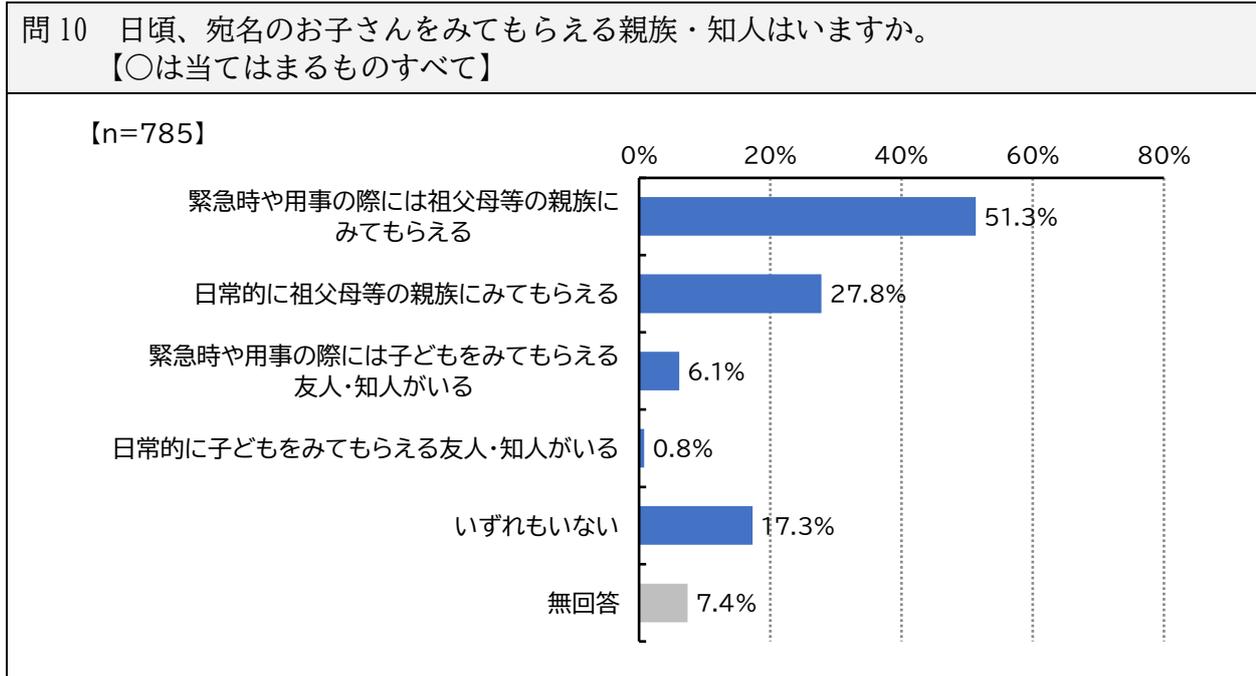
(5) 子育てにもっとも影響すると思われる環境

問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境をお答えください。【○は当てはまるものすべて】



子育てにもっとも影響すると思われる環境は、「家庭」が84.5%と最も多く、次いで「小学校」(80.0%)、「放課後児童クラブ(学童保育)」(14.1%)、「地域」(10.2%)となっています。

(6) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

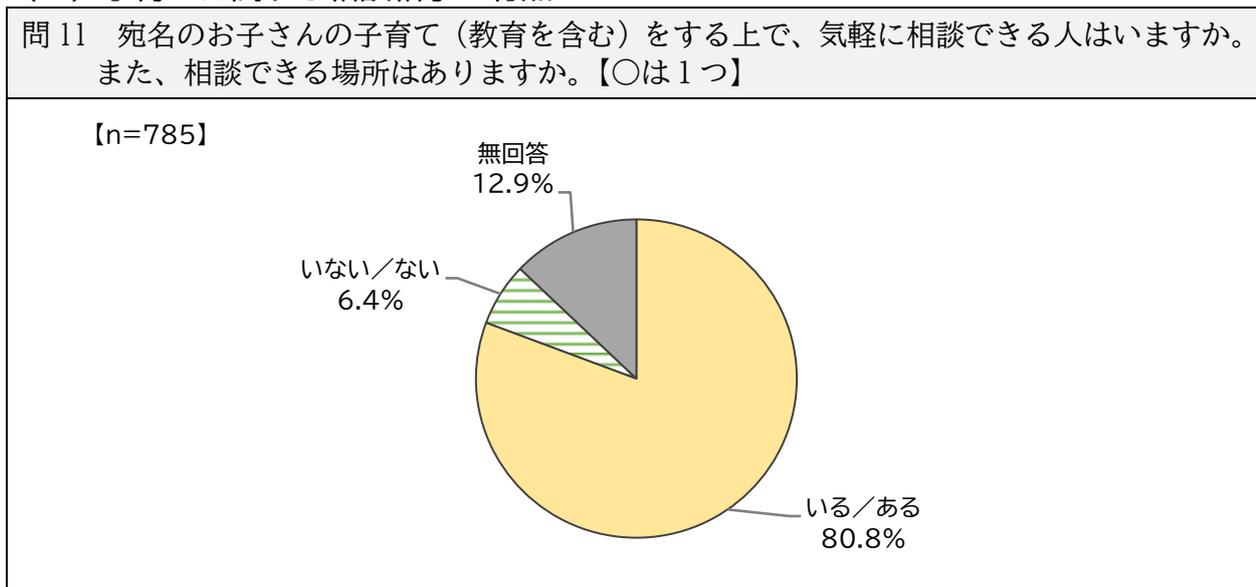


日頃、子どもを預かってもらえる親族がいるかは、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 51.3%、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 27.8%となっています。

また、日頃、子どもを預かってもらえる知人がいるかは、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 6.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 0.8%となっています。

なお、17.3%が「いずれもない」と回答しています。

(7) 子育てに関する相談相手の有無

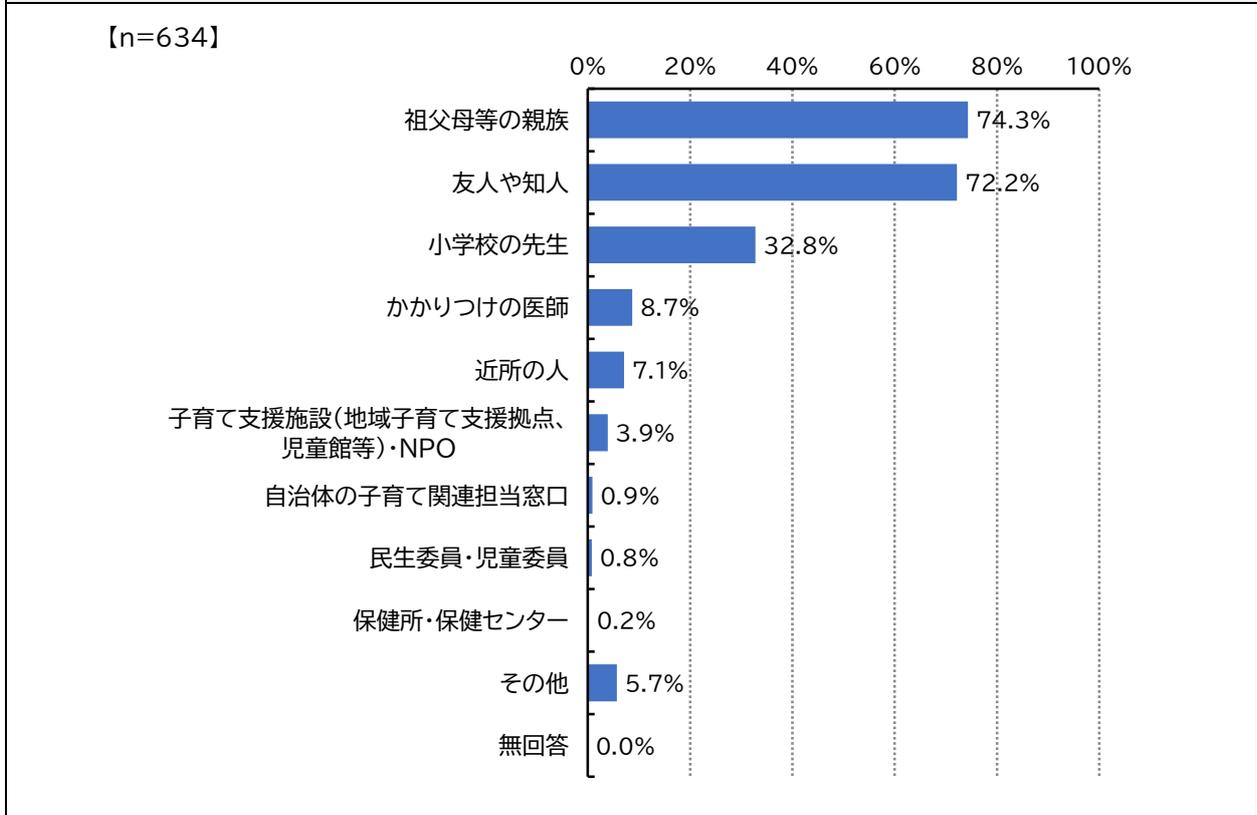


子育てをする上で、気軽に相談できる人がいるかは「いる・ある」が 80.8%、「いない・ない」が 6.4%となっています。

(8) 子育てに関する相談先

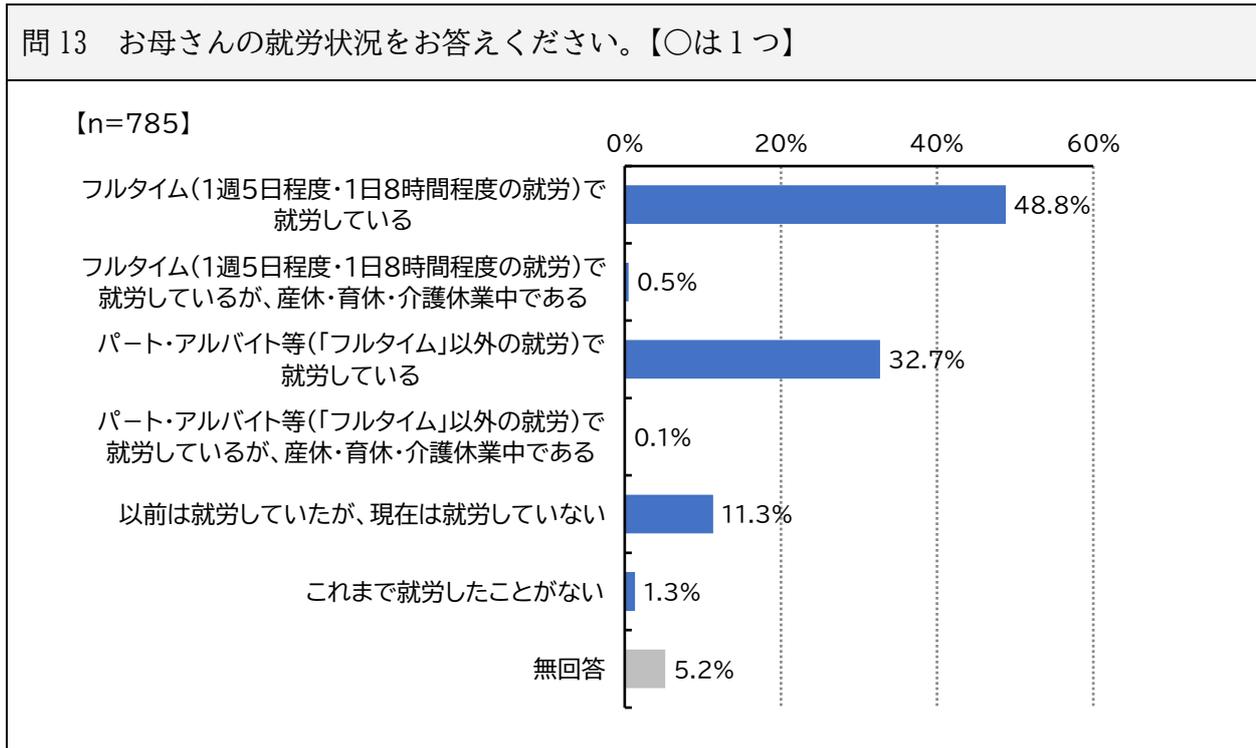
問 11-1 《問 11 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。》

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
【○は当てはまるものすべて】



子育てをする上で、気軽に相談できる人がいると回答した 634 人に、相談先を尋ねると、「祖父母等の親族」が 74.3%と最も多く、次いで「友人や知人」(72.2%)、「小学校の先生」(32.8%)、「かかりつけの医師」(8.7%)、「近所の人」(7.1%)と続いています。

(9) 母親の就労状況



母親の現在の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している」（48.8%）と「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（0.5%）を合わせた49.3%が『フルタイムでの就労』となっています。

また、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している」（32.7%）と「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（0.1%）を合わせた32.8%が『パート・アルバイト等での就労』となっています。

なお、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（11.3%）と「これまで就労したことがない」（1.3%）を合わせた12.6%は『就労していない』と回答しています。

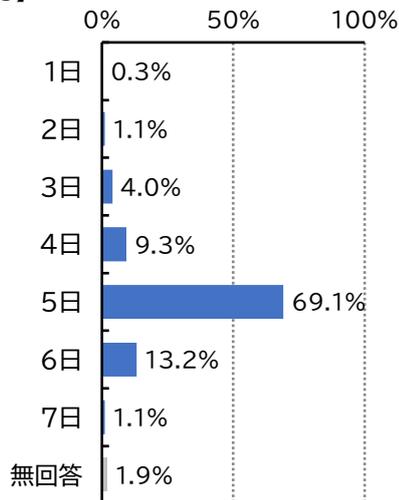
(10) 就労している母親の就労日数・就労時間

問 13-1 《問 13 で「1.」から「4.」(就労している)のいずれかに○をつけた方にかがいます。》

お母さんの1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。【数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

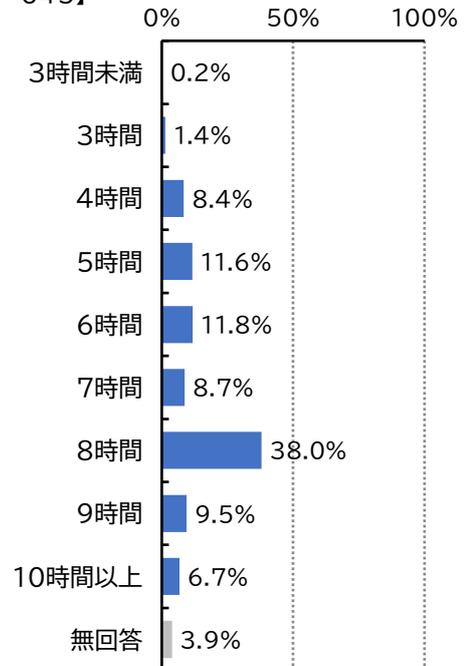
① 1週あたりの就労日数

【n=645】



② 1日あたりの就労時間

【n=645】

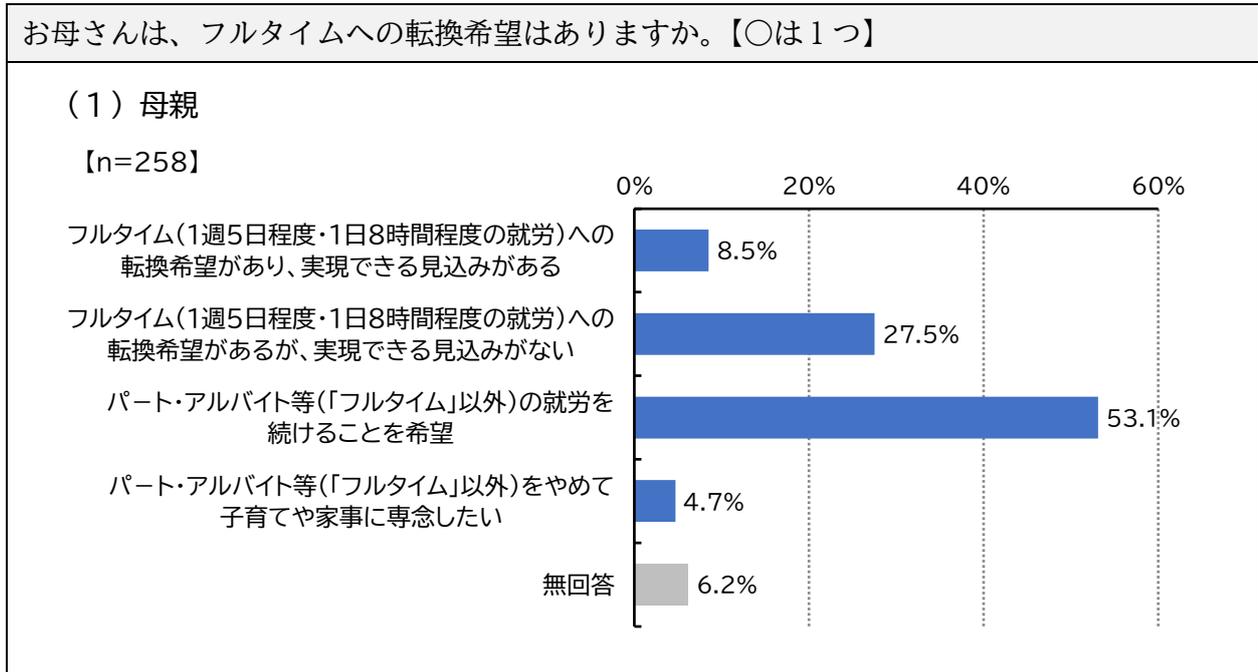


就労していると回答した母親 645 人に 1 週あたりの就労日数を尋ねると、「5日」が 69.1% と最も多く、次いで「6日」(13.2%)、「4日」(9.3%)、「3日」(4.0%)、「2日」、「7日」(1.1%)、「1日」(0.3%) となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が 38.0% と最も多く、次いで「6時間」(11.8%)、「5時間」(11.6%)、「9時間」(9.5%)、「7時間」(8.7%) と続いています。

(11) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

問 13-3 《問 13 で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にかがいます。》



パートタイム、アルバイト等で就労している母親 258 人に、フルタイムへの転換希望があるか尋ねると、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が 53.1%と最も多くなっています。

また、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みがない」(27.5%)、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」(8.5%)を合わせた 36.0%が『フルタイムへの転換希望がある』と回答しています。

なお、4.7%は「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい」と回答しています。

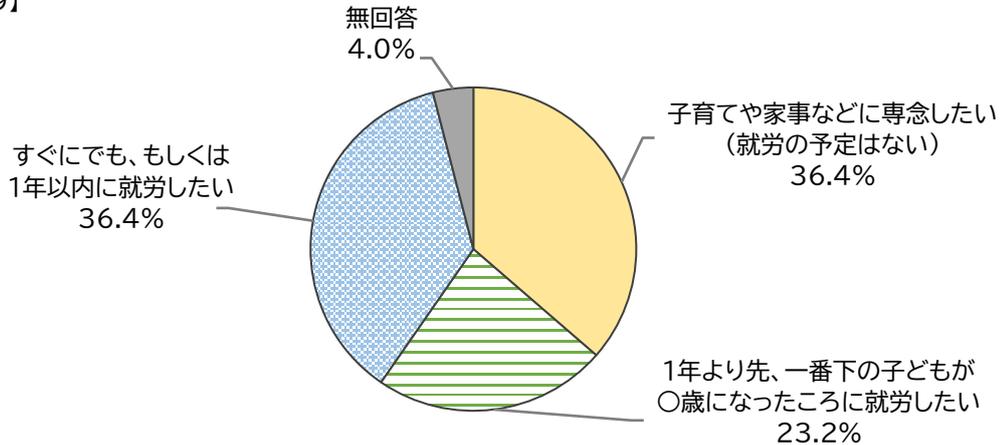
(12) 現在就労していない母親の就労希望

問 13-4 《問 13 で「5.」または「6.」（現在就労していない）に○をつけた方にかがいます。》

お母さんは、就労したいという希望はありますか。【○は1つ・「2.」「3.」の場合は数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

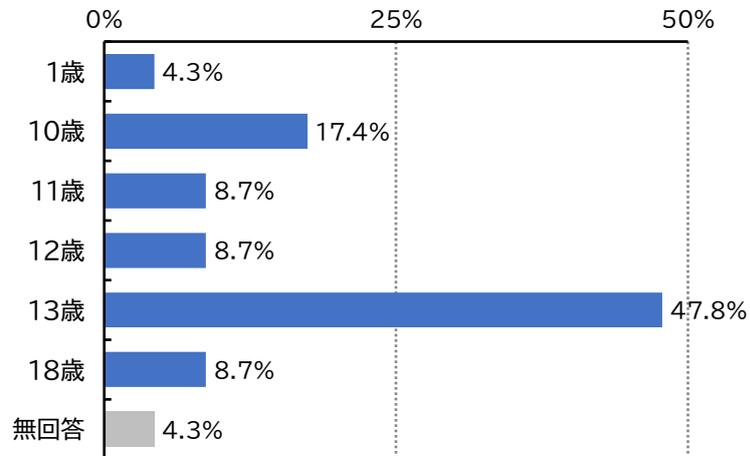
・現在就労していない母親の就労希望

【n=99】



・1年より先、一番下の子どもが〇歳になったときに就労したい
→就労したいと思う時期（一番下の子の年齢）

【n=23】

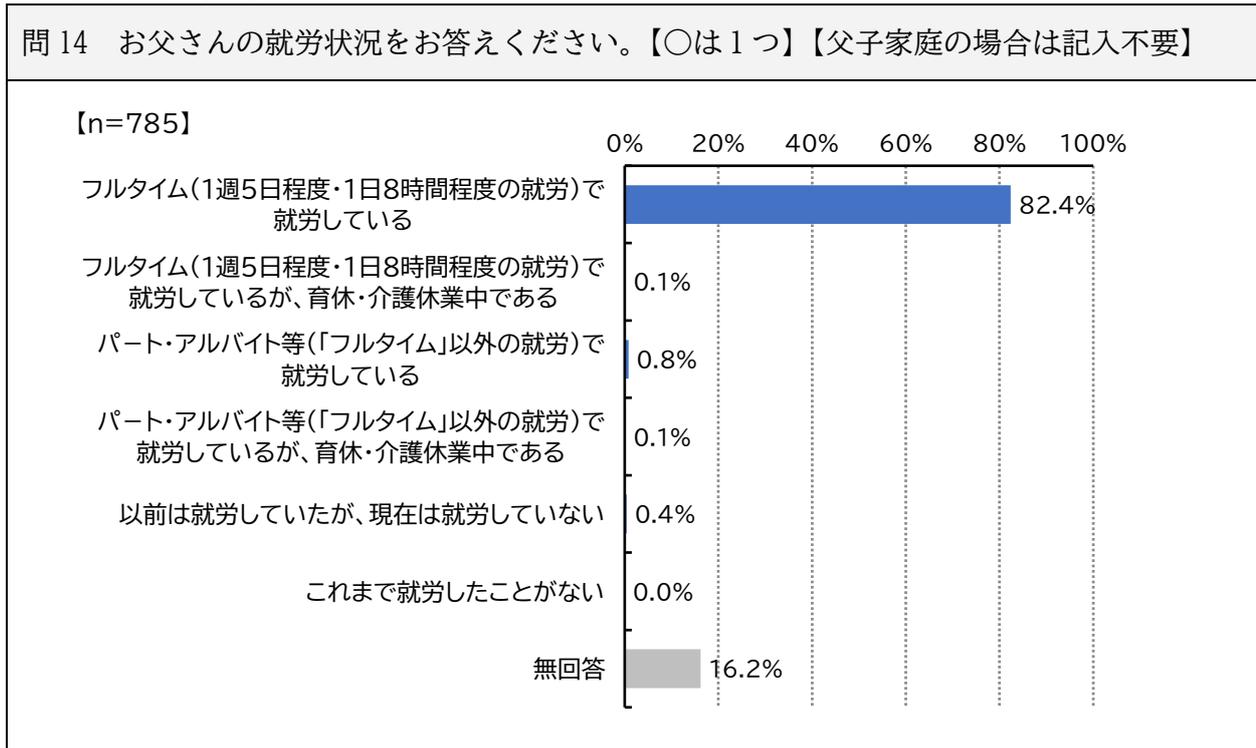


現在就労していない母親 99 人に、就労希望があるか尋ねると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（36.4%）と「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったときに就労したい」（23.2%）を合わせた 59.6%が『就労希望がある』と回答しています。

なお、36.4%は「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」と回答しています。

また、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったときに就労したい」と回答した 23 人に、一番下の子どもが何歳になった時に就労を希望するかを尋ねると、「13歳」が47.8%と最も多く、次いで「10歳」（17.4%）、「11歳」（8.7%）、「12歳」、「18歳」（ともに8.7%）、「1歳」（4.3%）となっています。

(13) 父親の就労状況



父親の現在の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している」（82.4%）と「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」（0.1%）を合わせた82.5%が『フルタイムでの就労』となっています。

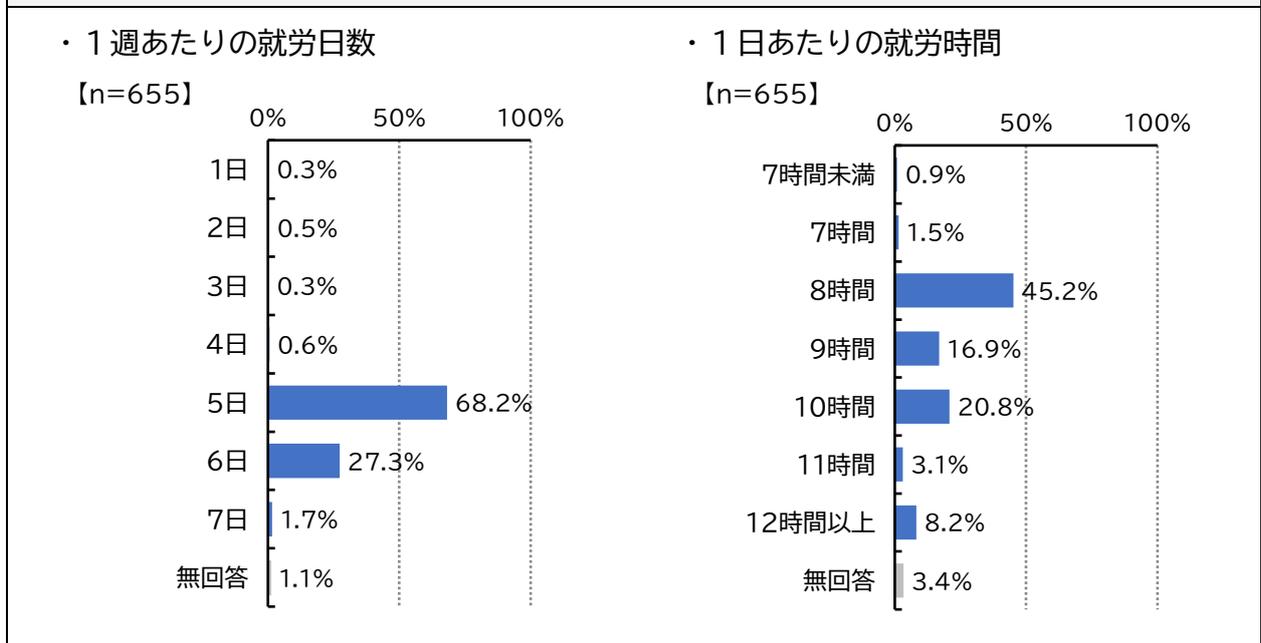
また、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している」（0.8%）と「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」（0.1%）を合わせた0.9%が『パート・アルバイト等での就労』となっています。

なお、0.4%が「以前は就労していたが、現在は就労していない」と回答しています。

(14) 就労している父親の就労日数・就労時間

問 14-1 《問 14 で「1.」から「4.」(就労している)のいずれかに○をつけた方にかがいます。》

お父さんの1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。【数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】



就労していると回答した父親 655 人の 1 週あたりの就労日数は、「5 日」が 68.2% と最も多く、次いで「6 日」(27.3%)、「7 日」(1.7%)、「4 日」(0.6%)、「2 日」(0.5%)、「1 日」、「3 日」(ともに 0.3%) となっています。

また、1 日あたりの就労時間は、「8 時間」が 45.2% と最も多く、次いで「10 時間」(20.8%)、「9 時間」(16.9%)、「12 時間以上」(8.2%)、「11 時間」(3.1%)、「7 時間」(1.5%)、「7 時間未満」(0.9%) となっています。

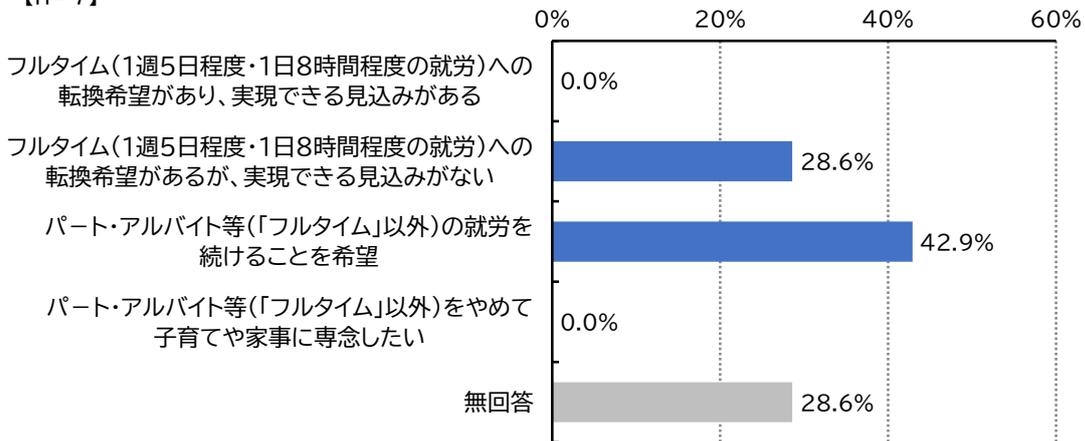
(15) パート・アルバイト等で働く人父親のフルタイムへの転換希望

問 14-3 《問 14 で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にかがいます。》

お父さんは、フルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つ】

(1) 父親

【n=7】



パートタイム、アルバイト等で就労している父親7人に、フルタイムへの転換希望があるか尋ねると、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が42.9%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みがない」が28.6%となっています。

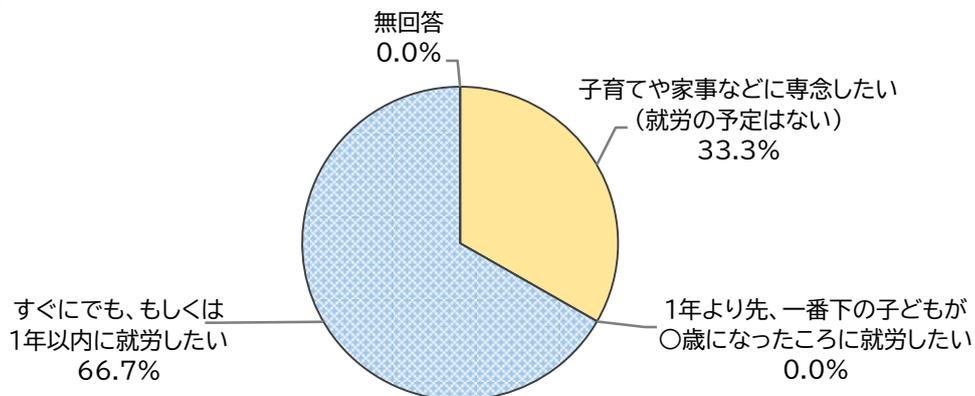
(16) 現在就労していない父親の就労希望

問 14-4 《問 14 で「5.」または「6.」(現在就労していない) に○をつけた方にかがいます。》

お父さんは、就労したいという希望はありますか。【○は1つ・「2.」「3.」の場合は数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

・現在就労していない父親の就労希望

【n=3】

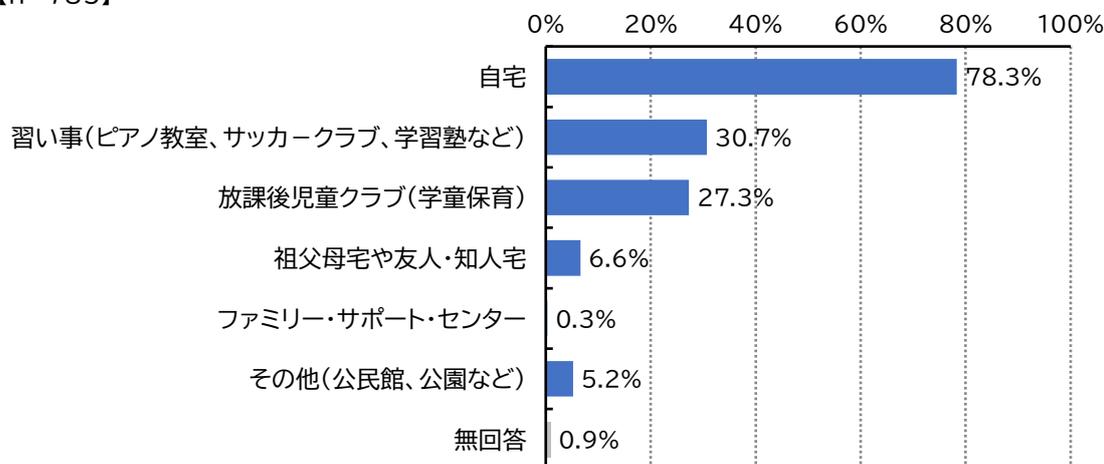


現在就労していない父親3人に、就労希望があるか尋ねると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が66.7%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(33.3%)となっています。

(17) 現在、放課後の時間を過ごしている場所

問 15 宛名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの週当たりの日数を記入 「4. 放課後児童クラブ」の場合には利用時間を記入 時間は[例]18時のように24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

【n=785】

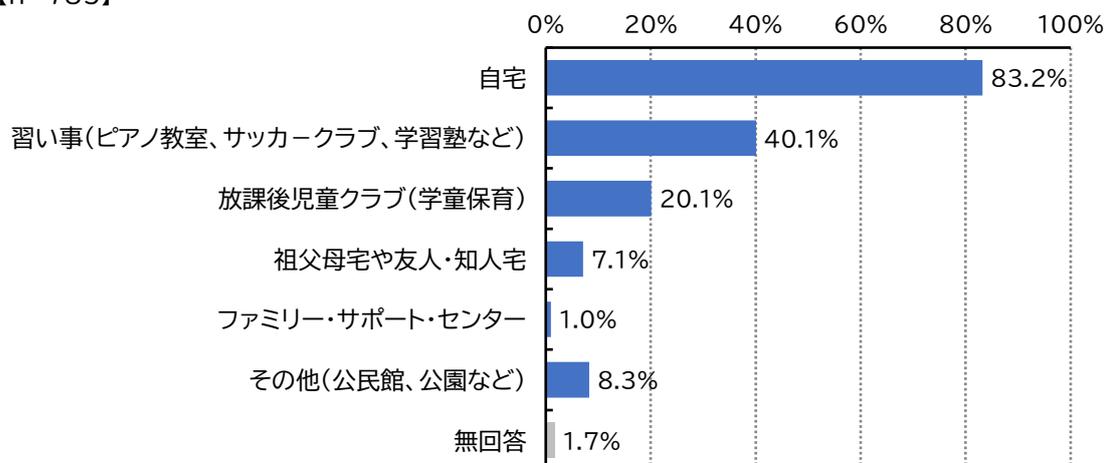


現在、放課後の時間を過ごしている場所は、「自宅」が78.3%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」(30.7%)、「放課後児童クラブ（学童保育）」(27.3%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(6.6%)、「ファミリー・サポート・センター」(0.3%)となっています。

(18) これから小学校卒業まで放課後の時間を過ごさせたいと思う場所

問 16 宛名のお子さんについて、これから小学校卒業まで、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの週当たりの日数を記入 「4. 放課後児童クラブ」の場合には利用希望時間を記入 時間は[例]18時のように24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

【n=785】

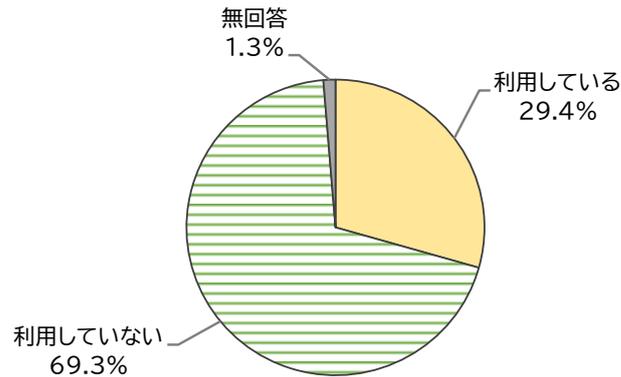


これから小学校卒業まで放課後の時間を過ごさせたいと思う場所は、「自宅」が83.2%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」(40.1%)、「放課後児童クラブ（学童保育）」(20.1%)、「その他（公民館、公園など）」(8.3%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(7.1%)、「ファミリー・サポート・センター」(1.0%)となっています。

(19) 放課後児童クラブを利用しているか

問 17 宛名のお子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。【○は1つ】

【n=785】

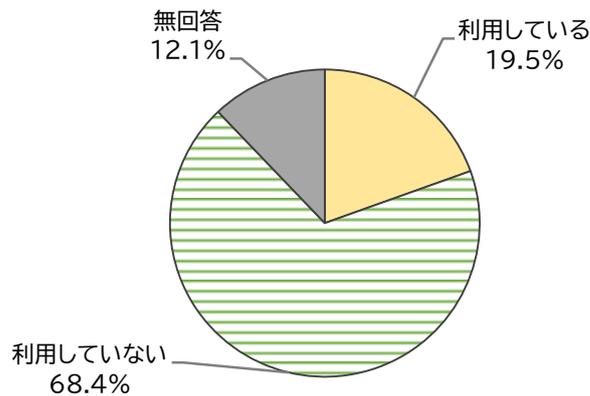


現在、放課後児童クラブを利用しているかは、「利用している」が 29.4%、「利用していない」が 69.3%となっています。

(20) 土曜日の放課後児童クラブの利用状況

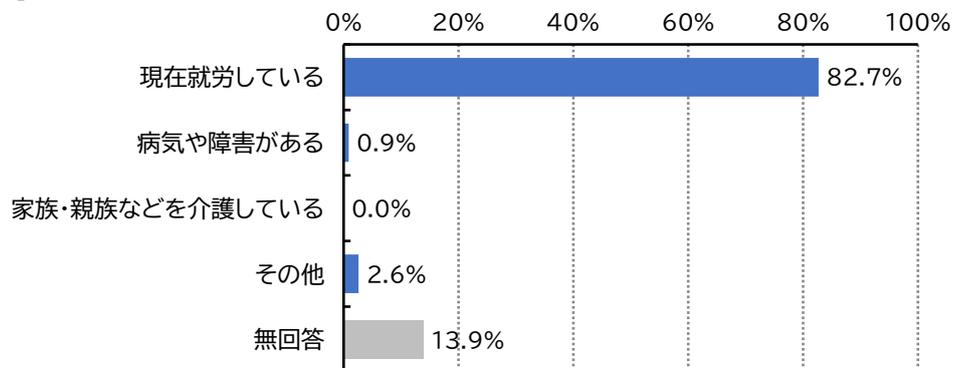
③土曜日の利用

【n=231】



④利用している理由 「お子さんの身の回りの世話をしている方が、」

【n=231】

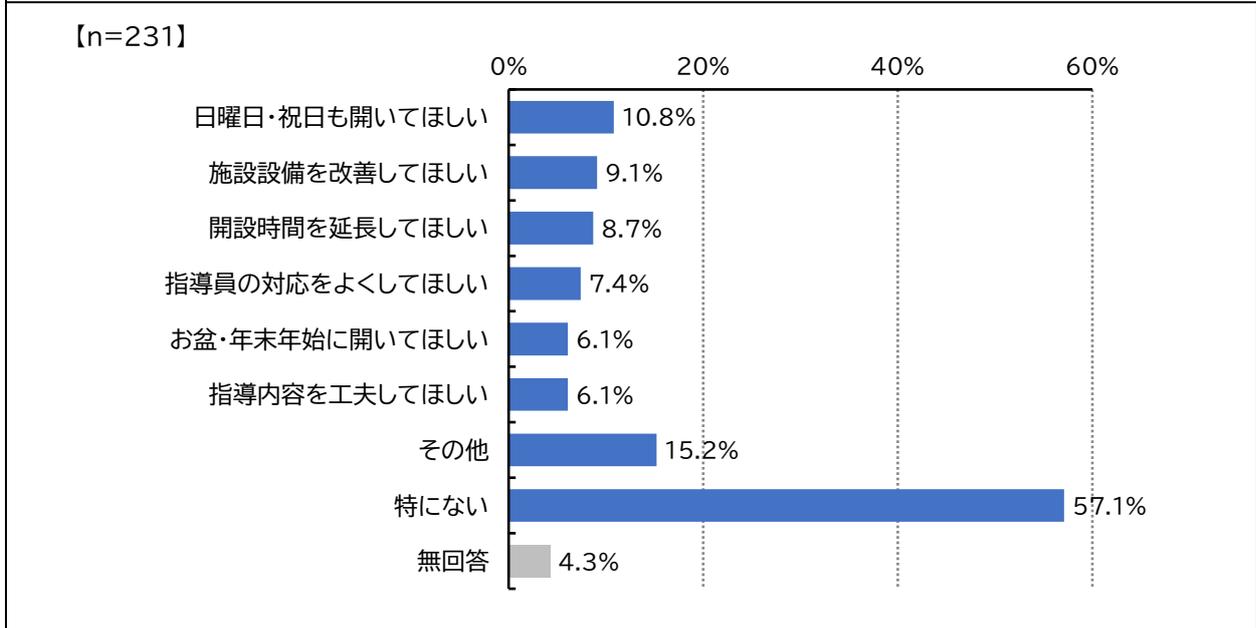


現在、放課後児童クラブを利用している 231 人に、土曜日の利用状況について尋ねると、「利用している」が 19.5%、「利用していない」が 68.4%となっています。

放課後児童クラブを利用している理由は、お子さんの身の回りの世話をしている方が「現在就労している」が 82.7%と最も多く、次いで「病気や障害がある」(0.9%)となっています。

(21) 放課後児童クラブへの要望

問 17-2 現在通っている放課後児童クラブに対してどのような要望がありますか。
【○は当てはまるものすべて】

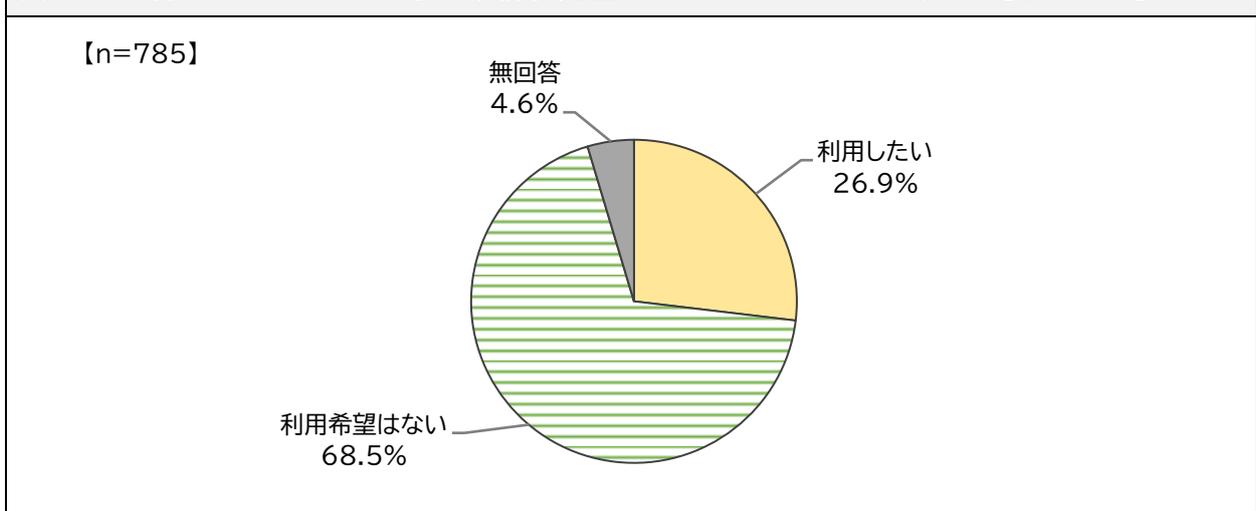


現在、放課後児童クラブを利用している 231 人に、通っている放課後児童クラブに対する要望を尋ねると「日曜日・祝日も開いてほしい」が 10.8%と最も多く、次いで、「施設設備を改善してほしい」(9.1%)、「開設時間を延長してほしい」(8.7%)、「指導員の対応をよくしてほしい」(7.4%)、「お盆・年末年始に開いてほしい」、「指導内容を工夫してほしい」(ともに 6.1%) となっています。

また、57.1%が「特にない」と回答しています。

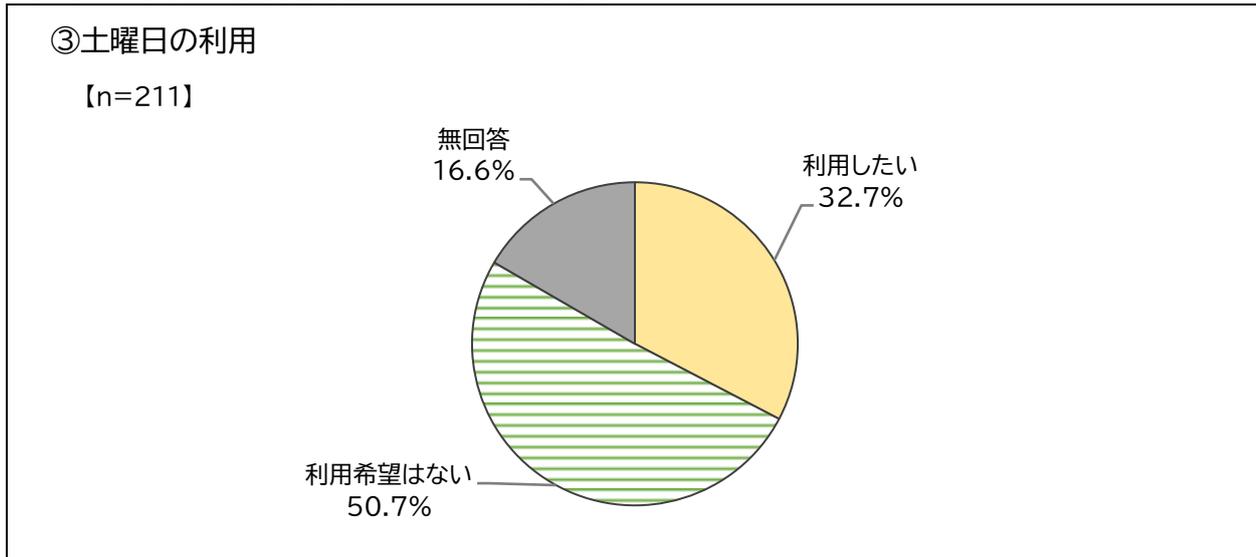
(22) 今後、放課後児童クラブを利用したいか

問 18 宛名のお子さんは、今後、放課後児童クラブを利用したいですか。【○は1つ】



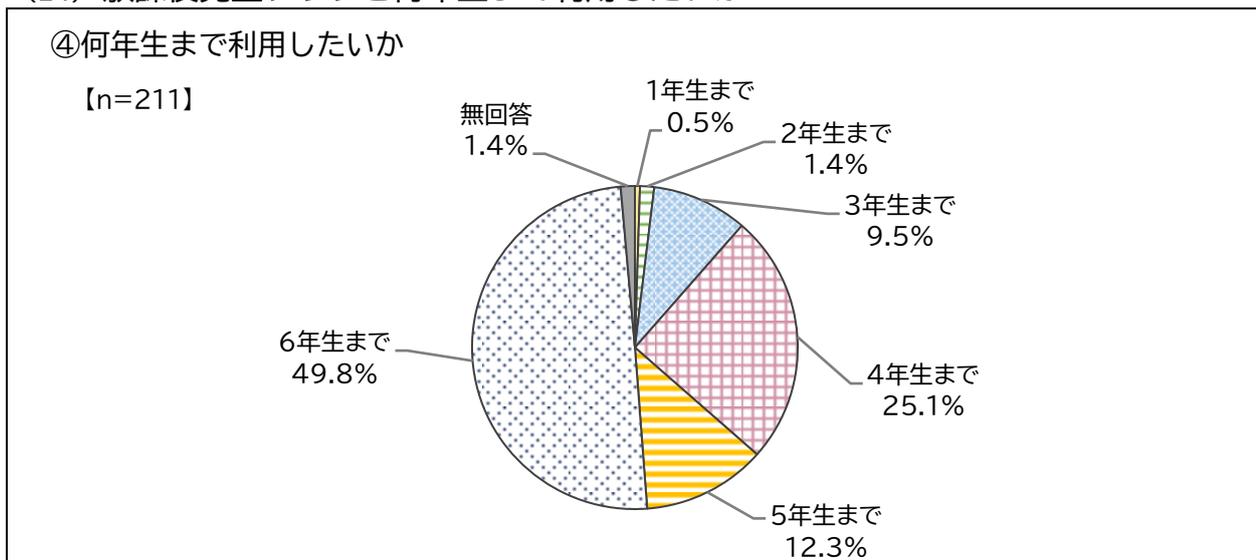
今後、放課後児童クラブを利用したいかは、「利用したい」が 26.9%、「利用希望はない」が 68.5%となっています。

(23) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望



放課後児童クラブの土曜日の利用希望は、「利用したい」が 32.7%、「利用希望はない」が 50.7%となっています。

(24) 放課後児童クラブを何年生まで利用したいか

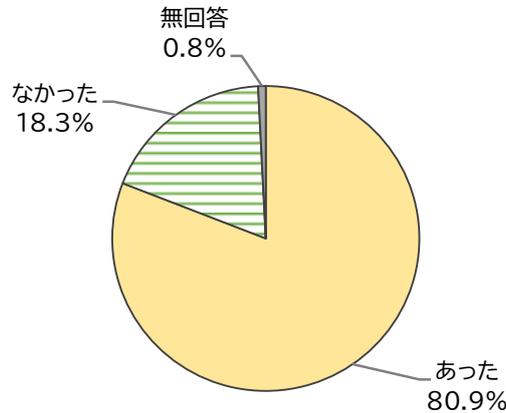


放課後児童クラブを何年生まで利用したいかは、「6年生まで」が 49.8%と最も多く、次いで「4年生まで」(25.1%)、「5年生まで」(12.3%)、「3年生まで」(9.5%)、「2年生まで」(1.4%)、「1年生まで」(0.5%)となっています。

(25) 病気やケガで学校を休んだ経験

問 19 この1年間に宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありましたか。【○は1つ】

【n=785】



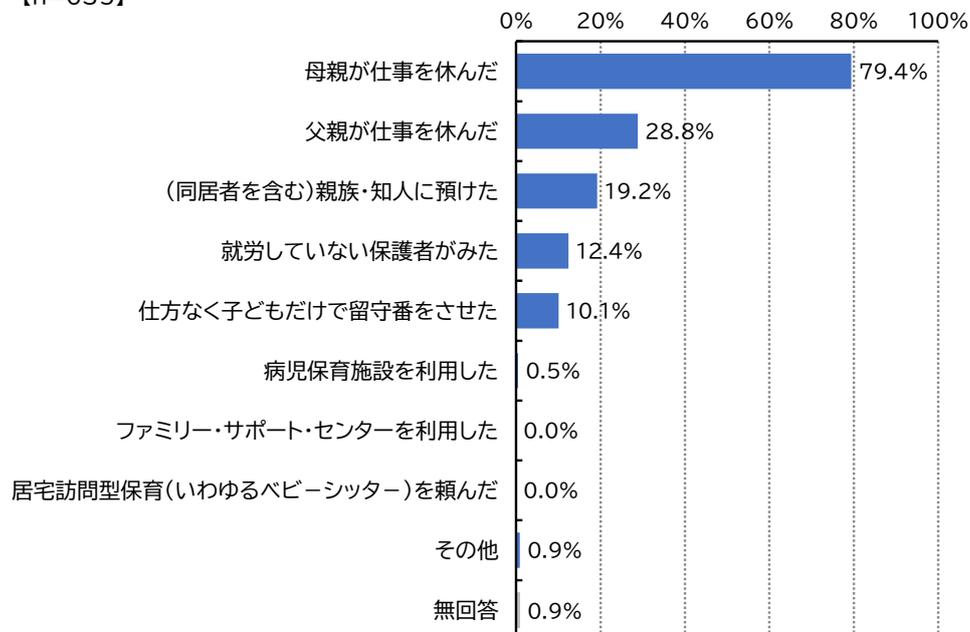
子どもが病気やケガで学校を休んだことがあつたかは、「あつた」が80.9%、「なかった」が18.3%となっています。

(26) 病気やケガで学校を休んだ場合の対処方法

問 19-1 《問 19 で「1. あつた」に○をつけた方にかがいます。》

宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだ場合にどのように対応しましたか。この1年間に行った対処方法をお答えください。【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの日数を記入（半日程度対応の場合も1日とカウント）】

【n=635】



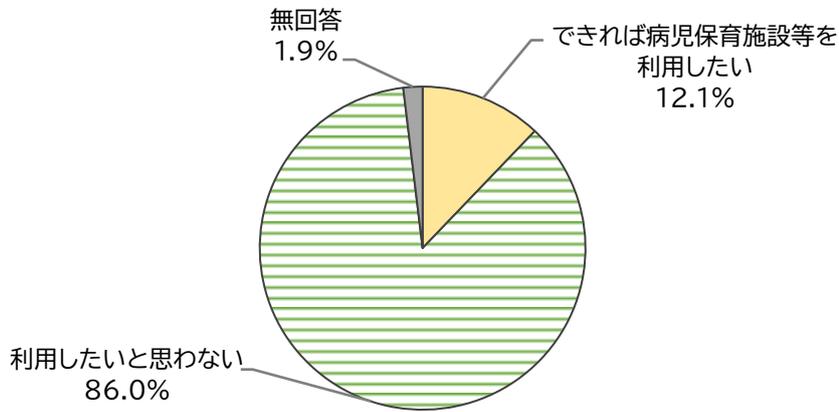
子どもが病気やケガで学校を休んだことがあつたと回答した 635 人に、1年間における対処方法を尋ねると、「母親が仕事を休んだ」が79.4%と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」(28.8%)、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」(19.2%)、「就労していない保護者がみた」(12.4%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(10.1%)、「病児保育施設を利用した」(0.5%)となっています。

(27) 病児保育を利用したいと思ったか

問 19-2 《問 19-1 で「1.」または「2.」（父親・母親が仕事を休んだ）に○をつけた方
 にかがいます。》

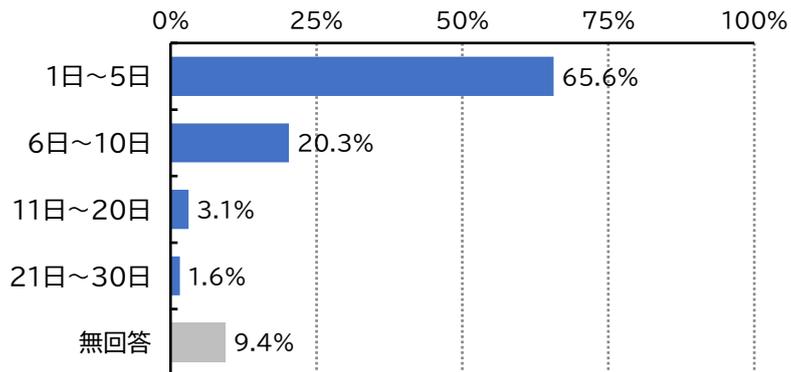
その際、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。【○は1つ・利用
 したい場合は日数を記入】

【n=527】



⇒希望利用日数（年間）

【n=64】



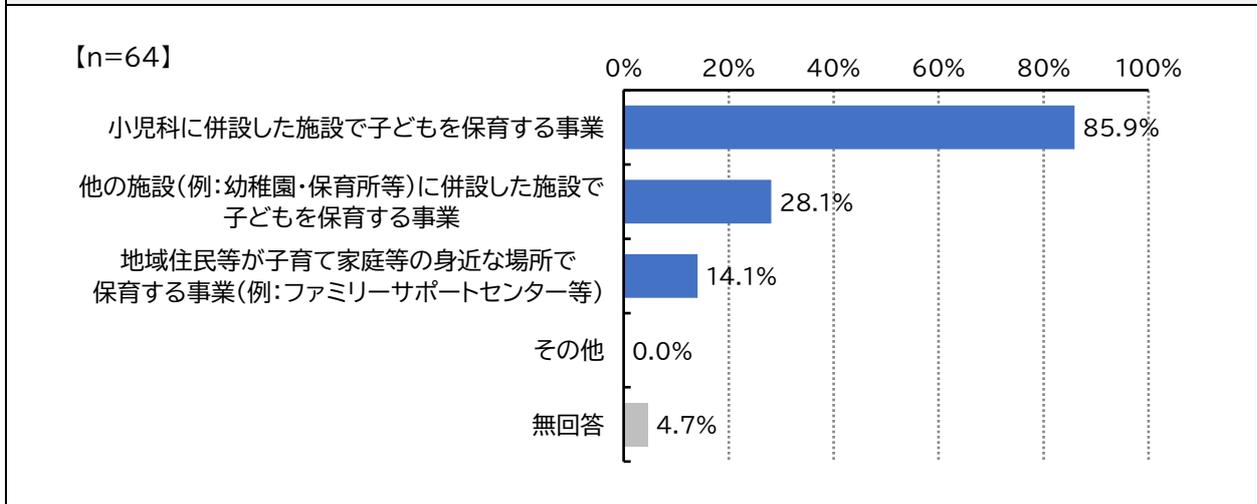
子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法として、母親もしくは父親が休んだと回答した 527 人に、その際に病児保育施設等を利用したいと思ったか尋ねると、「できれば病児保育施設等を利用したい」が 12.1%、「利用したいとは思わない」が 86.0% となっています。

また、「できれば病児保育施設等を利用したい」と回答した 64 人に、年間の希望利用日数を尋ねると、1 年あたり「1 日～5 日」が 65.6% と最も多く、次いで「6 日～10 日」（20.3%）、「11 日～20 日」（3.1%）、「21 日～30 日」（1.6%）となっています。

(28) 病児保育で望ましいと思われる事業形態

問 19-3 《問 19-2 で「1. できれば病児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にかがいます。》

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。【○は当てはまるものすべて】



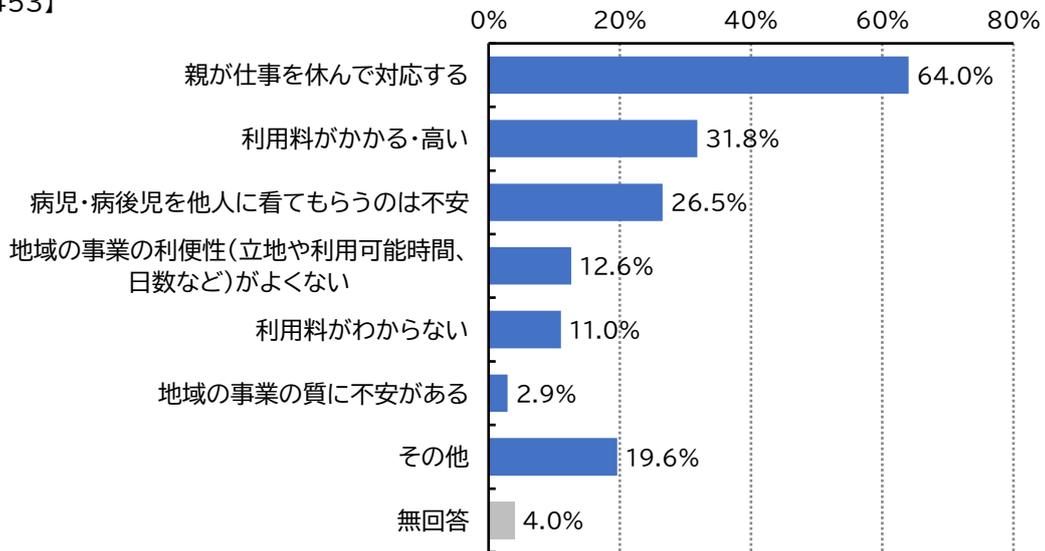
子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法として、「できれば病児保育施設等を利用したい」と回答した 64 人に、望ましいと思われる事業形態について尋ねると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 85.9%と最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」（28.1%）、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等）」（14.1%）となっています。

(29) 病児保育を利用したいと思わない理由

問 19-4 《問 19-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。》

そう思う理由についてお答えください。【○は当てはまるものすべて】

【n=453】

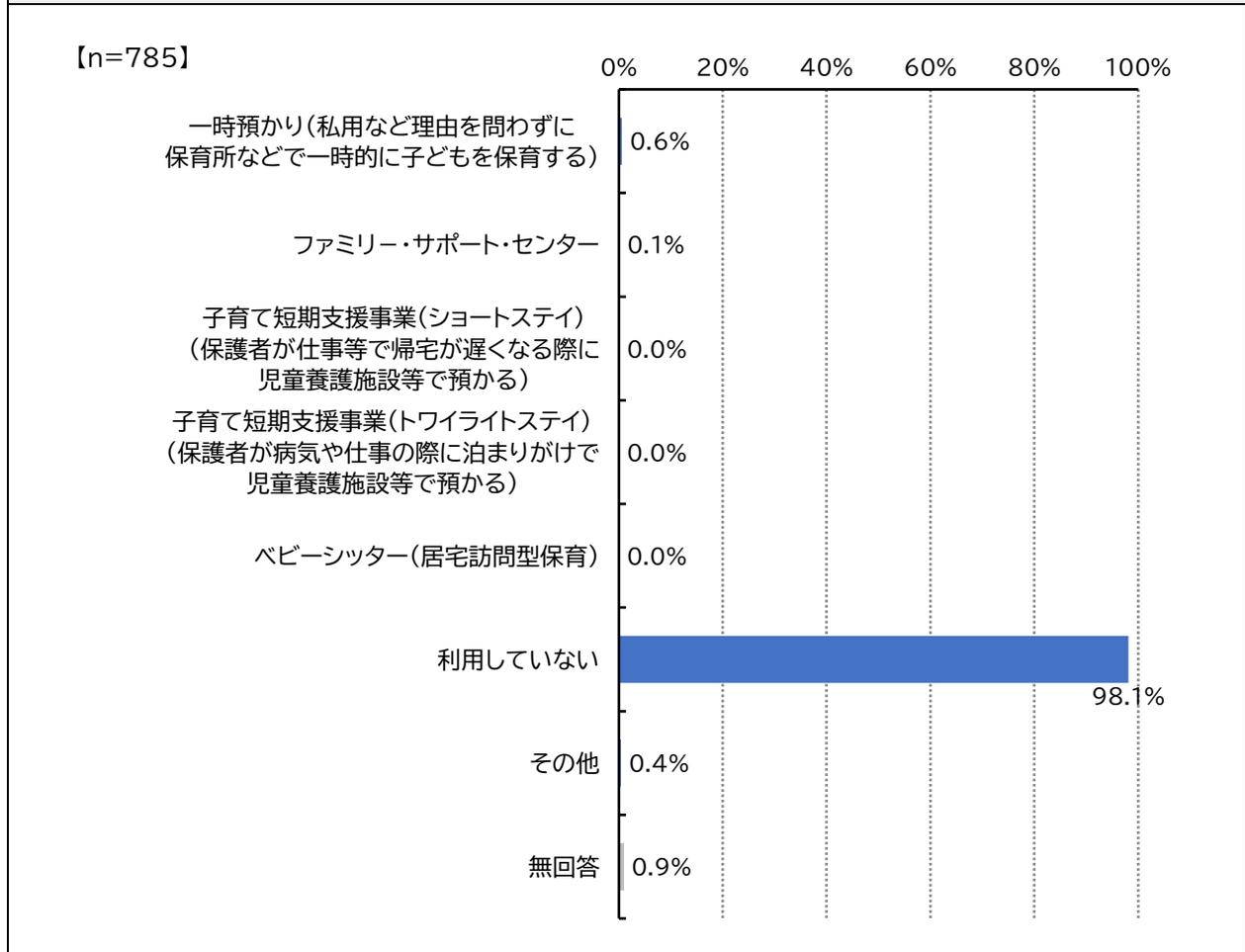


子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法として、病児保育施設等を「利用したいと思わない」と回答した 453 人に、そう思う理由について尋ねると、「親が仕事を休んで対応する」が 64.0%と最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」(31.8%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(26.5%)、「地域の事業の利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない」(12.6%)、「利用料がわからない」(11.0%)、「地域の事業の質に不安がある」(2.9%)となっています。

また、19.6%が「その他」と回答しており、その内容としては「子どもが行きたがらない」、「利用枠が少なく予約が取れない」、「手続きが面倒、混んでいそう」、「病気の際は子どものそばにいてあげたい」、「他の感染症がうつってしまう」などがみられました。

(30) 私用等の目的での不特定の教育・保育事業の利用状況

問 20 宛名のお子さんについて、この1年間に、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用・保護者の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用したサービスはありますか。
【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の利用日数を記入】



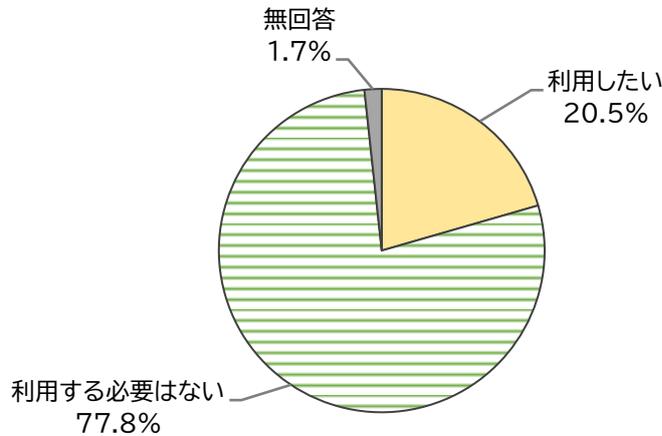
私用や親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業は、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する）」が0.6%、「ファミリー・サポート・センター」が0.1%となっています。

なお、98.1%は「利用していない」と回答しています。

(31) 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用希望

問 21 宛名のお子さんについて、今後、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業（放課後児童クラブ等の保育事業）を利用したいと思いますか。※これらの事業の利用には一定の利用者負担があります。【○は1つ】

【n=785】



私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期の教育・保育事業を利用する必要があると思うかは、「利用したい」が20.5%、「利用する必要はない」が77.8%となっています。

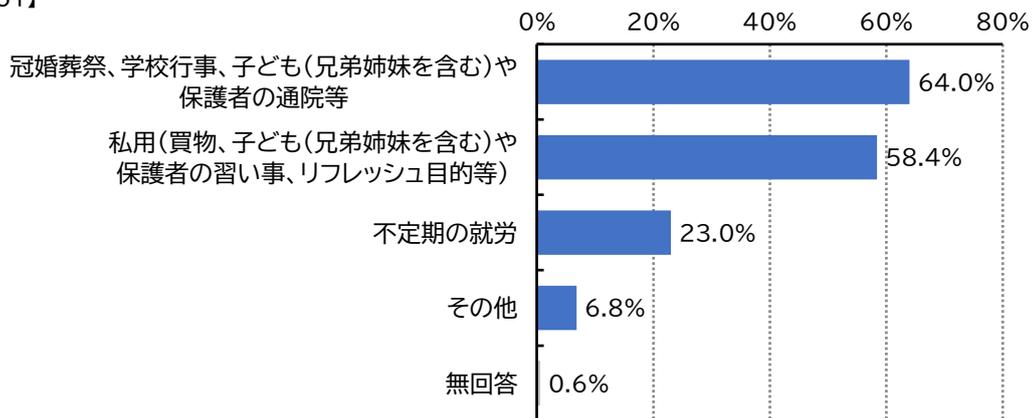
(32) 不定期の教育・保育事業の利用目的と利用希望日数

問 21-1 《問 21 で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいます。》

どのような目的で、どのくらいの日数を利用したいですか。【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の日数を記入】

・ 不定期の教育・保育事業を利用したい目的

【n=161】

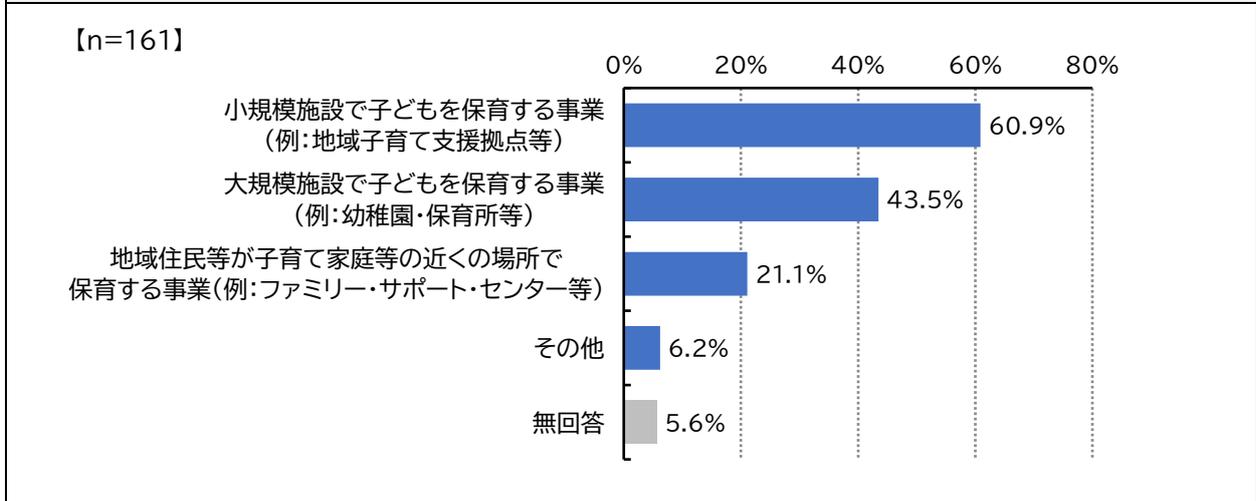


不定期の教育・保育事業を「利用したい」と回答した161人に、利用目的を尋ねると、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院等」が64.0%と最も多く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の習い事、リフレッシュ目的等）」（58.4%）、「不定期の就労」（23.0%）となっています。

(33) 不定期の教育・保育事業の望ましいと思われる事業形態

問 21-2 《問 21 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。》

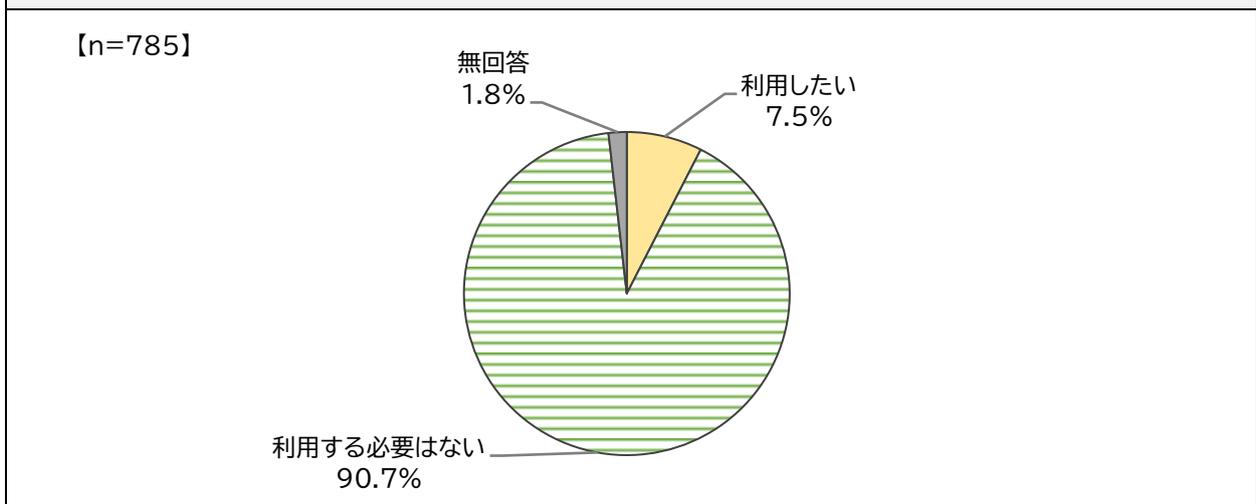
問 21-1 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。【○は当てはまるものすべて】



不定期の教育・保育事業を「利用したい」と回答した 161 人に、望ましい事業形態を尋ねると、「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）」が 60.9%と最も多く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」(43.5%)、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」(21.1%)となっています。

(34) 短期入所生活援助事業の利用希望

問 22 宛名のお子さんについて、今後、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）のため、子どもを泊りがけで家族以外に預ける短期入所生活援助事業を利用したいと思いますか。【○は1つ】



短期入所生活援助事業の利用希望は、「利用したい」が 7.5%、「利用する必要がある」が 90.7%となっています。

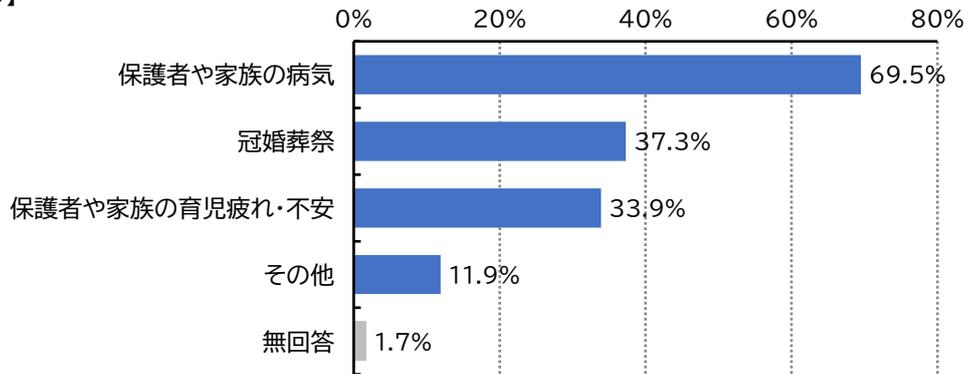
(35) 短期入所生活援助事業の利用目的

問 22-1 《問 22 で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいます。》

どのような目的で、年間何泊くらい利用したいですか。【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の宿泊数を記入】

・短期入所生活援助事業を利用したい目的

【n=59】



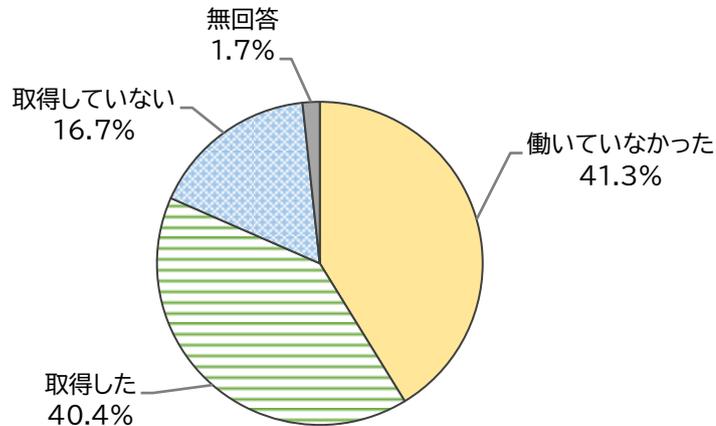
また、短期入所生活援助事業を「利用したい」と回答した 59 人に、利用目的を尋ねると、「保護者や家族の病気」が 69.5%と最も多く、次いで「冠婚葬祭」(37.3%)、「保護者や家族の育児疲れ・不安」(33.9%)となっています。

(36) 母親の育児休業の取得状況

問 23 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。取得していない方はその理由をお答えください。【○は1つ・「2」は月数、「3」は主な理由の番号を3つまで記入】

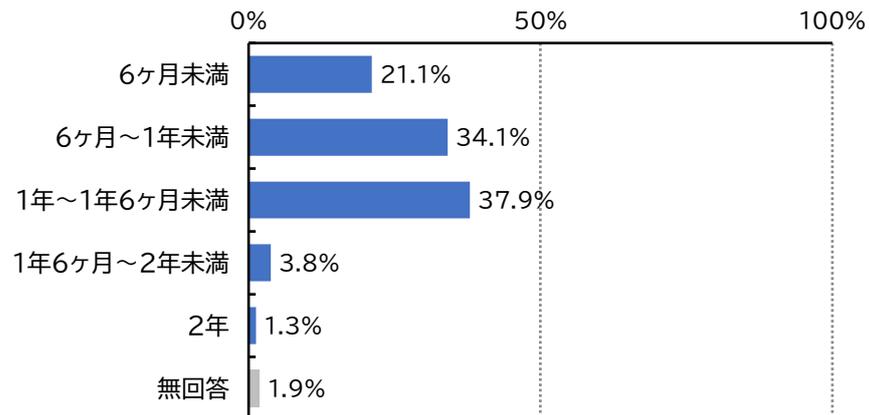
(1) 母親

【n=785】



・取得期間（月数）

【n=317】

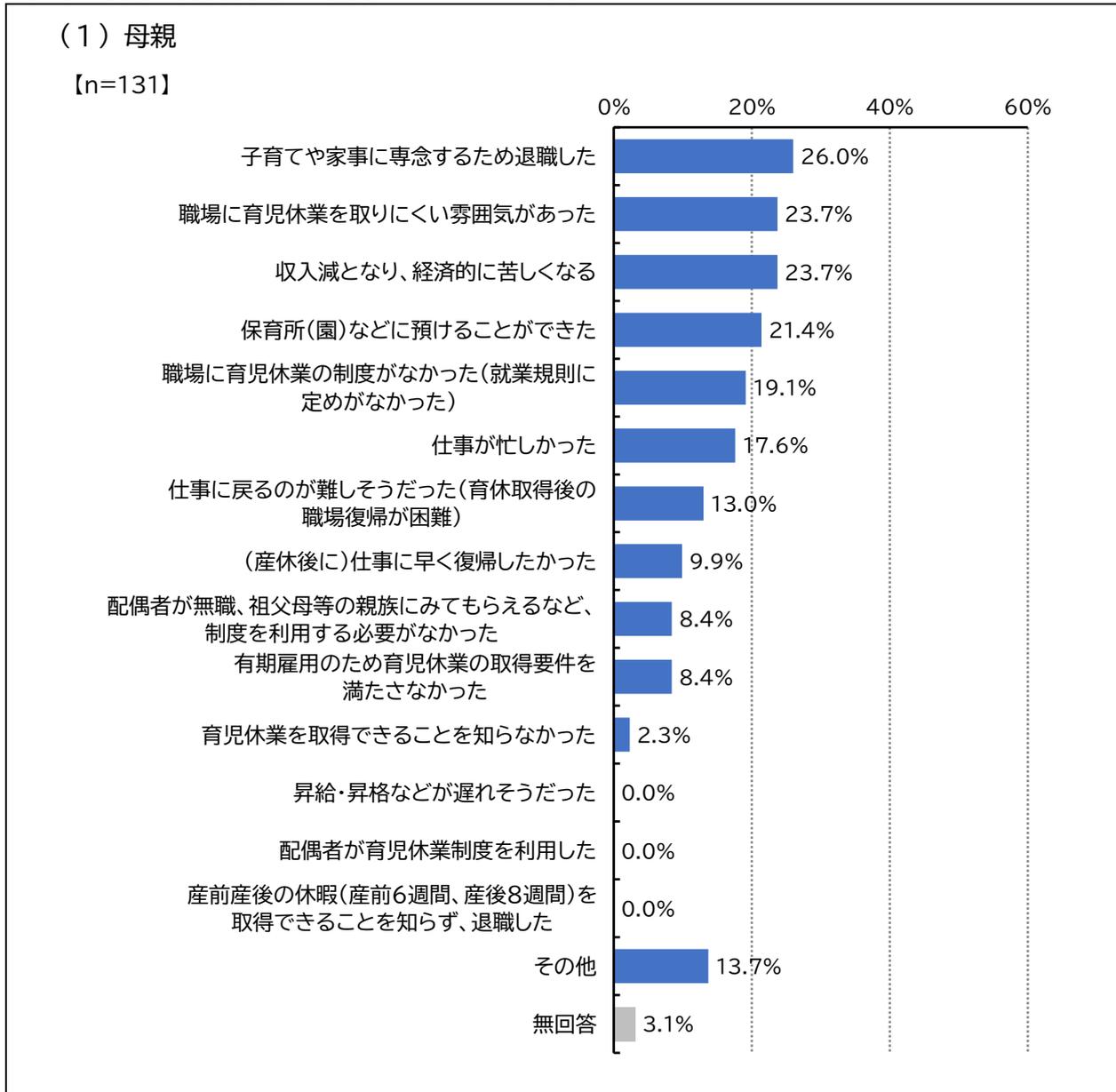


母親の育児休業の取得状況は、「取得した」が40.4%、「取得していない」が16.7%となっています。

なお、41.3%は「働いていなかった」と回答しています。

また、育児休業を「取得した」と回答した317人に、取得期間について尋ねると、「1年～1年6ヶ月未満」が37.9%と最も多く、次いで「6ヶ月～1年未満」(34.1%)、「6ヶ月未満」(21.1%)、「1年6ヶ月～2年未満」(3.8%)、「2年」(1.3%)となっています。

(37) 母親が育児休業を取得していない理由



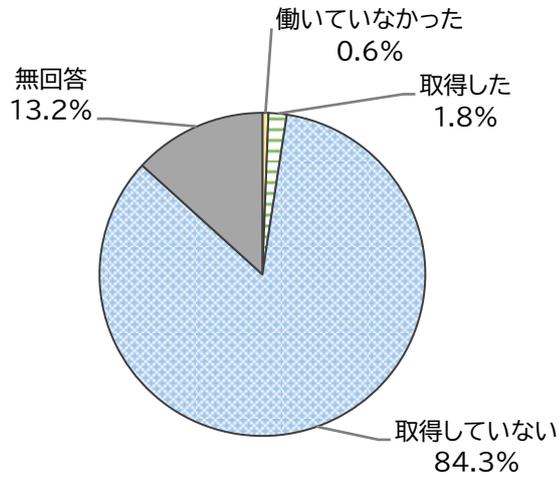
育児休業を取得していない母親 131 人に、取得しなかった理由を尋ねると、「子育てや家事に専念するため退職した」が 26.0%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(ともに 23.7%)、「保育所(園)などに預けることができた」(21.4%)、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(19.1%)、「仕事が忙しかった」(17.6%)と続いています。

(38) 父親の育児休業の取得状況

問 23 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。取得していない方はその理由をお答えください。【○は1つ・「2」は月数、「3」は主な理由の番号を3つまで記入】

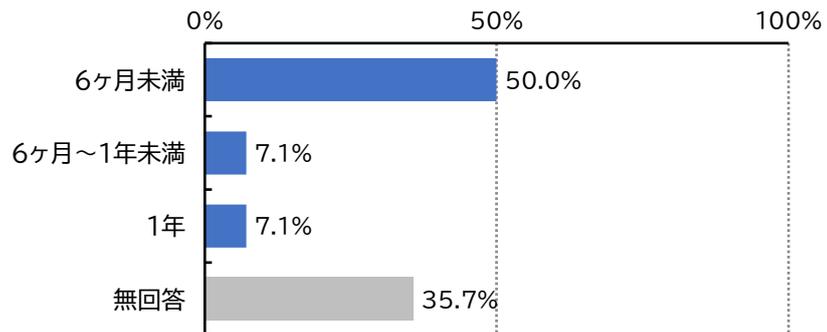
(2) 父親

【n=785】



・取得期間（月数）

【n=14】

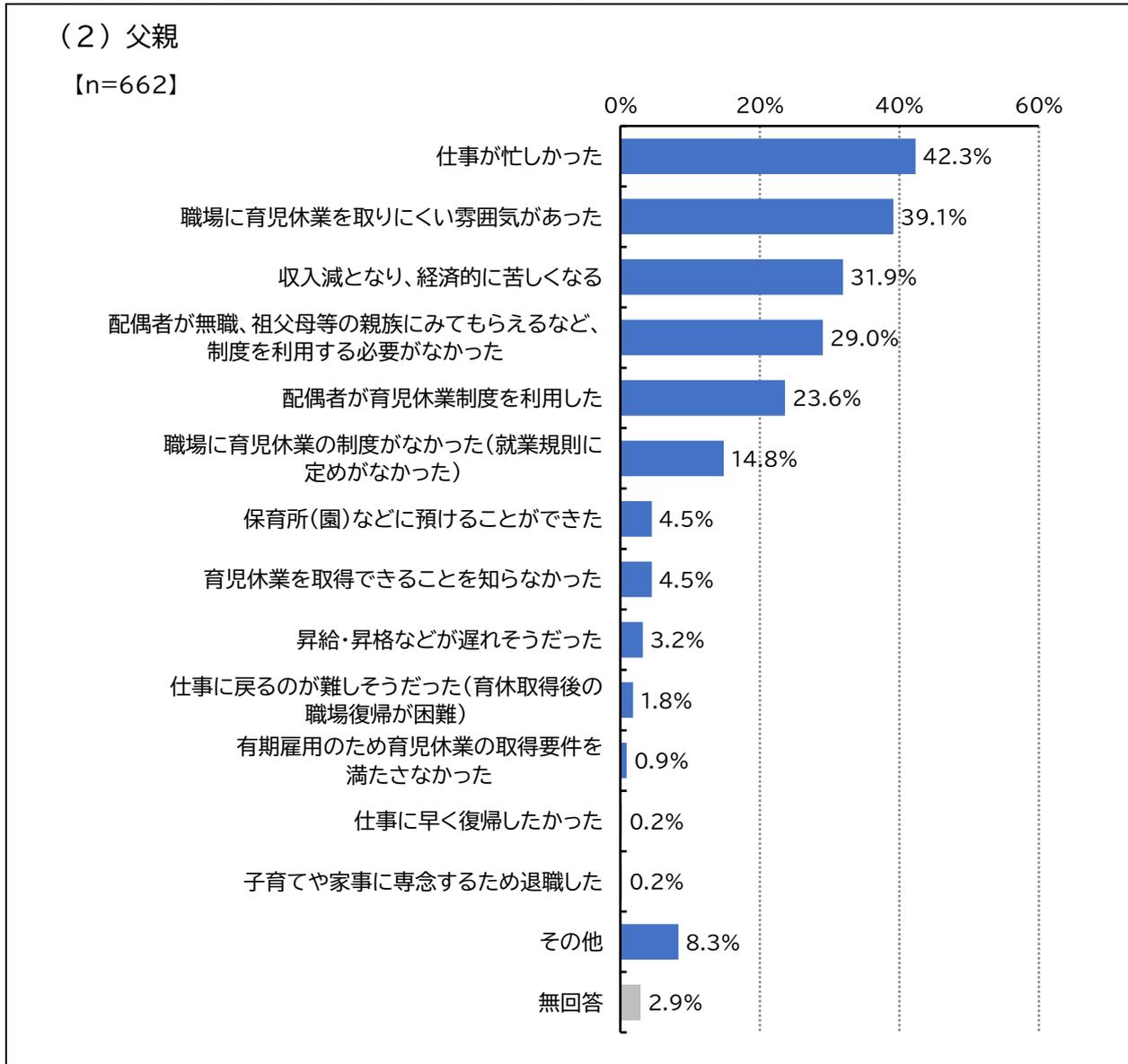


父親の育児休業の取得状況は、「取得した（育児休業中である）」が1.8%、「取得していない」が84.3%となっています。

また、0.6%は「働いていなかった」と回答しています。

育児休業を「取得した（育児休業中である）」と回答した14人に、取得期間を尋ねると、「6ヶ月未満」が50.0%と最も多く、次いで「6ヶ月～1年未満」、「1年」（ともに7.1%）となっています。

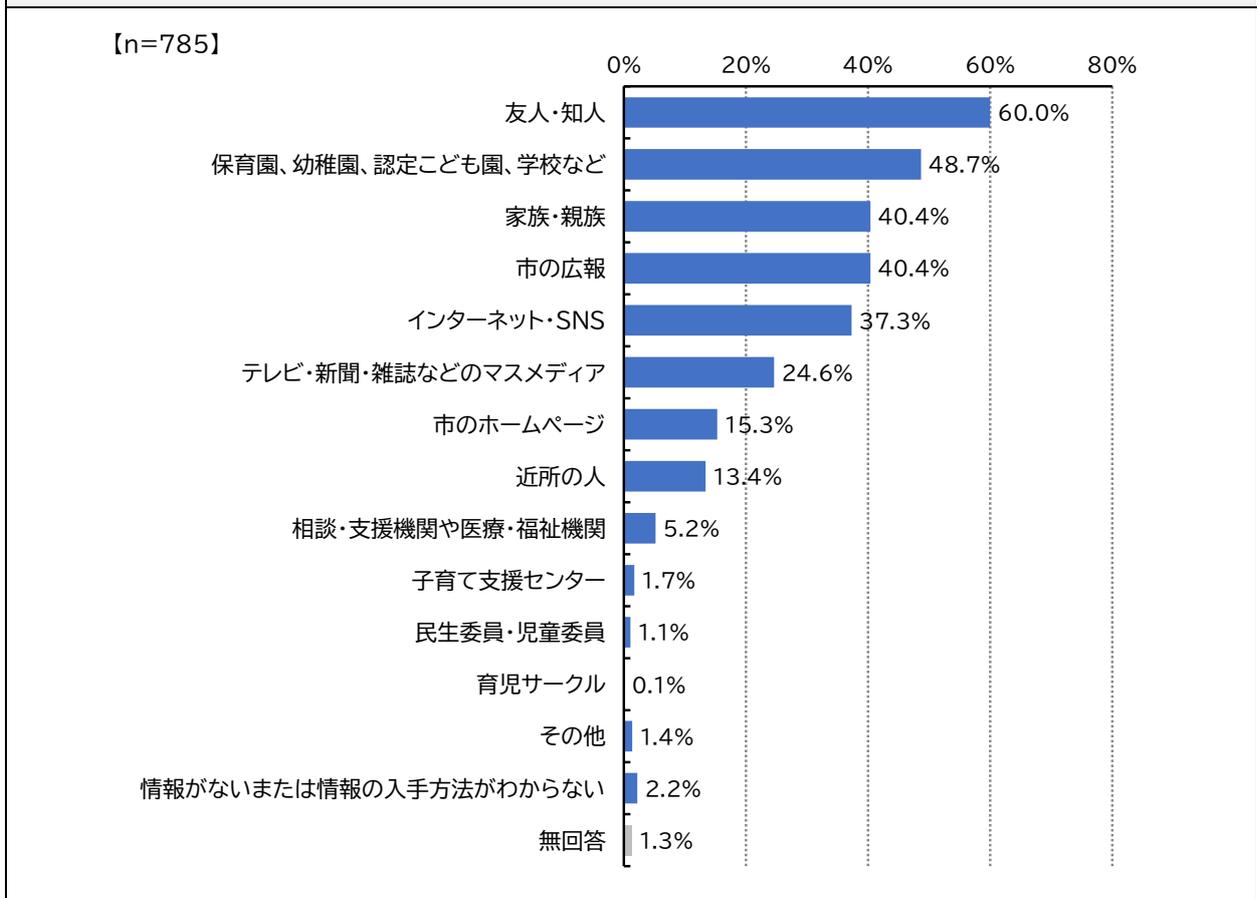
(39) 父親が育児休業を取得していない理由



育児休業を取得していない父親 662 人に、取得しなかった理由を尋ねると、「仕事が忙しかった」が 42.3%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(39.1%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(31.9%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(29.0%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(23.6%)、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(14.8%)と続いています。

(40) 子育てや教育に関する情報をどのように得ているか

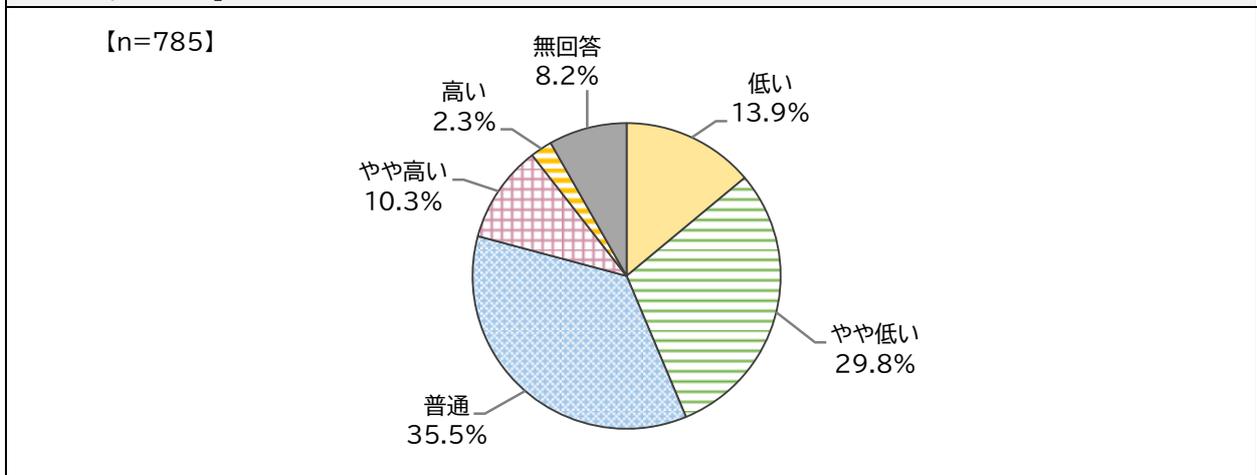
問 24 子育てや教育に関して、情報をどのように得ていますか。【○は当てはまるものすべて】



子育てや教育に関する情報をどのように得ているかは、「友人・知人」が60.0%と最も多く、次いで「保育園、幼稚園、認定こども園、学校など」(48.7%)、「家族・親族」、「市の広報」(ともに40.4%)、「インターネット・SNS」(37.3%)、「テレビ・新聞・雑誌などのマスメディア」(24.6%)、「市のホームページ」(15.3%)と続いています。

(41) 滝沢市における子育ての環境や支援への満足度

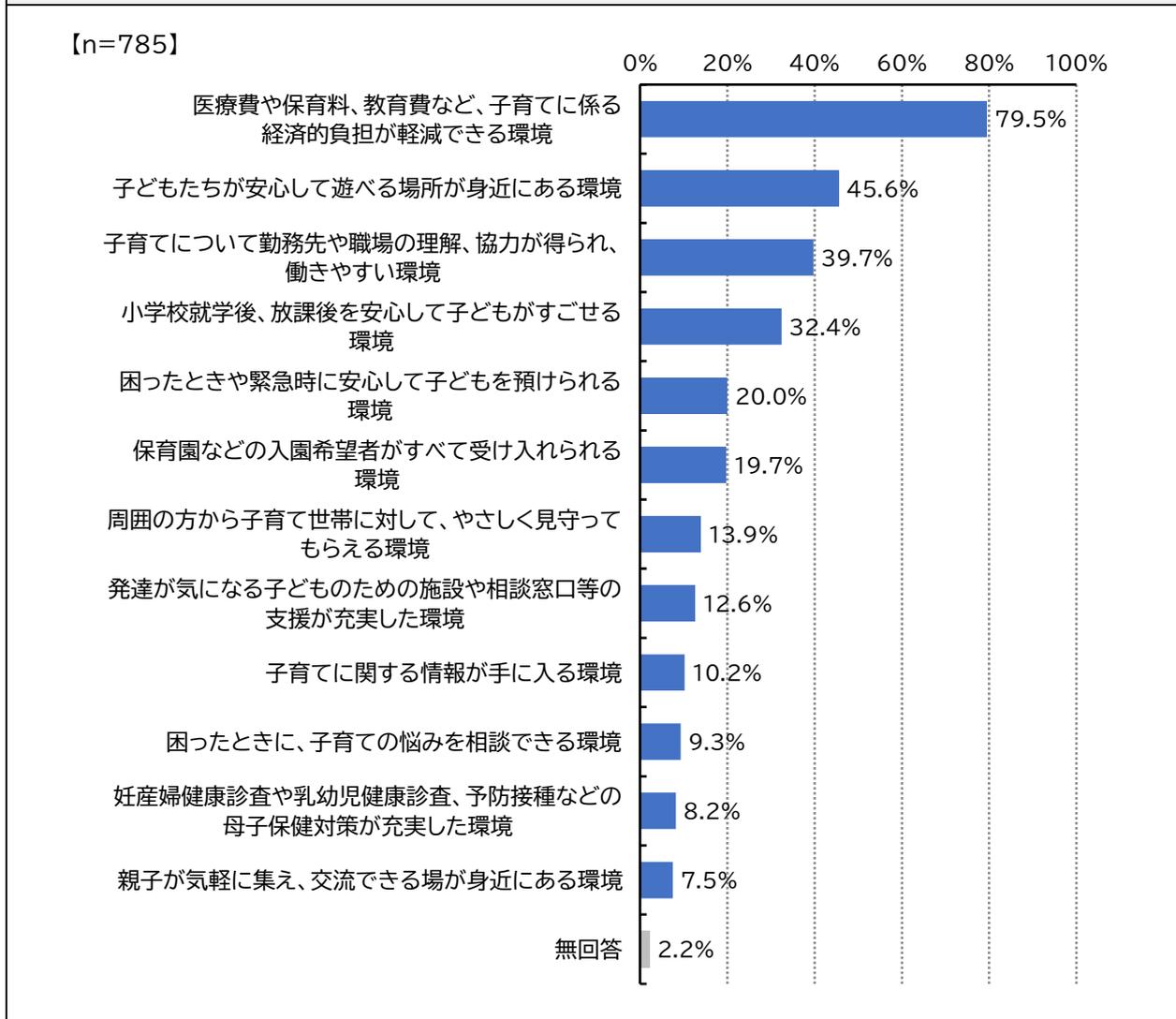
問 25 滝沢市における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。【○は当てはまる番号に1つ】



滝沢市における子育ての環境や支援への満足度を5段階評価で尋ねると、「普通」が35.5%と最も多く、「やや低い」(29.8%)と「低い」(13.9%)を合わせた43.7%は『低いほうだ』と回答しており、比較的、満足度が低いという回答が多くなっています。

(42) どのような環境が整えば、もっと子育てがしやすいまちになると思うか

問 26 どのような環境が整えば、もっと子育てがしやすいまちになると思いますか。【○は3つまで】



どのような環境が整えば、もっと子育てがしやすいまちになると思うかは、「医療費や保育料、教育費など、子育てに係る経済的負担が軽減できる環境」が 79.5%と最も多く、次いで「子どもたちが安心して遊べる場所が身近にある環境」(45.6%)、「子育てについて勤務先や職場の理解、協力が得られ、働きやすい環境」(39.7%)、「小学校就学後、放課後を安心して子どもがすごせる環境」(32.4%)、「困ったときや緊急時に安心して子どもを預けられる環境」(20.0%)、「保育園などの入園希望者がすべて受け入れられる環境」(19.7%)と続いています。

「滝沢市子ども・子育て支援事業計画」策定のためのアンケート調査
調査結果報告書【概要版】

令和6年3月

発 行 : 岩手県 滝沢市

企画・編集 : 健康福祉部 児童福祉課
